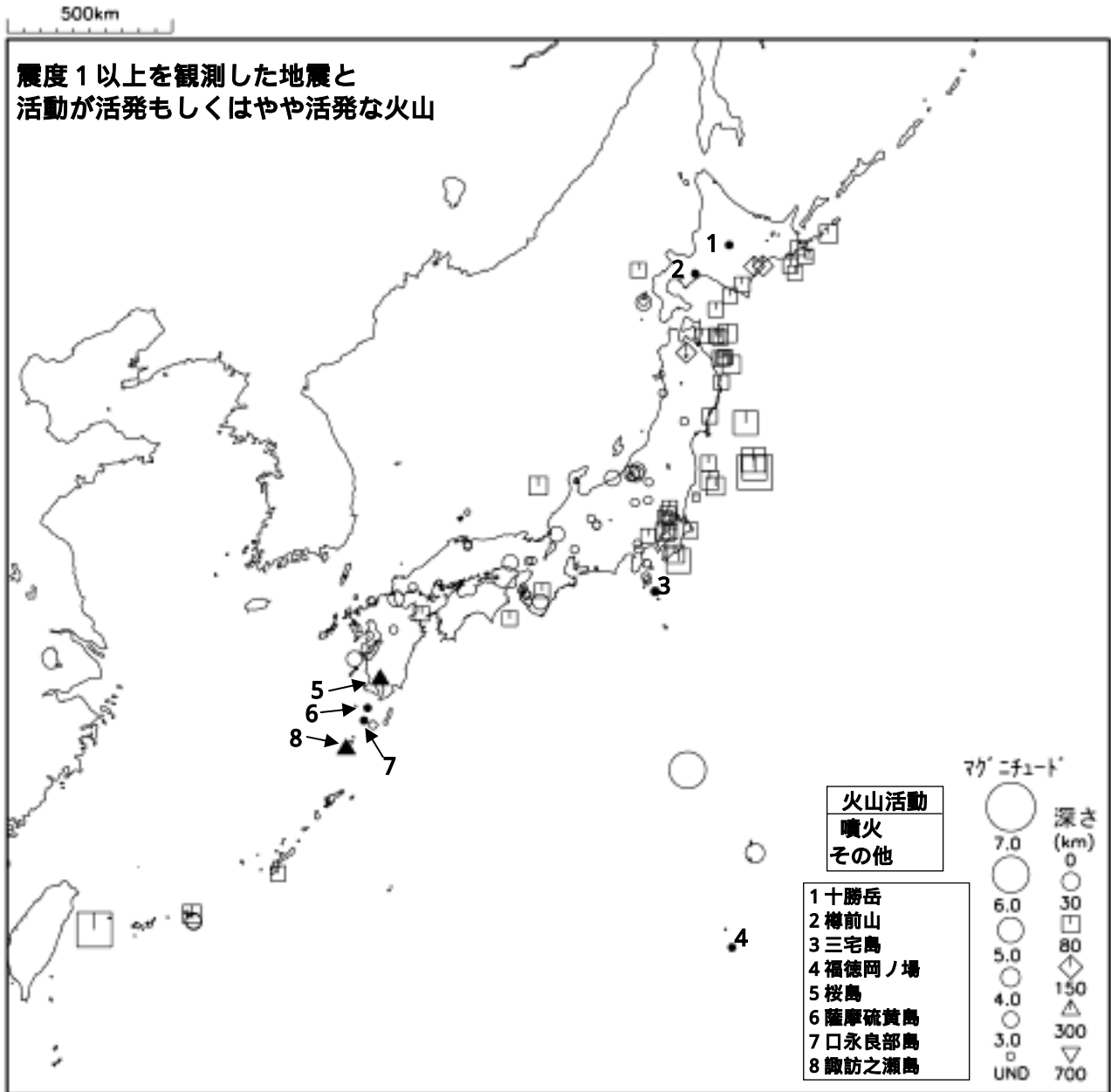


# 平成 18 年 10 月 地震・火山月報（防災編）

## Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

October 2006



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所\*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関\*\*から地震観測データの提供を受け、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、鳥根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注\*\*平成 18 年 10 月末現在：国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び横浜市。

### 本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中の地震数を表す（通常図の右肩上に示してある）

#### ・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1

NP2：節面 2

STR：走向（°：北から時計周り）

DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

AZM：方位角（°：北から時計周り）

PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

Mw：モーメントマグニチュード

Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

#### ・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。なお、平成 18 年 10 月 2 日に震央地名を一部見直した（p43 参照）。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「地震年報（CD-ROM）」を参照のこと。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「火山報告（CD-ROM）」を参照のこと。

#### ・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

## 目 次

日本及びその周辺で発生した主な地震	1
東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	16
日本の主な火山活動	23
世界の主な地震	31
世界の主な火山活動	32
特集 1．緊急地震速報の技術を活用した津波警報・注意報の迅速化	33
特集 2．震度情報に用いる地域の一部見直しについて	35
特集 3．震央地名の一部見直しについて	43
付表	
1．震度 1 以上を観測した地震の表	46
2．過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	58
3．日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	59

## 日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	10 1 02 50	千島列島東方	6.8	M . . .	震度 1 以上を観測した地点なし	4
2	10 1 18 05	千島列島東方	6.6	M . . .	震度 1 以上を観測した地点なし	4
3	10 2 02 07	三陸沖	5.2	. . . . .	3：岩手県 北上市二子町* 宮城県 気仙沼市笹が陣*	6
4	10 11 08 58	福島県沖	6.0	M . . .	3：宮城県 登米市迫町* 丸森町鳥屋*	7
5	10 12 23 46	与那国島近海	6.2	M . . .	2：沖縄県 与那国町祖納 など 1 県 7 地点	15
6	10 13 22 47	千島列島東方	6.3	M . . .	震度 1 以上を観測した地点なし	4
7	10 14 06 38	千葉県南東沖	5.1	. . S .	4：千葉県 館山市長須賀 など 1 県 5 地点	9
8	10 24 06 17	鳥島近海	6.8	M . . T	2：東京都 小笠原村三日月山 小笠原村父島	10

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある \* 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。被害の報告は総務省消防庁による。

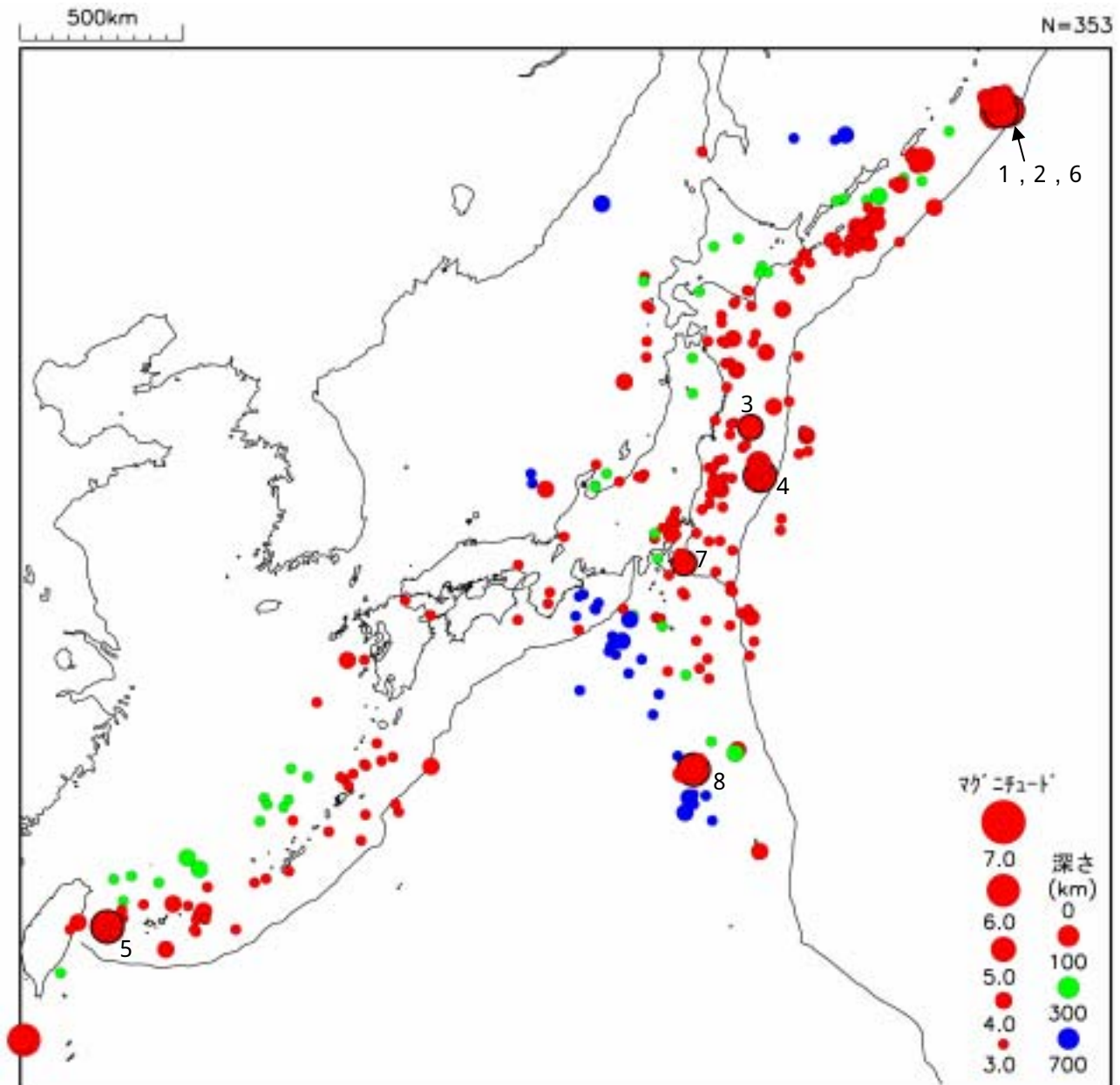
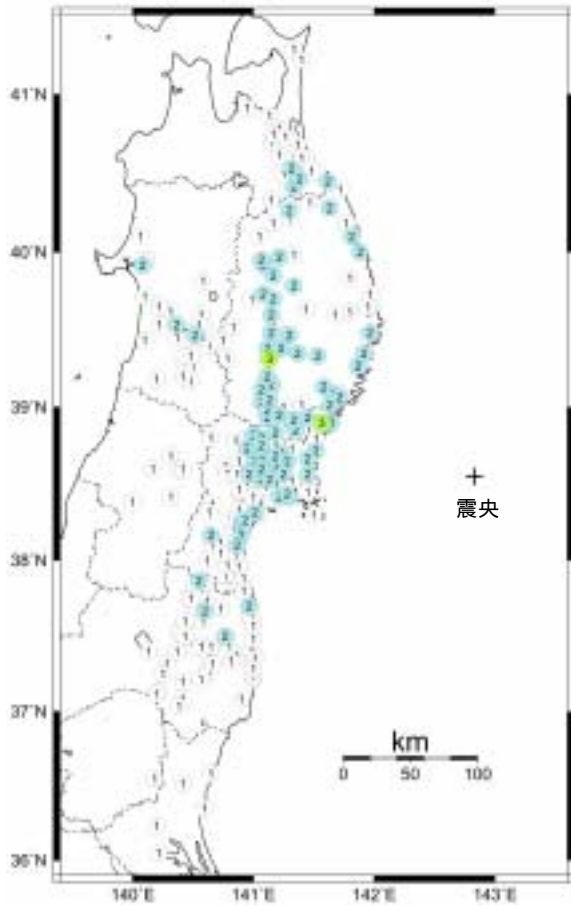


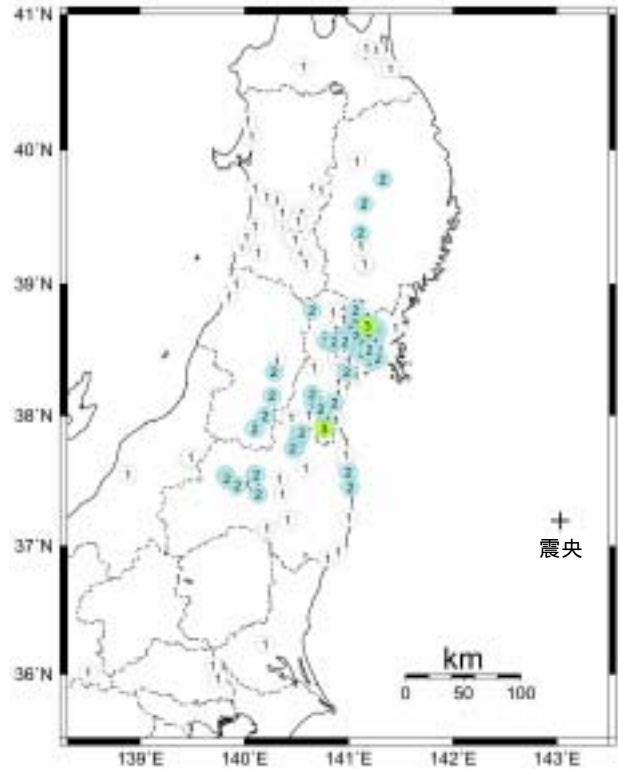
図 1 2006 年 10 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図  
( 図中の数字は表 1 の番号に対応する )

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

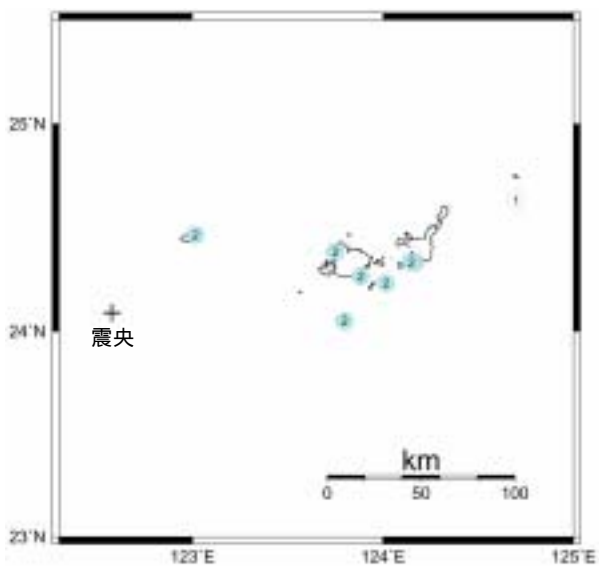
No. 3 : 10 / 2 02:07 三陸沖  
 (M5.2, 深さ 56km, 最大震度 3)



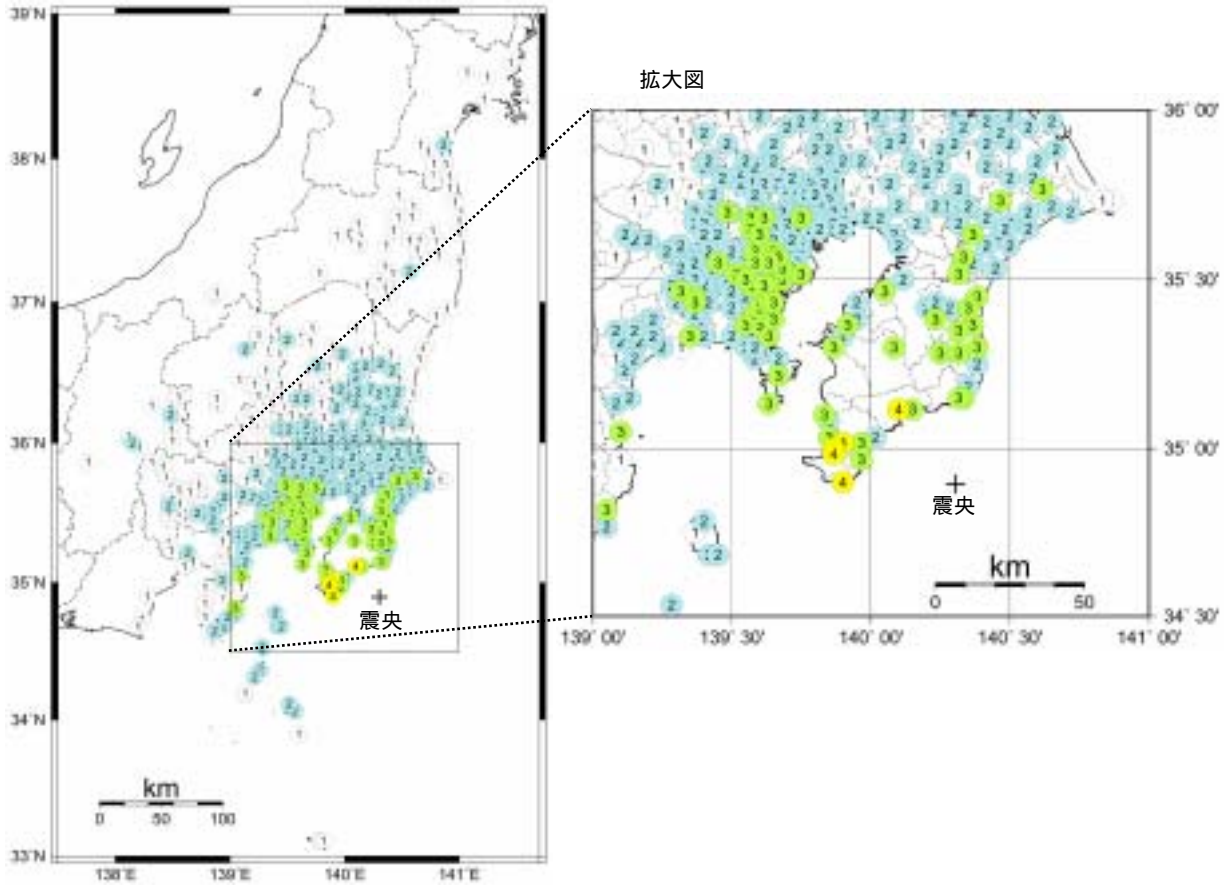
No. 4 : 10 / 11 08:58 福島県沖  
 (M6.0, 深さ 50km, 最大震度 3)



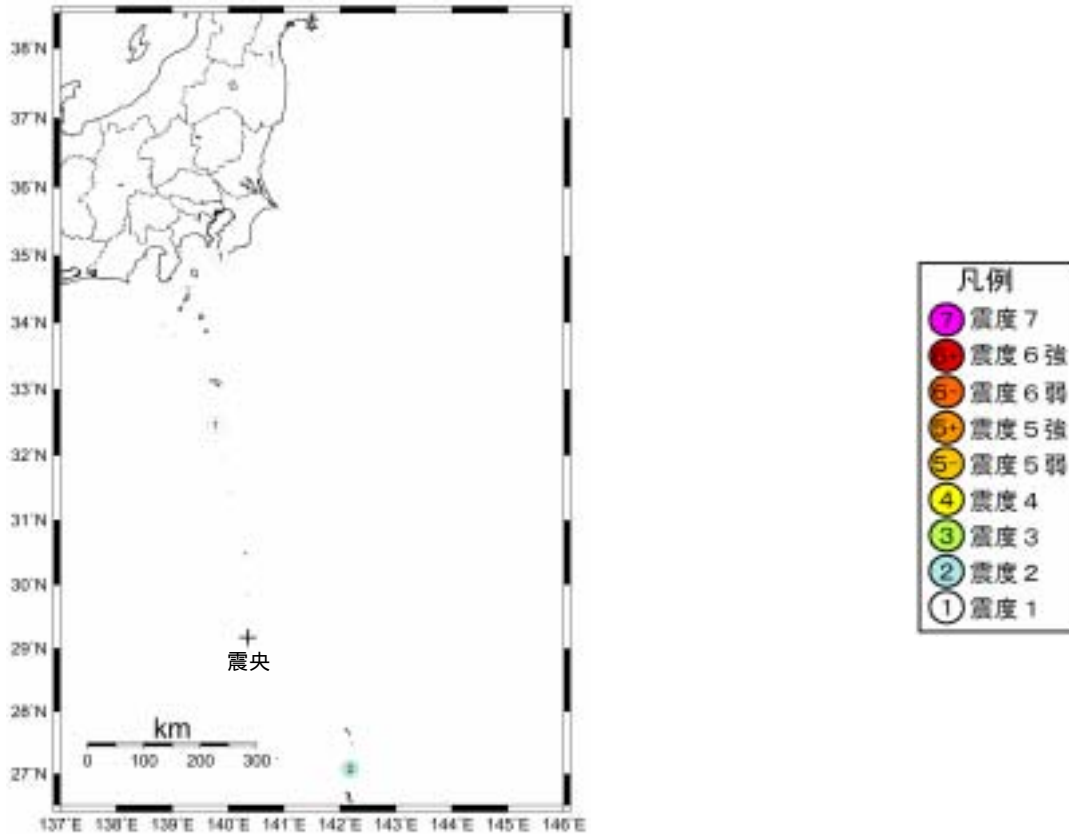
No. 5 : 10 / 12 23:46 与那国島近海  
 (M6.2, 深さ 46km, 最大震度 2)



No. 7 : 10 / 14 06:38 千葉県南東沖  
(M5.1, 深さ 64km, 最大震度 4)



No. 8 : 10 / 24 06:17 鳥島近海  
(M6.8, 深さ 3km, 最大震度 2)



## 北海道地方の地震活動

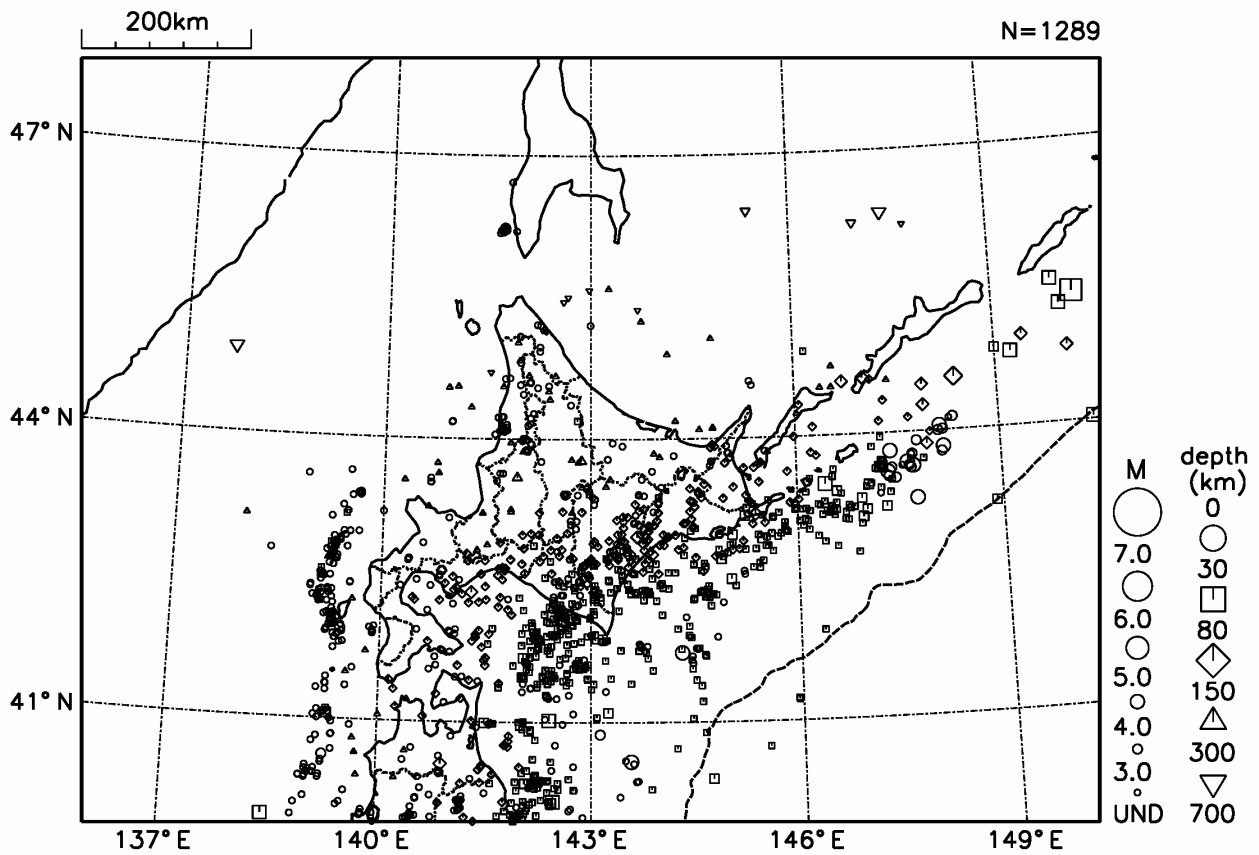


図3 北海道地方の震央分布図（2006年10月1日～10月31日）

### [概況]

10月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は16回（9月は17回）であった。10月の主な活動は次のとおりである。

千島列島東方の深さ30kmで10月1日02時50分にM6.8、同日18時05分にM6.6、10月13日22時47分にM6.3の地震（図3の範囲外、p1の図1中の1、2、6）が発生した。



## 東北地方の地震活動

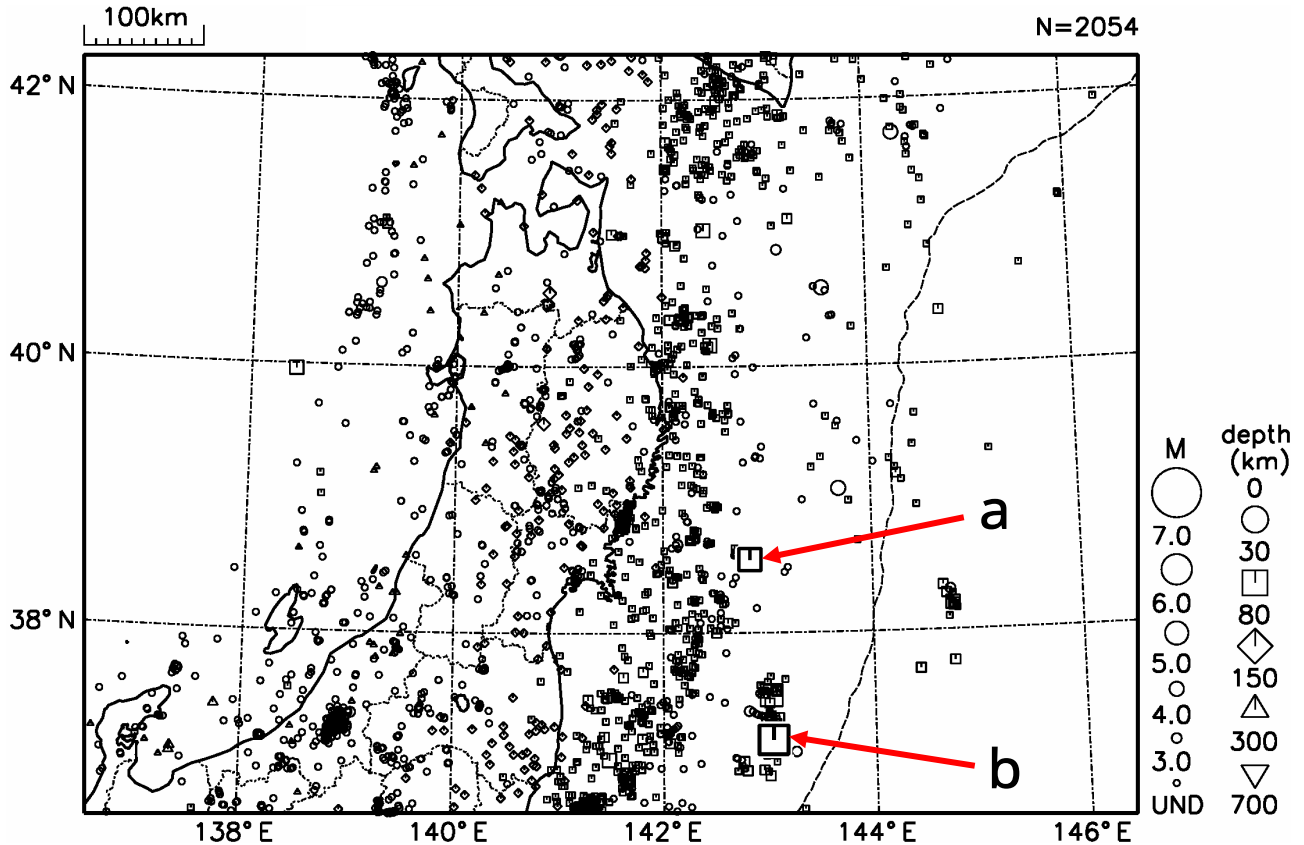


図 4 東北地方の震央分布図（2006 年 10 月 1 日～10 月 31 日）

### [ 概況 ]

10 月に東北地方で震度 1 以上を観測した地震は 27 回（9 月は 22 回）であった。  
10 月中の主な地震は次の通りである。

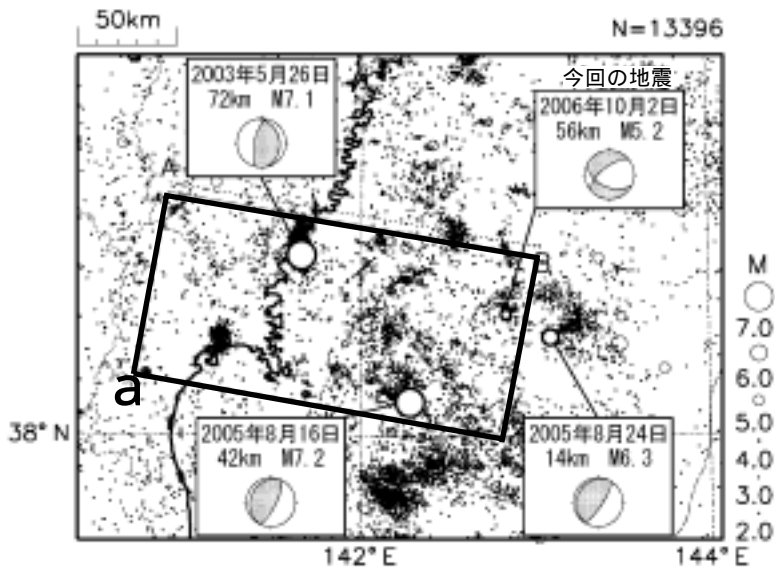
2 日 02 時 07 分、三陸沖〔宮城県沖〕の深さ 56km で M5.2 の地震（図 4 中の a）が発生し、岩手県と宮城県で震度 3 を観測したほか、青森県から茨城・栃木県にかけて震度 2～1 を観測した（p 6 参照）。

11 日 08 時 58 分、福島県沖で M6.0 の地震（図 4 中の b）が発生し、宮城県で震度 3 を観測したほか、青森県から茨城・埼玉・長野県にかけて震度 2～1 を観測した（p 7 参照）。



## 10 月 2 日 三陸沖〔宮城県沖〕の地震

震央分布図  
 (1997 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 10 月 31 日  
 深さ 0 km ~ 150 km M 2.0)

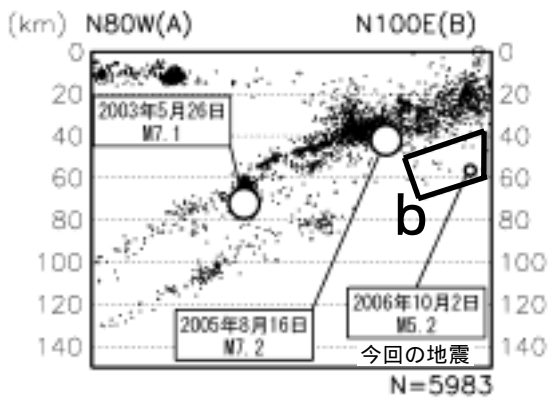


10 月 2 日 02 時 07 分に三陸沖〔宮城県沖〕の深さ 56km で M5.2 の地震（最大震度 3）が発生した。

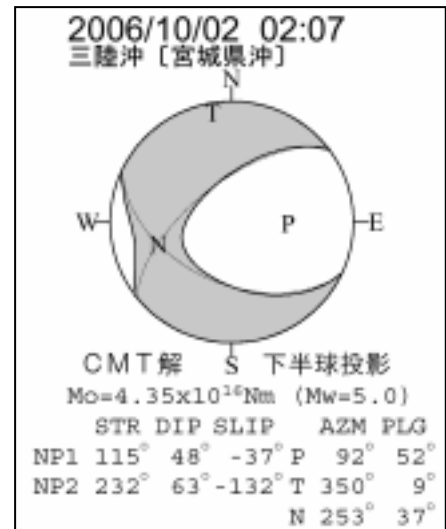
この地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

この地震の震源付近は、地震活動があまり見られない場所であり、プレート境界で発生した 2005 年 8 月 16 日の宮城県沖の地震（M7.2）や 2005 年 8 月 24 日の三陸沖の地震（M6.3）、プレート内部で発生した 2003 年 5 月 26 日の宮城県沖の地震（M7.1）とは発震機構が異なる。

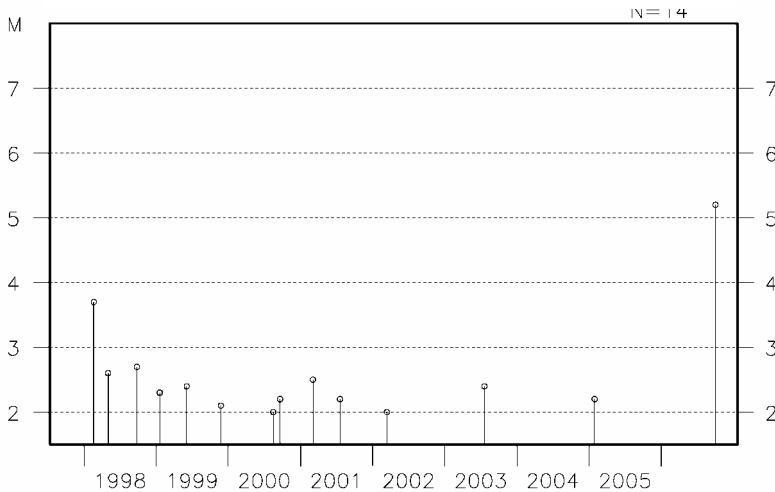
領域 a 内の A-B 投影断面図



発震機構（CMT 解）

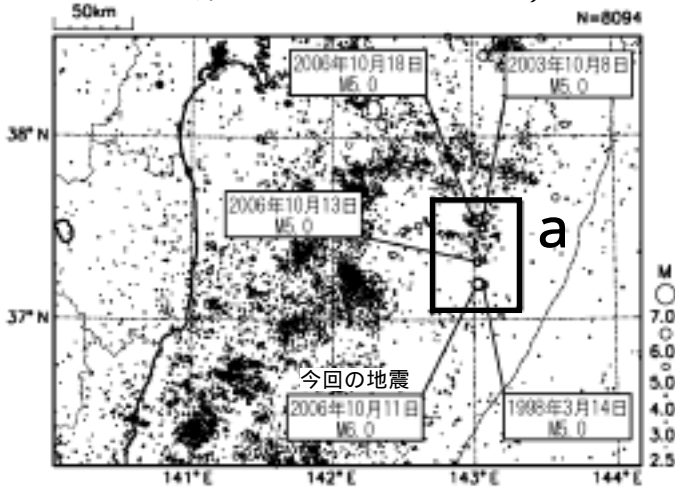


領域 b 内の M - T 図



## 10 月 11 日 福島県沖の地震

震央分布図  
（1997 年 10 月 1 日～2006 年 10 月 31 日  
深さ 0 km～150km M 2.5）



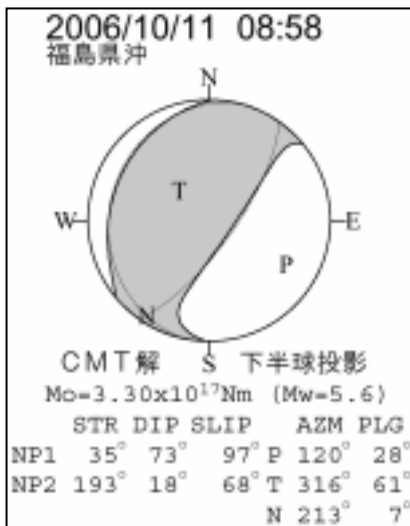
10 月 11 日 08 時 58 分に福島県沖で M6.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

この地震の発震機構は、西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートの沈み込みに伴い発生した地震である。また、この地震の後、北側では 13 日 10 時 18 分と 18 日 04 時 09 分に M5.0 の地震が発生している。

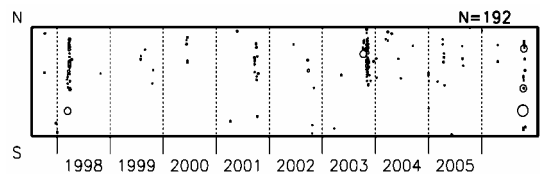
1997 年 10 月以降、領域 a では 1998 年 3 月 14 日と 2003 年 10 月 8 日に M5.0 の地震が発生している。

1923 年 8 月以降の地震活動を見ると、領域 b では M6.0 以上の地震が 4 回観測されている。

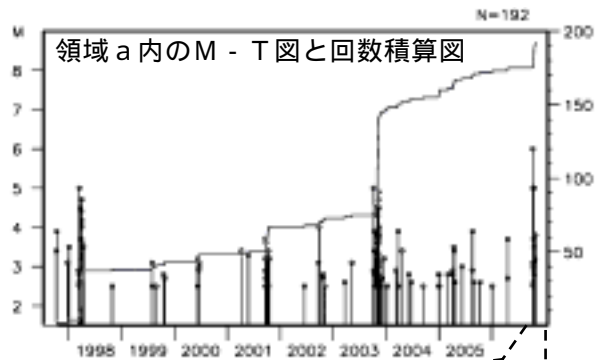
発震機構 (CMT 解)



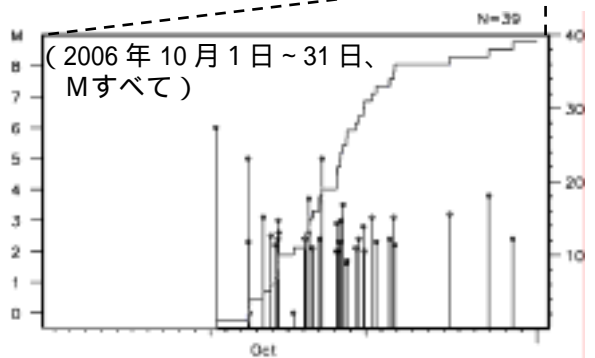
領域 a 内の南北時空間分布図



領域 a 内の M - T 図と回数積算図

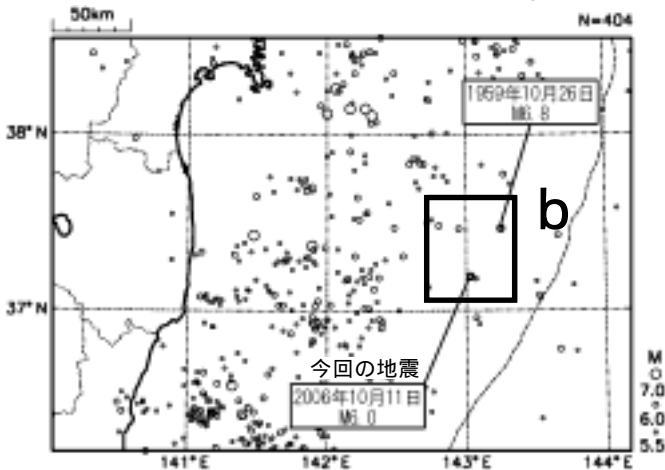


(2006 年 10 月 1 日～31 日、M すべて)

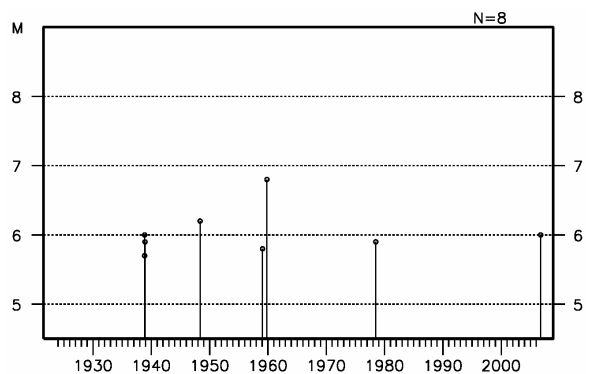


震央分布図

(1923 年 8 月 1 日～2006 年 10 月 31 日  
深さ 0 km～150km M 5.5)



領域 b 内の M - T 図



## 関東・中部地方の地震活動

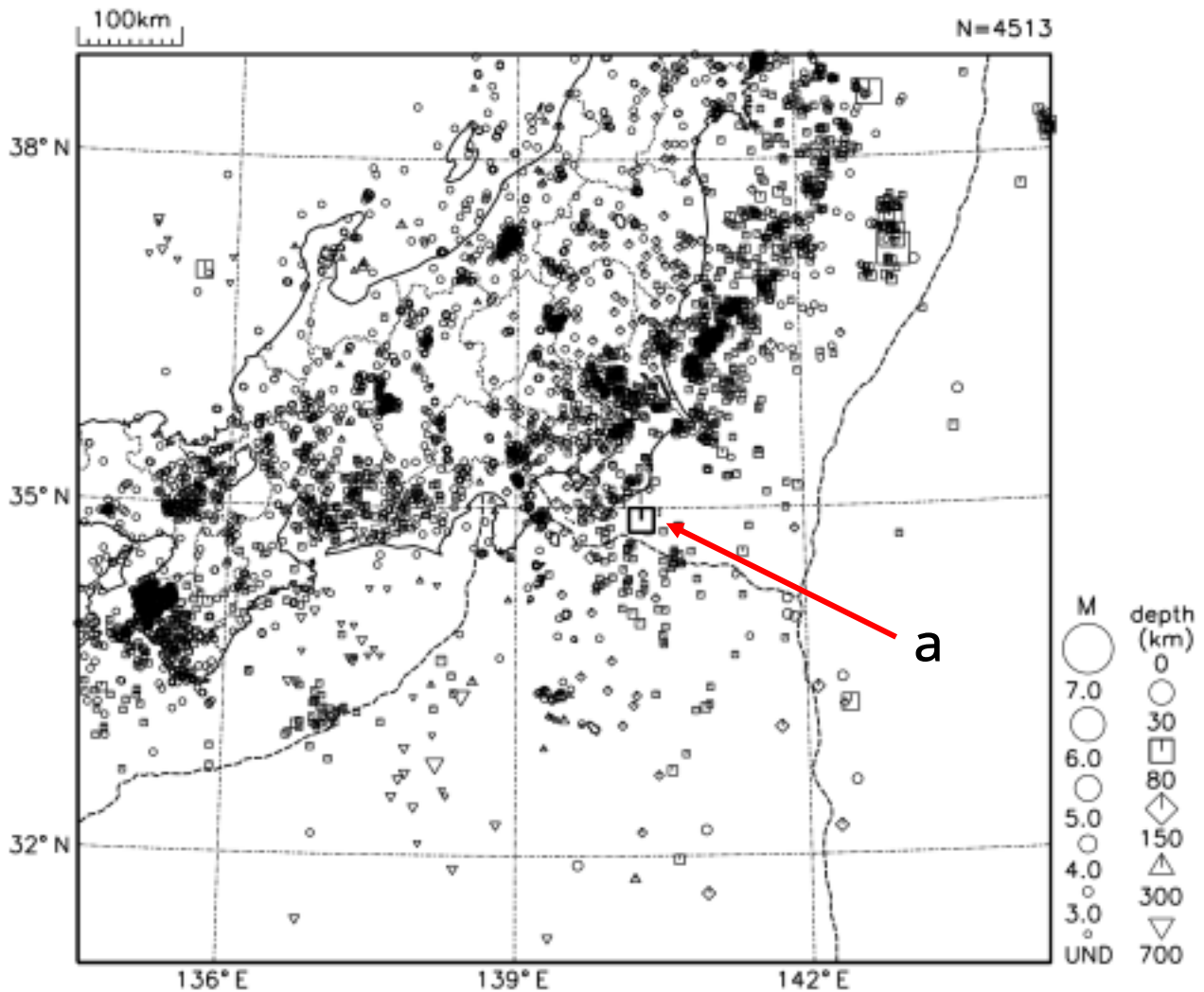


図5 関東・中部地方の震央分布図（2006年10月1日～10月31日）

### [概況]

10月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は39回（9月は33回）であった。10月中の主な活動は次の通りである。

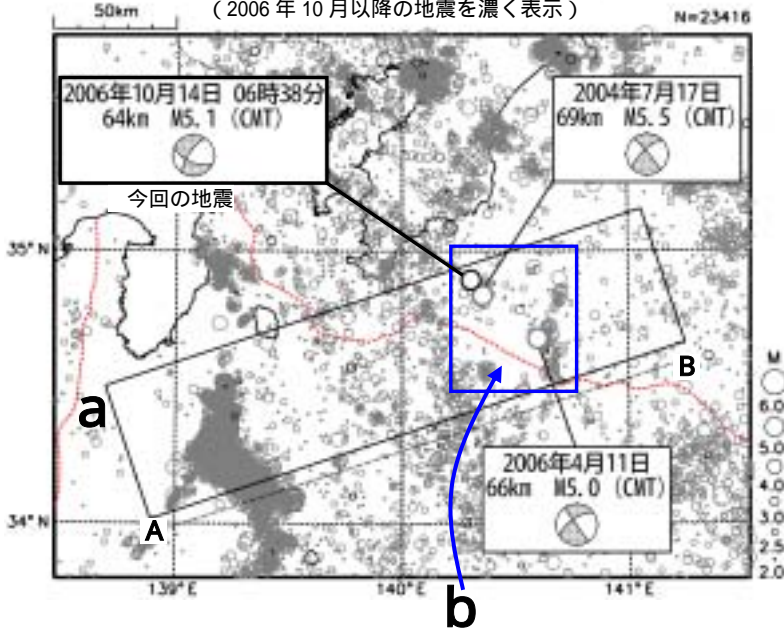
14日06時38分、千葉県南東沖でM5.1の地震（図5中のa）があり、千葉県館山市・鴨川市・南房総市で震度4を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越地方で震度3～1を観測した（p9参照）。

24日06時17分、鳥島近海でM6.8の地震（図5の範囲外）があり、東京都小笠原村で震度2を観測したほか、宮城県、千葉県、東京都で震度1を観測した。この地震に伴い、伊豆諸島などで微弱な津波を観測した（p10、11参照）。

# 10 月 14 日 千葉県南東沖の地震

震央分布図

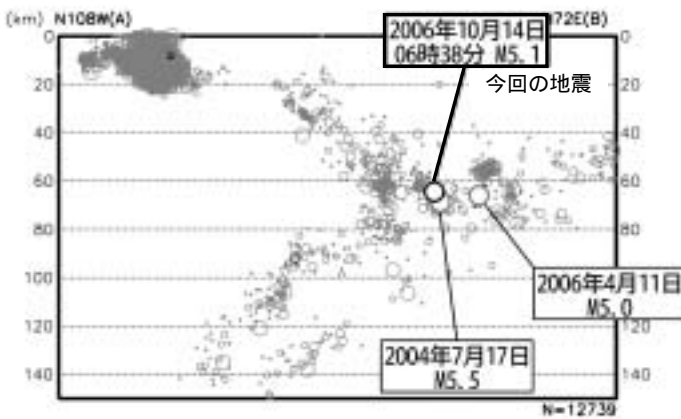
(1997 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 10 月 31 日、  
深さ 0 ~ 150km、M 2.0)  
(2006 年 10 月以降の地震を濃く表示)



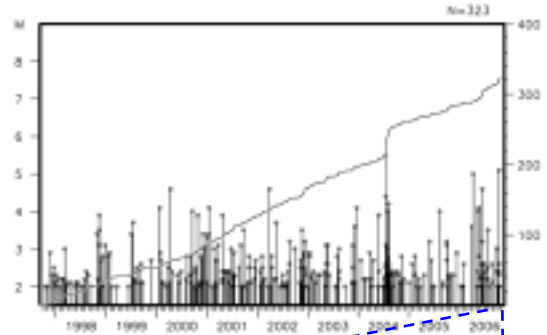
2006 年 10 月 14 日 06 時 38 分に千葉県南東沖の深さ 64km で M5.1 (最大震度 4) の地震が発生した。発震機構 (CMT 解) は東北東 - 西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。今回の地震の震源付近では、2004 年 7 月 17 日に M5.5 (最大震度 4) の地震が発生するなど、M5.0 前後の地震が時々発生している。

1923 年 8 月以降、今回の地震の震央付近では、1923 年 9 月 1 日の M7.9 の地震 [ 関東地震 ] 直後の地震活動の活発な時期を除くと、M6.0 以上の地震はあまり見られない。最近では、1986 年 6 月 24 日に M6.4 (最大震度 4) の地震が発生しているのみである。

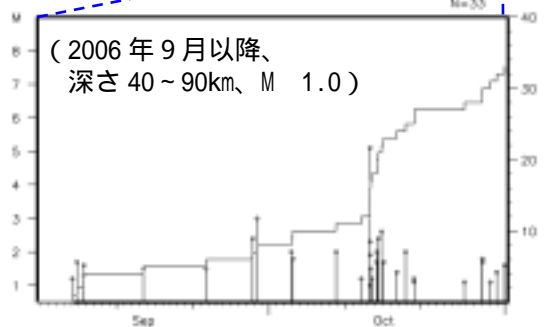
領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



領域 b 内の M - T 図、回数積算図  
(深さ 40 ~ 90km)



(2006 年 9 月以降、  
深さ 40 ~ 90km、M 1.0)

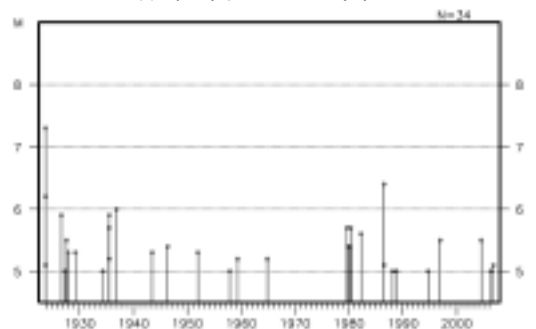


震央分布図

(1923 年 8 月 1 日 ~ 2006 年 10 月 31 日、  
深さ 0 ~ 120km、M 5.0)



領域 c 内の M - T 図

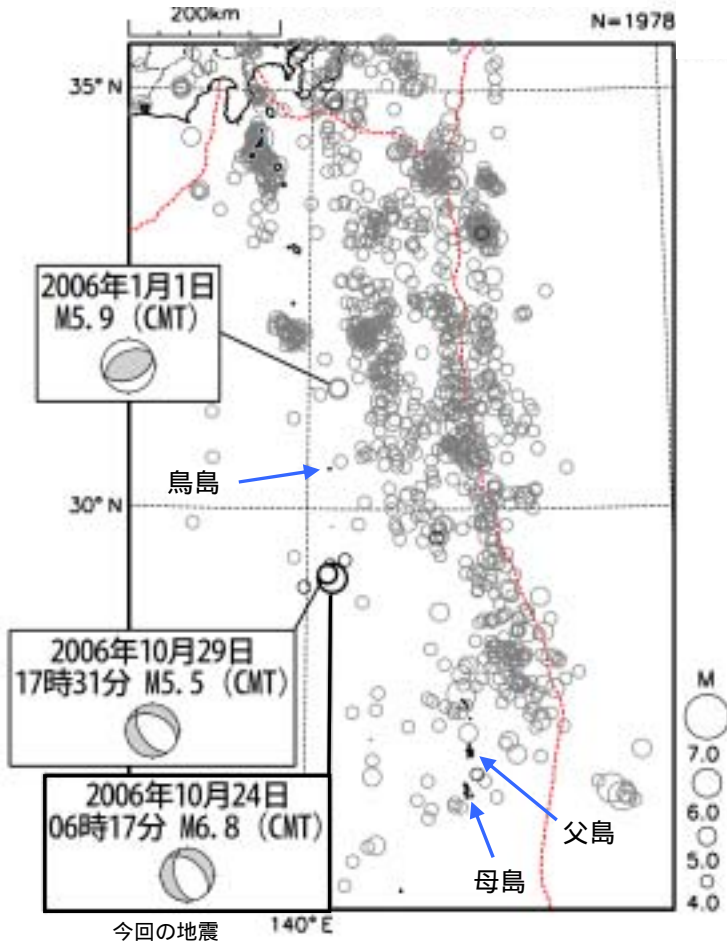




# 10 月 24 日 鳥島近海の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日 ~ 2006 年 10 月 31 日、  
深さ 0 ~ 100km、M 4.0)  
2006 年 10 月以降の地震を濃く表示している。

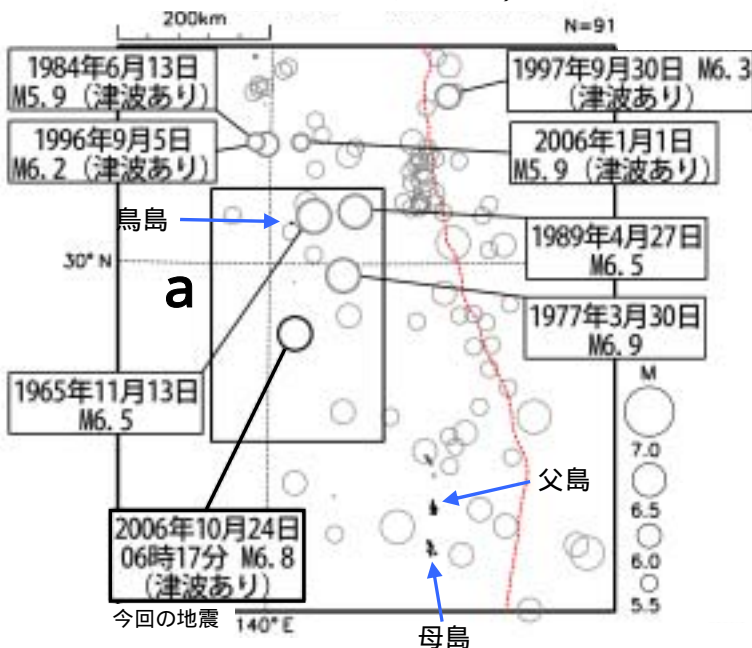


2006 年 10 月 24 日 06 時 17 分に鳥島近海で M6.8 (最大震度 2) の浅い地震が発生した。発震機構 (CMT 解) は東北東 - 西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震により、伊豆諸島などで微弱な津波を観測した。

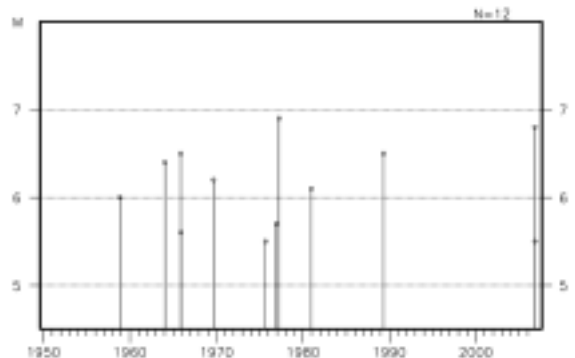
1950 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、M6.5 以上の地震が 3 回観測されている。

震央分布図

(1950 年 1 月 1 日 ~ 2006 年 10 月 31 日、  
深さ 0 ~ 100km、M 5.5)



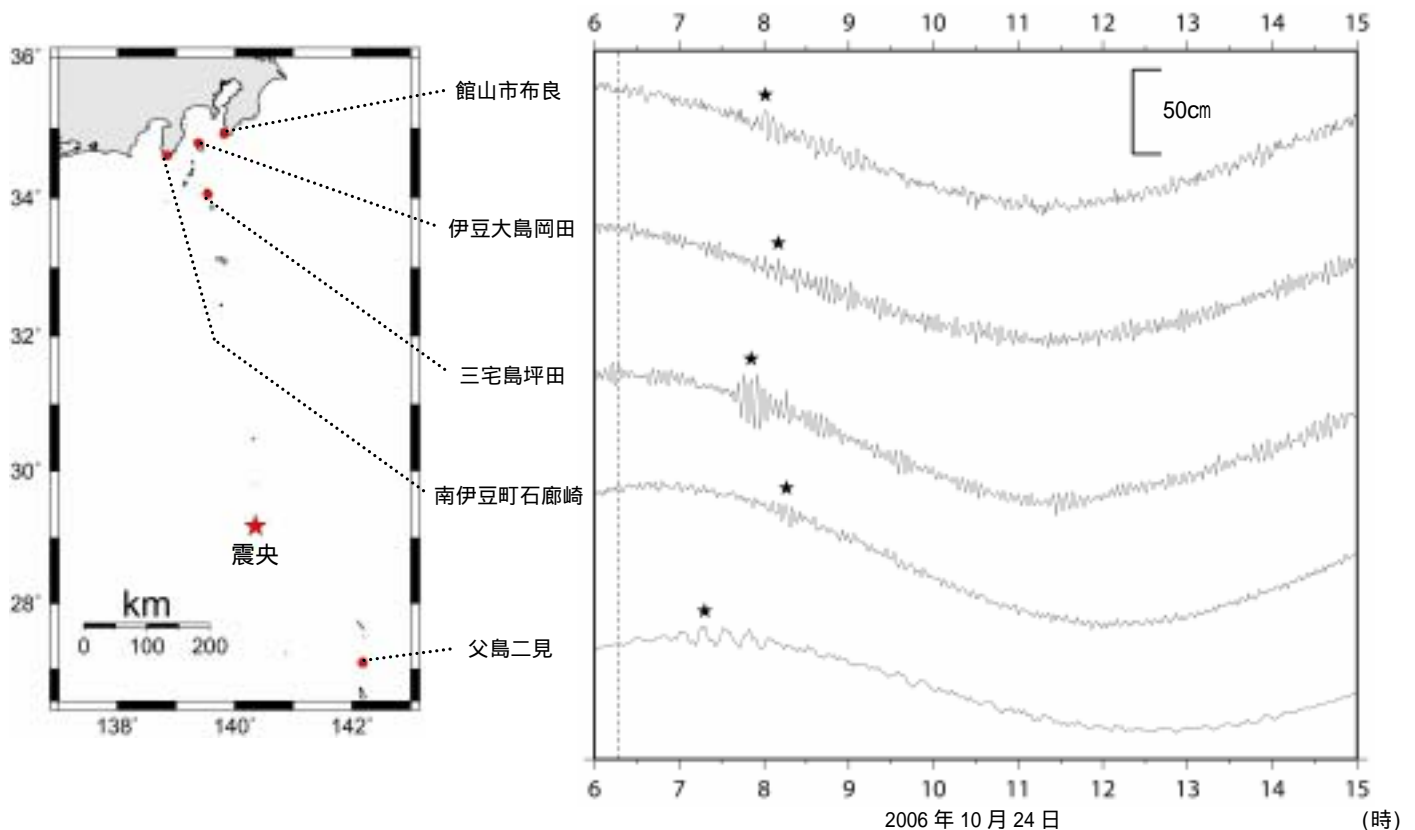
領域 a 内の M - T 図



## 10 月 24 日 鳥島近海の地震（ 2 ）

2006 年 10 月 24 日 06 時 17 分に鳥島近海で発生した M6.8 の地震により、伊豆諸島などで微弱な津波を観測した。なお、観測された津波は微弱なため、津波の第一波の到達時間及び高さの値は決定できなかった。

今回の地震が発生した海域付近では、1926 年以降、津波が発生した地震は知られていない。なお、今回の地震の北約 250km の場所で、2006 年 1 月 1 日に M5.9 の地震が発生し、伊豆諸島などで微弱な津波を観測している（地震・火山月報（防災編）2006 年 1 月号参照）。



検潮所の位置（左図）と検潮所で観測した津波の波形（右図）  
 右図において、点線は本震の発生時刻、印は最大の高さの発現時刻を示す。  
 なお、微弱な津波のため、津波の第一波の到達時間及び高さの値は決定できなかった。

### 今回の地震に伴って観測した津波の観測値

都道府県名	観測点名称	最大の高さ	
		発現時刻	高さ (cm)
千葉県	館山市布良	8時01分	11
東京都	伊豆大島岡田	8時10分	8
東京都	三宅島坪田	7時51分	16
東京都	父島二見	7時18分	6
静岡県	南伊豆町石廊崎	8時16分	7

今回の地震によって、観測された主な検潮所における津波の観測値を示している。微弱な津波のため、津波の第一波の到達時間及び高さの値は決定できなかった。表中の値は速報値であり、後日変更される場合がある。

## 近畿・中国・四国地方の地震活動

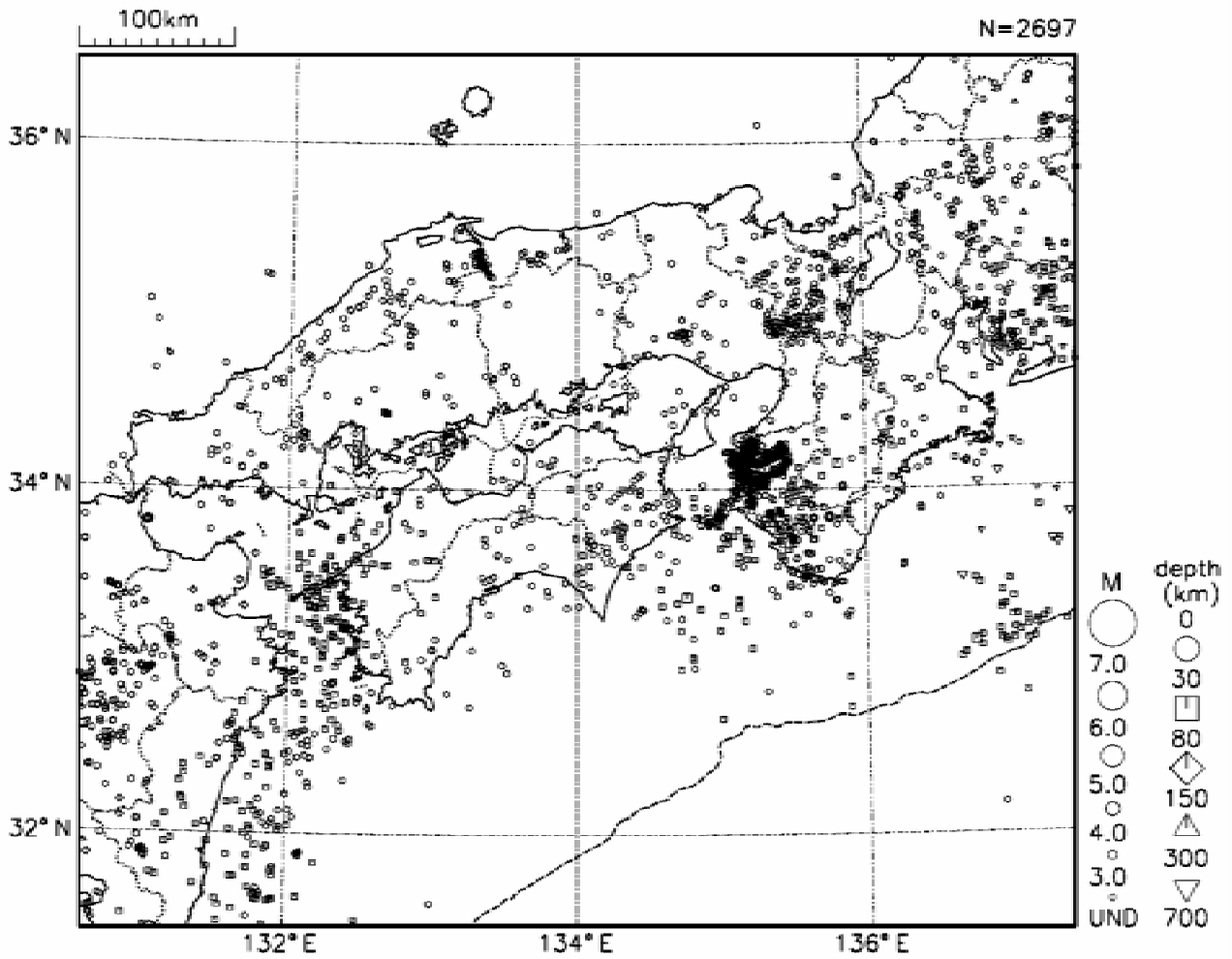


図6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2006年10月1日～10月31日）

### [ 概況 ]

10月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は16回（9月は18回）であった。10月中、特に目立った活動はなかった。



# 九州地方の地震活動

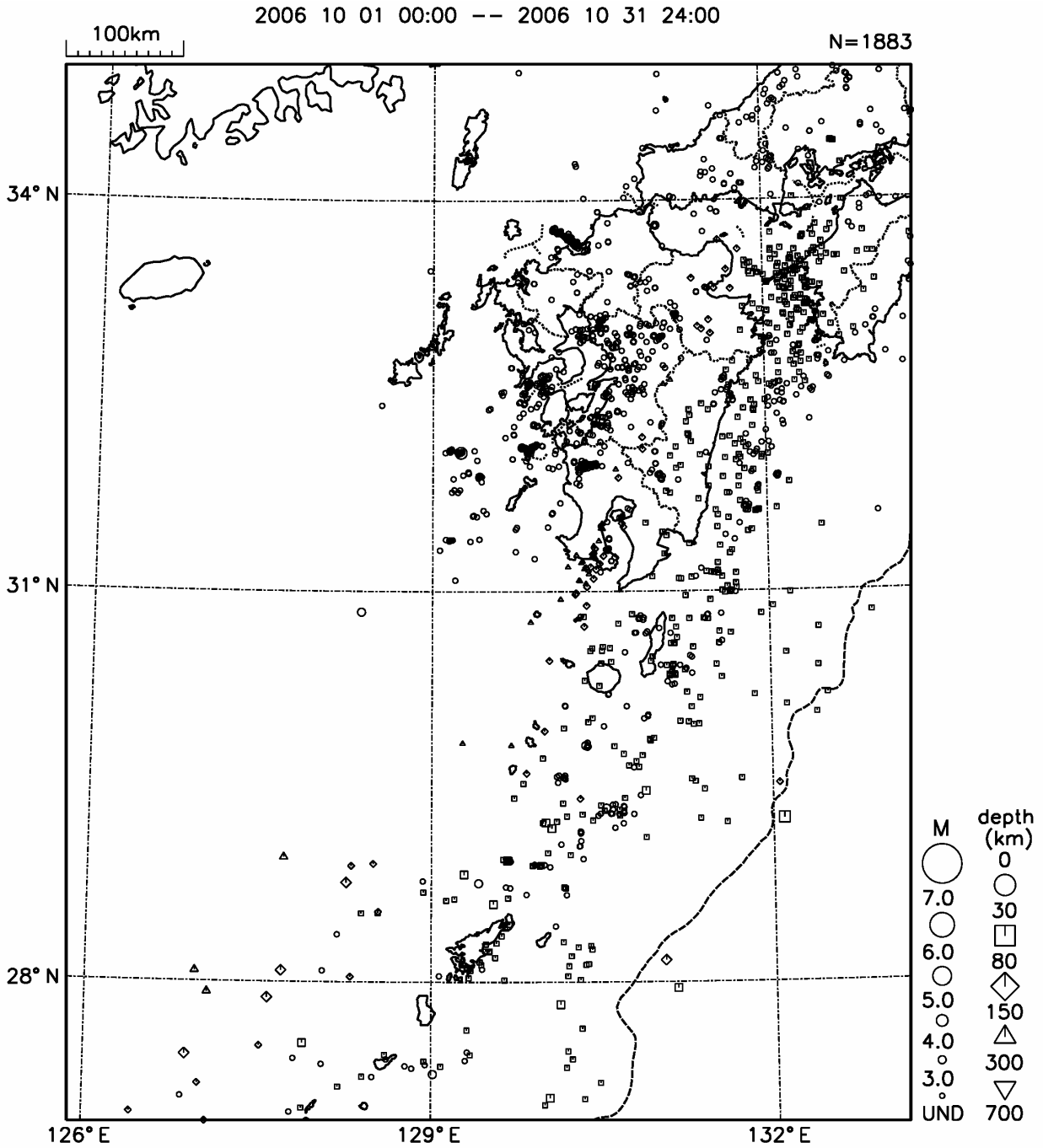


図 7 九州地方の震央分布図（2006 年 10 月 1 日～10 月 31 日）

[ 概況 ]

10 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 7 回（9 月は 15 回）であった。  
10 月中、特に目立った活動はなかった。

## 沖縄地方の地震活動

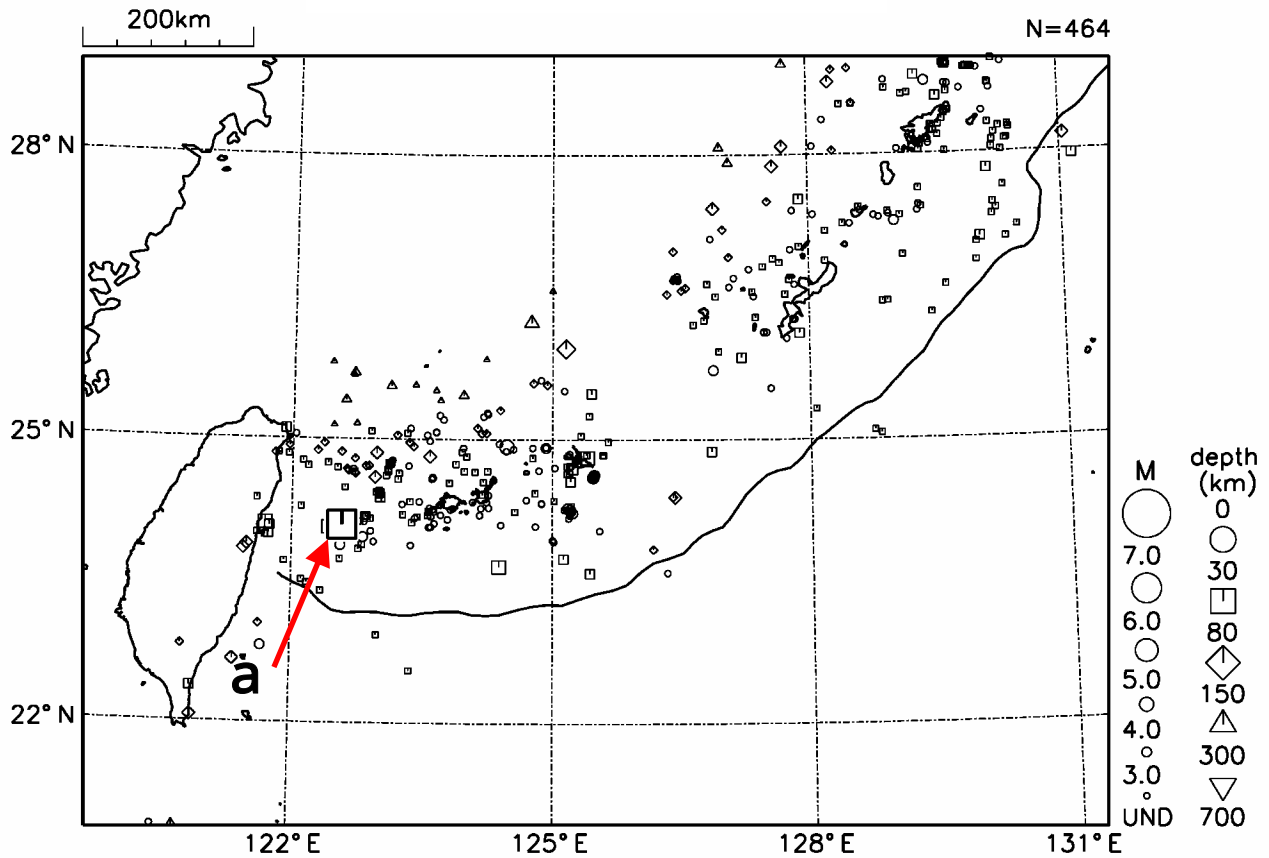


図 8 沖縄地方の震央分布図（2006年10月1日～10月31日）

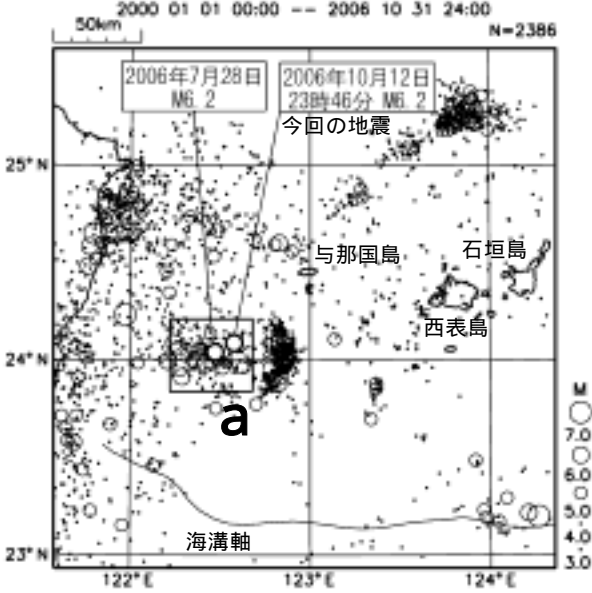
### [ 概況 ]

10月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は9回（9月は4回）であった。10月中の主な活動は次の通りである。

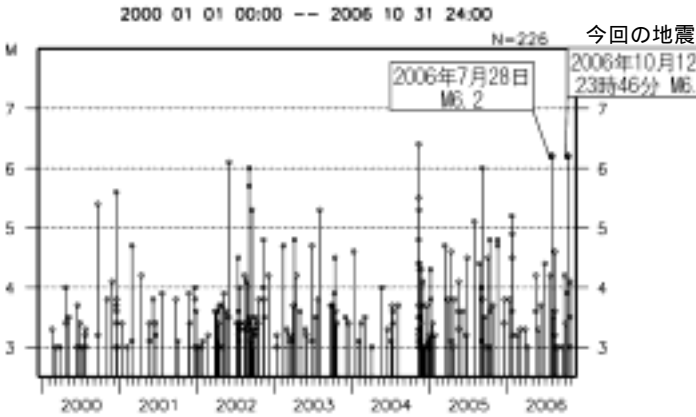
12日23時46分、与那国島近海でM6.2の地震（図8中のa）があり、与那国島から多良間島にかけて震度2～1を観測した（p15参照）。

# 10 月 12 日 与那国島近海の地震

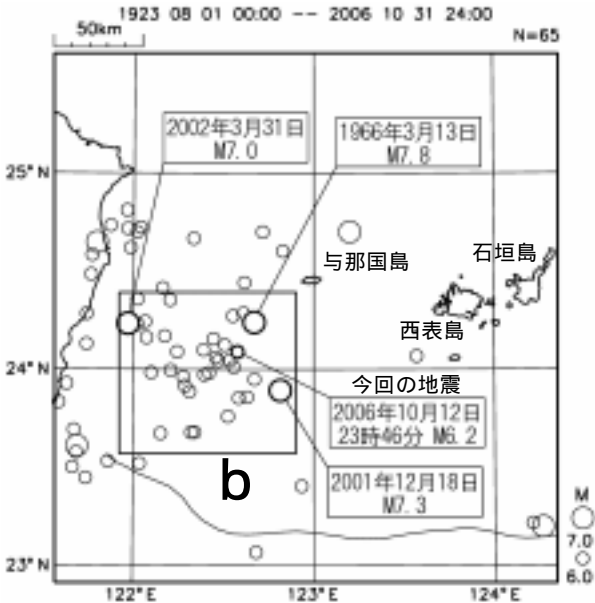
震央分布図  
(2000 年以降、M 3.0、深さ 100km 以浅)



領域 a 内の M - T 図  
(2000 年以降、M 3.0、深さ 100km 以浅)



震央分布図  
(1923 年以降、M 6.0、深さ 100 km 以浅)

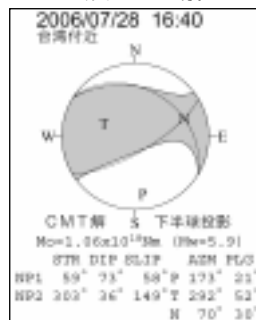


2006年10月12日23時46分にと那国島近海でM6.2の地震(与那国島で震度2)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この付近でよく見られる型である。余震は1回発生しているのみである。

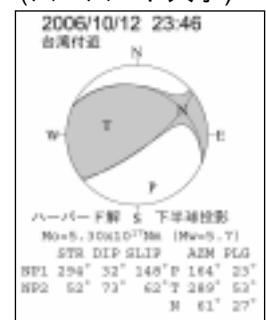
今回の地震の震央付近では、2006年7月28日にM6.2の地震(与那国島で震度3)が発生している(領域 a)。

1923年以降をみると、1966年3月13日のM7.8の地震(与那国島で震度5)では、与那国島で2人の死者を伴う被害が発生している。また、M6以上の地震が度々発生している地域である(領域 b)。

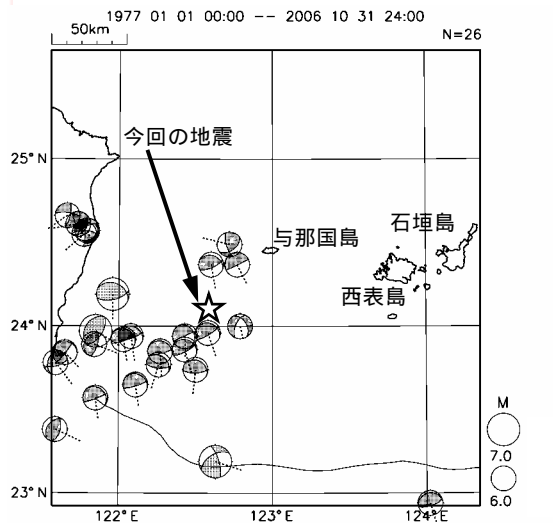
2006年7月28日の地震のCMT解



今回の地震の CMT 解 (ハーバード大学)

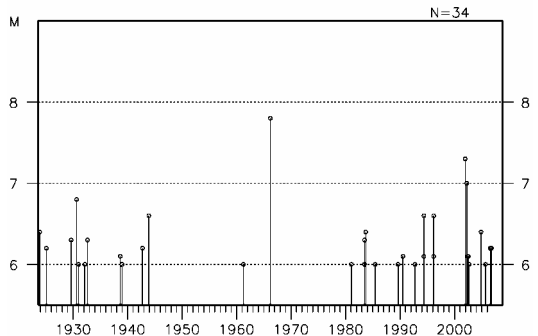


発震機構分布図 (P 軸表示)  
(ハーバード大学による、1977 年以降 M 6.0、深さ 100km 以浅)



\* シンボルからのびる点線は圧力軸の方向を示す。

領域 b 内の M - T 図  
(1923 年以降、M 6.0、深さ 100km 以浅)



## 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

特に目立った活動はなかった。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

10月30日に気象庁において第245回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会(定例会)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した(図3~6)

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。浜名湖東方から静岡県中部の直下では通常より活動レベルの低い状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

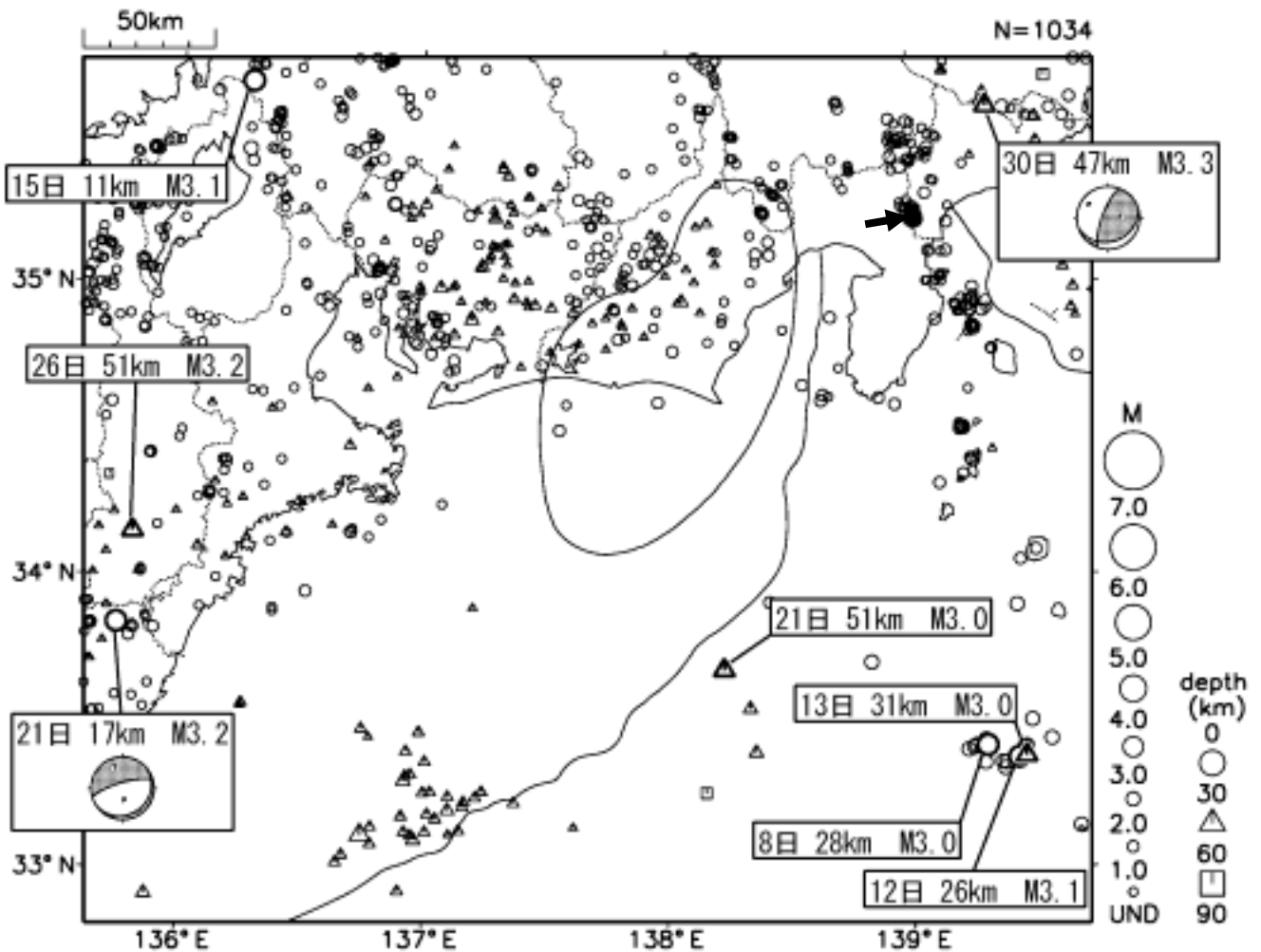


図1 震央分布図(2006年10月1日~31日:深さ90km以浅、Mすべて。M3.0以上の地震(東海道沖はM4.0以上)に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図はP波初動による発震機構(下半球投影)。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。)

神奈川県西部(箱根付近)で小規模な地震活動があった。活動は9月27日~28日と10月2日~3日に活発であり、7日~18日にはまとまった活動があった。最大の地震は、9月28日06時28分と10月2日05時36分に発生したM2.2(共に震度1以上を観測した地点なし)の地震である。また、10月11日16時

09分のM1.7の地震では箱根町湯本で震度1を観測した。(p18を参照)  
 08日01時36分、八丈島近海の深さ28kmでM3.0の地震があった。  
 12日22時33分、八丈島近海の深さ26kmでM3.1の地震があった。  
 13日08時02分、八丈島近海の深さ31kmで

M3.0 の地震があった。  
15 日 13 時 41 分、福井県嶺北の深さ 11km で M3.1 の地震があり、最大震度 2 を観測した。  
21 日 00 時 30 分、東海道南方沖の深さ 51km で M3.0 の地震があった。  
21 日 07 時 37 分、和歌山県南部の深さ 17km で M3.2 の地震があり、最大震度 1 を観測した。この地震の発震機構は北北西 - 南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。陸域の地殻内で発生した地震である。  
26 日 17 時 20 分、奈良県の深さ 51km で M3.2 の地震があり、最大震度 1 を観測した。フィ

リピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。  
30 日 12 時 10 分、神奈川県西部の深さ 47km で M3.3 の地震があり、最大震度 1 を観測した。この地震の発震機構は北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1) と「固着域」(図 3)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ除去」(図 3, 4)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 174 市町村(平成 18 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

## 神奈川県西部（箱根付近）の地震活動

神奈川県西部（箱根付近）で小規模な地震活動があった。活動は9月27日～28日と10月2日～3日に活発であり、7日から18日にかけてまとまった活動があったが、その後は次第に収まりつつある。これまでの最大の地震は、9月28日06時28分と10月2日05時36分に発生したM2.2（共に震度1以上を観測した地点なし）の地震である。また、10月11日16時09分のM1.7の地震では箱根町湯本で震度1を観測した。今回の地震の震源付近では、2001年6月から活発な地震活動（最大は2001年7月21日のM2.8（最大震度2））が見られたが、その後も年に1回程度、今回と同規模の活動が発生している。

1926年以降、今回の地震の震央付近ではM5.0以上の地震が4回発生している。最近ではM4.0前後の地震は発生していない。

左図領域内の震央分布図（Mすべて）

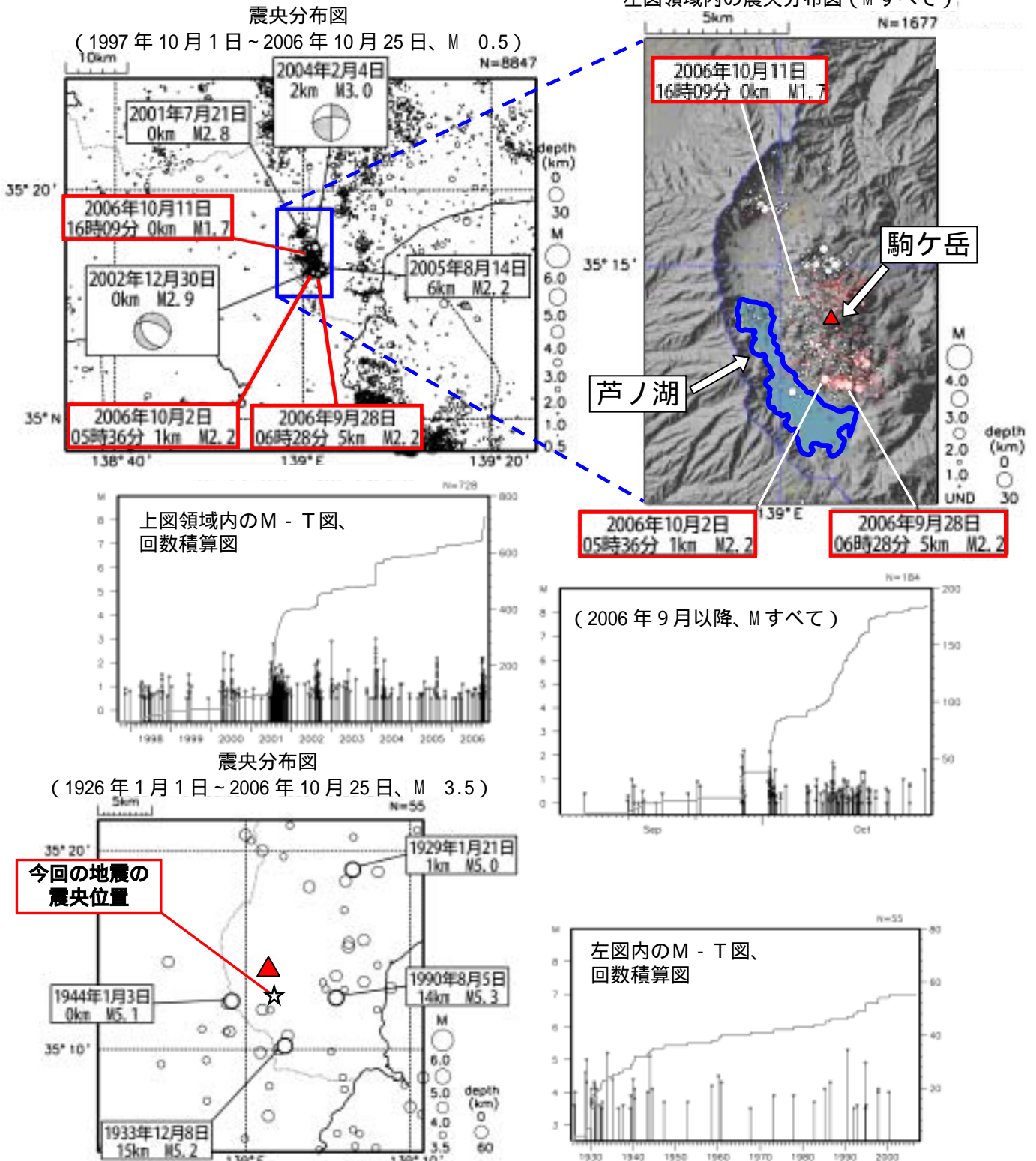


図2 神奈川県西部（箱根付近）の地震活動



### 東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2006年10月25日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリピン海プレート	地殻内	フィリピン海プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	5	4	5	4	4	2	2	4
短期地震回数 (平均)	8 (6.34)	6 (5.90)	5 (4.49)	12 (12.63)	1 (2.38)	2 (5.91)	1 (3.53)	6 (6.11)
中期活動指数	5	6	7	4	1	0	1	4
中期地震回数 (平均)	23 (19.03)	24 (17.69)	20 (13.46)	36 (37.90)	1 (4.76)	3 (11.82)	2 (7.06)	13 (12.22)

\* Mしきい値：

M $\geq$ 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4：駿河湾

\* クラスタ除去：

震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

\* 対象期間：

短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

\* 基準期間：

1997年—2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年—2000年（3年間）：浜名湖

1991年—2000年（10年間）：駿河湾

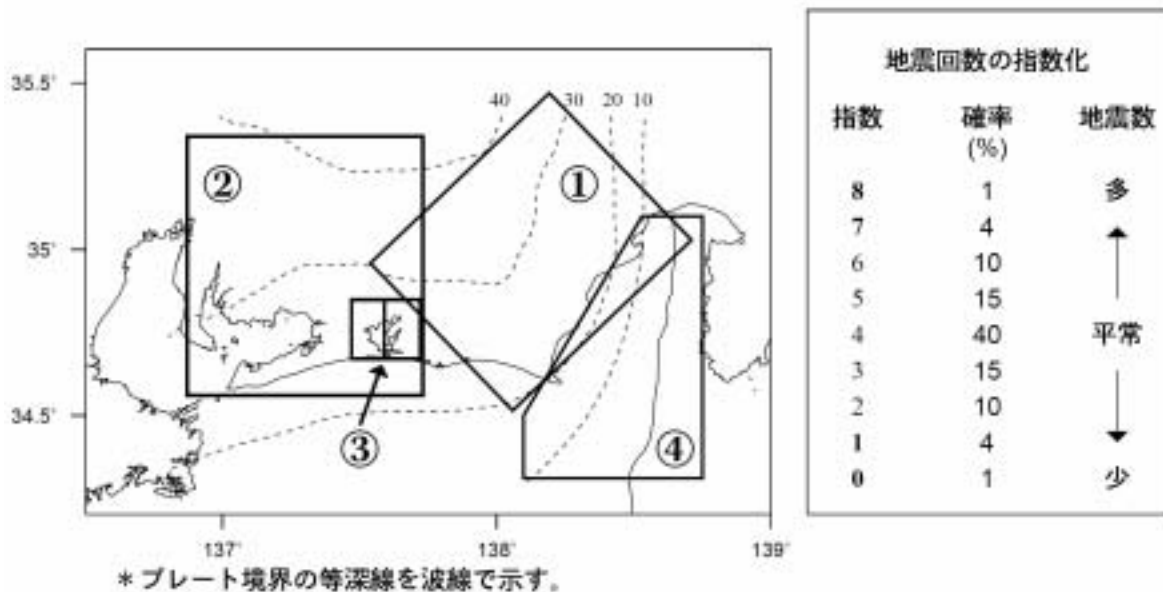


図3 東海地域の地震活動指数

浜名湖は、活動指数の低い状態が継続している。中期の指数を見ると、愛知県地殻内がやや高い傾向であるが、最近では平常の活動（短期の指数5）に戻っている。それ以外の地域は、ほぼ平常の活動であった。



### 浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/1/1~2006/10/25 M $\geq$ 1.1 \*クラスタ除去したデータ

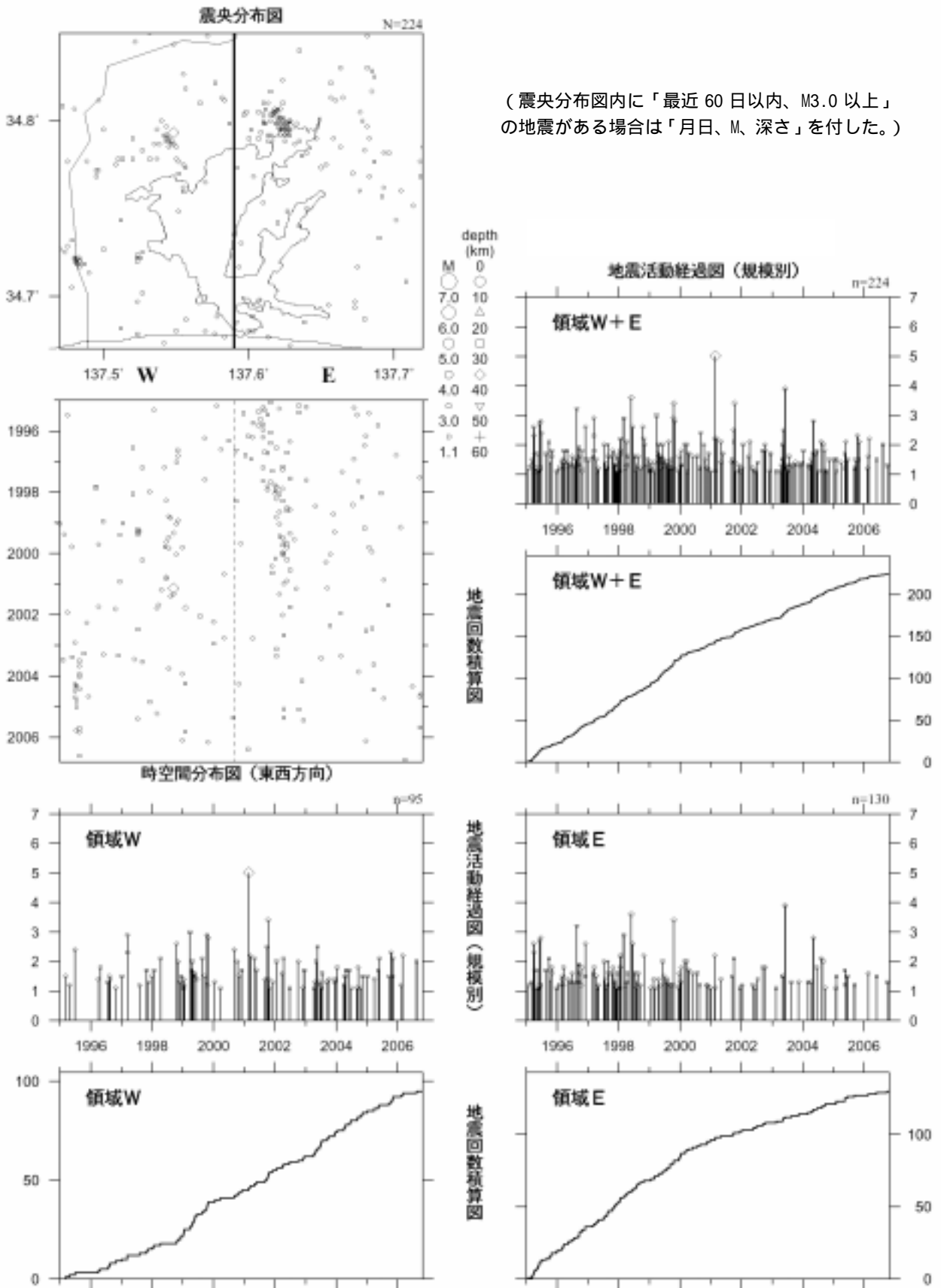


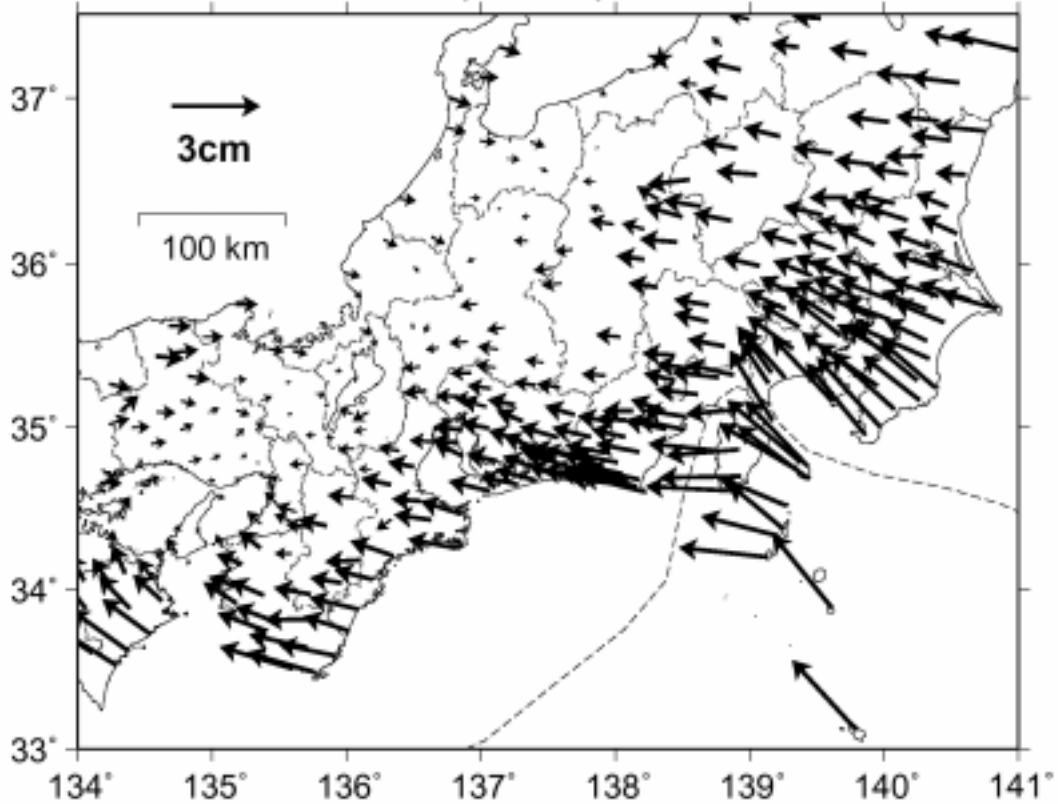
図4 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動  
領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続している。領域Wも最近では静かになっている。

## 東海地方の最近の地殻変動 (2005年9月~2006年9月)

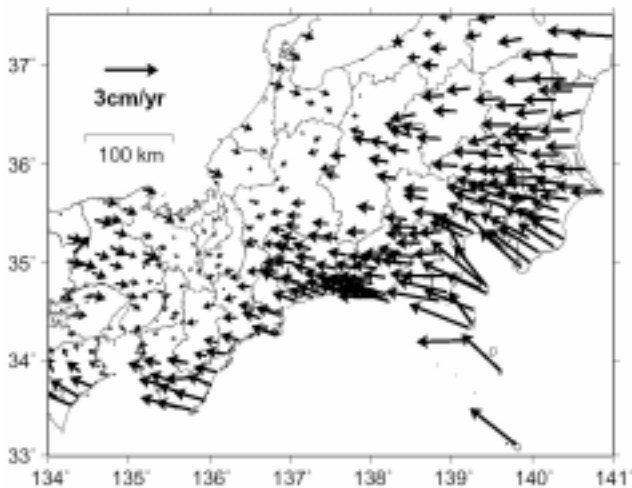
基準期間：2005/9/28 - 2005/10/7 [F2：最終解]

比較期間：2006/9/28 - 2006/10/7 [F2：最終解]

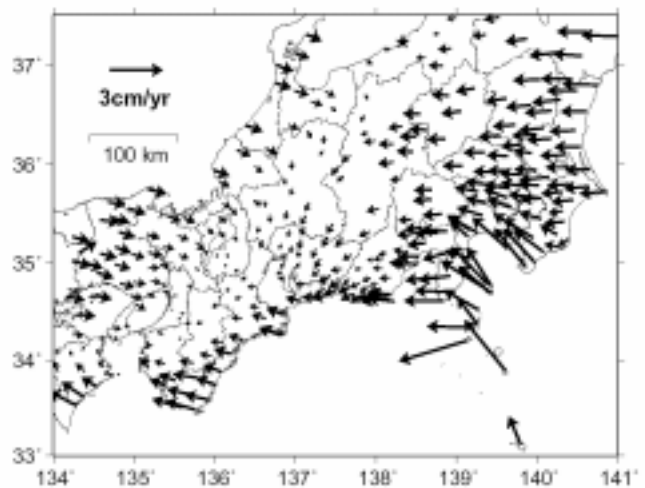
★固定局：大湊



スロースリップ開始以前の地殻変動速度  
(1998年1月~2000年1月)



スロースリップ進行期の地殻変動速度  
(2001年1月~2004年1月)



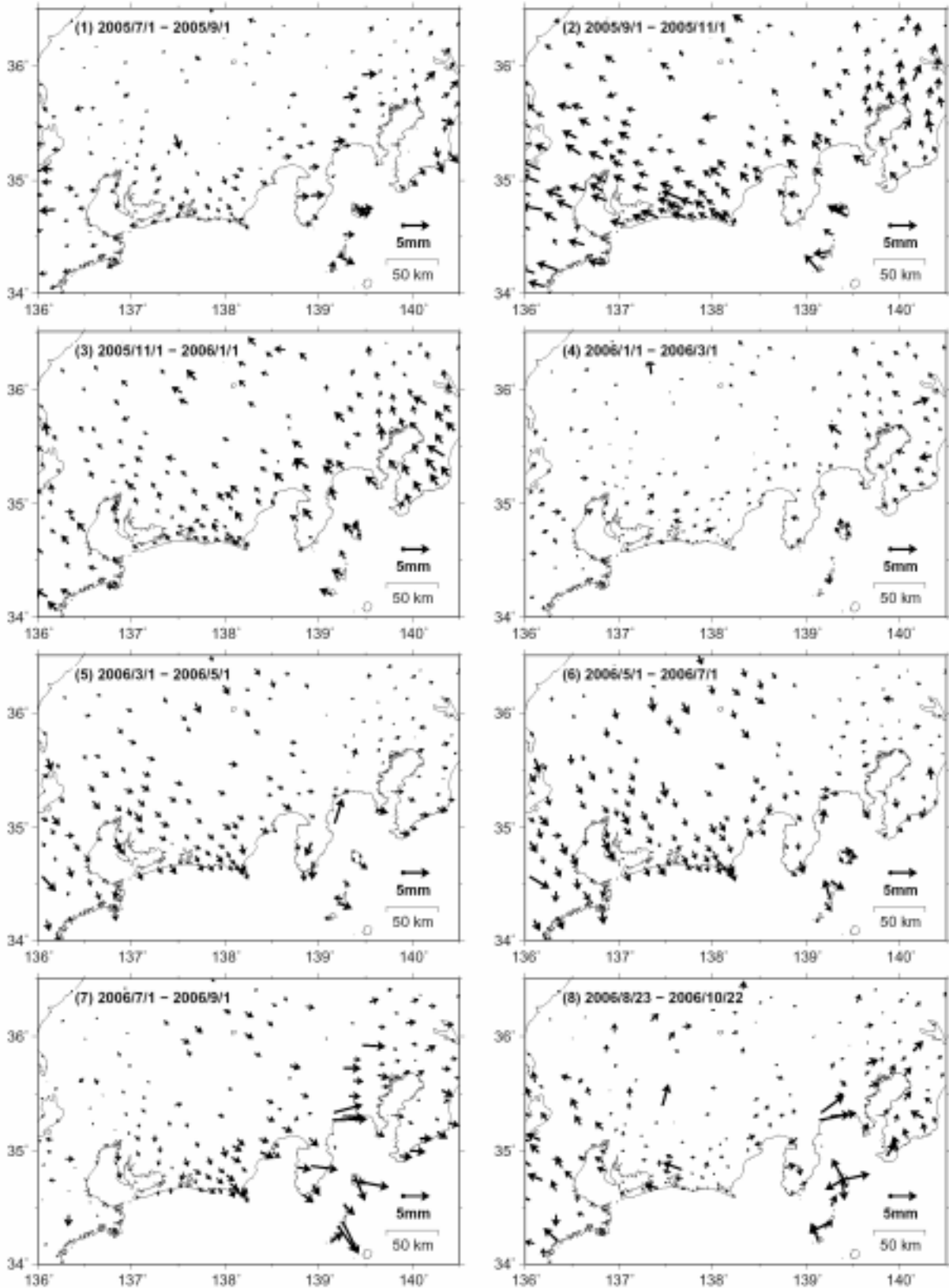
国土地理院資料

図5 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定期的地殻変動

上図は、最近のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである。(最近：2006年9月28日~2006年10月7日、新潟県のGPS観測点大湊を固定。)東海地方に西~北西方向に変動する領域が見られるが、これは下左図の、スロースリップ(ゆっくり滑り)開始以前の定期的な状態と似ている。

### 最近 2 ヶ月ごとの東海非定常地殻変動（水平変動）大潟固定

○平滑化した非定常地殻変動について、2 ヶ月ごとの変動量を表示している。



国土地理院資料

図 6 国土地理院の GPS 観測結果による 2 ヶ月間で見た東海非定常地殻変動（2005 年 7 月～2006 年 10 月 22 日）大潟固定  
2006 年 1 月には、変動が小さくなっている。最近(8)のベクトルも短く、変動が小さいことがわかる。

# 日本の主な火山活動

平成 18 年（2006 年）10 月の主な火山活動は次のとおりである。

## 【噴火した火山】

桜島 [ 比較的静穏な噴火活動（レベル 2） ]

南岳山頂火口から 7 日、8 日、21 日に爆発的噴火が発生した。

諏訪之瀬島 [ 活発な状況（レベル 3） ]

6 日と 16 日～18 日に爆発的噴火があったほか、小規模な噴火も時々発生した。

## 【活発もしくはやや活発な状況の火山】

十勝岳 [ やや活発な状況 ]

62-2 火口では高温の状態が続いていると推定される。

樽前山 [ やや活発な状況 ]

A 火口及び B 噴気孔群は依然として高温の状態が続いている。

三宅島 [ やや活発な状況 ]

噴煙活動は活発で、多量の火山ガス放出が続いている。

福德岡ノ場 [ やや活発な状況 ]

4 日に変色水が確認された。

薩摩硫黄島 [ やや活発な状況（レベル 2） ]

地震活動、噴煙活動ともにやや活発な状態が続いている。

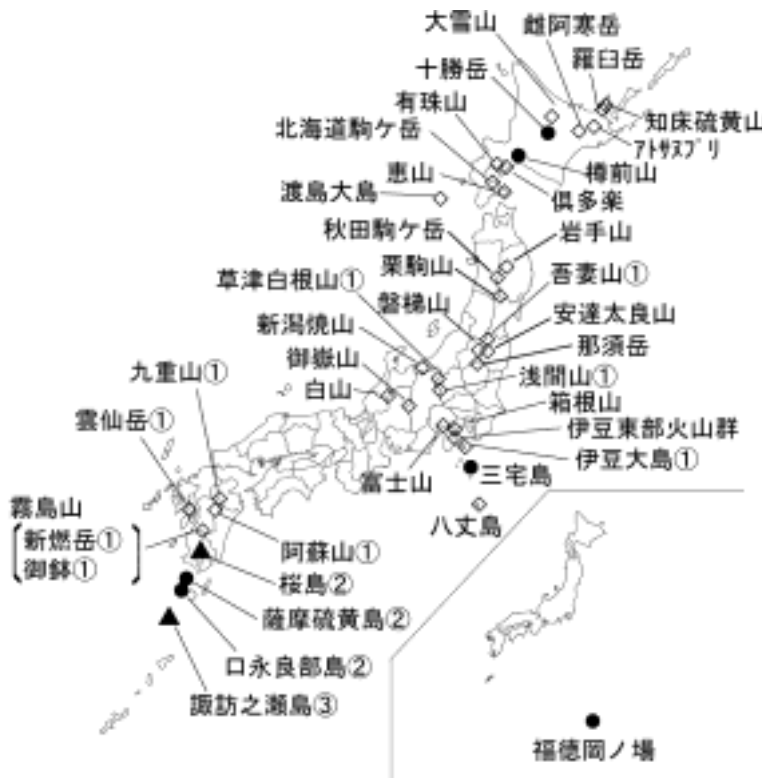
口永良部島 [ やや活発な状況（レベル 2） ]

火山性地震及び火山性微動のやや多い状態が続いている。

## 【静穏な状況であるが、観測データ等に变化のあった火山】

箱根山 [ 静穏な状況 ]

9 月下旬（前期間）から 10 月中旬にかけて地震が一時的にやや多発したが、火山活動は静穏な状況である。



### 注1 レベル

本資料で示すレベルは、現在 12 火山に導入している火山活動度レベルをいう。

### 注2 記号の意味

- ：噴火した火山
- △：活発もしくはやや活発な状況の火山
- ：その他記事を掲載した火山等の丸付き数字：レベル

図1 解説を掲載した火山とその活動状況

## 各火山の活動解説

### 【北海道地方】

#### 知床硫黄山 しれとこいおうざん 【静穏な状況】

5日に北海道開発局の協力で行った上空からの観測では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

#### 羅臼岳 らうすだけ 【静穏な状況】

5日に北海道開発局の協力で行った上空からの観測では、噴気は認められず、火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

#### アトサヌプリ 【静穏な状況】

5日に北海道開発局の協力で行った上空からの観測では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

#### 雌阿寒岳 めあかんだげ 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 大雪山 たいせつざん 【静穏な状況】

2日に北海道開発局の協力で行った上空からの観測では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

#### 十勝岳 としかだげ 【やや活発な状況】

山頂部の62-2火口では、高温の状態が続いていると推定される。同火口からの噴煙高度は火口縁上概ね100mで推移し、今年1月以降低下傾向がみられているものの、噴煙活動は依然としてやや活発な状況にある。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。地殻変動観測では火山活動に起因するとみられる変化はなかった。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

#### 樽前山 たるまえざん 【やや活発な状況】

山頂溶岩ドーム周辺のA火口では、10日に行った現地調査で最高温度約520<sup>1)</sup>を観測するなど（前回9月17日約490<sup>1)</sup>）、依然として高温状態が続いていた。各火口の噴煙活動に特段の変化はみられず、噴煙高度は火口縁上概ね50m以下で推移した。

火山性地震の発生状況には特段の変化はなく、火山性微動は観測されなかった。地殻変動観測では、火山活動に起因するとみられる変化はなかつ

た。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

- 1) 赤外熱映像装置および赤外放射温度計による。赤外熱映像装置と赤外放射温度計は物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

#### 倶多楽 くつたら 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 有珠山 うすざん 【静穏な状況】

11日～15日及び22日に行った現地調査では、各火口等の熱活動に大きな変化はなかった。地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 北海道駒ヶ岳 ほっかいどうこまがたけ 【静穏な状況】

GPSによる地殻変動観測ではわずかな山体膨張が引き続き観測されている。また、23日～28日に行った現地調査では、2002年以降みられている昭和4年火口の緩やかな温度上昇が依然継続していた。なお、同火口の噴気は弱く、地震活動も低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 恵山 えざん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、30日に北海道開発局の協力で行った上空からの観測では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

#### 渡島大島 あしまあしま 【静穏な状況】

30日に北海道開発局の協力で行った上空からの観測では、噴気や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状態であった。

### 【東北地方】

#### 岩手山 いわてざん 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 秋田駒ヶ岳 あきたこまがたけ 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

#### 栗駒山 くりこまやま 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、20日に行った現地調査では、噴気・地熱地帯の状況に変化はなく、火

山活動は静穏に経過した。

### 吾妻山 <sup>あづまやま</sup> [ 静穏な状況 (レベル1) ]

火山性地震の回数は7月頃から増加傾向を示していたが、10月以降やや減少している。噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 安達太良山 <sup>あんだたらやま</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 磐梯山 <sup>ばんだいさん</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

## 【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

### 那須岳 <sup>なすだけ</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 草津白根山 <sup>くさつしらねさん</sup> [ 静穏な状況 (レベル1) ]

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 浅間山 <sup>あさまやま</sup> [ 静穏な状況 (レベル1) ]

噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上100~200mで推移した。19日及び26日に実施した観測では、二酸化硫黄放出量は1日あたり50~120tとやや少ない状態が続いている。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、全体として火山活動は静穏に経過した。

### 新潟焼山 <sup>にいがたやけやま</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉観測局監視カメラでは、山頂部の弱い噴煙が時々認められる程度で特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 御嶽山 <sup>おんたけさん</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 白山 <sup>はくさん</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川

国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴煙は認められず、火山活動は静穏に経過した。

### 富士山 <sup>ふじさん</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

### 箱根山 <sup>はこねやま</sup> [ 静穏な状況 ]

9月27日~28日(期間外)と2日~3日に、駒ヶ岳付近を震源とする地震が一時的にやや多発した。その後、7日~19日には大涌谷付近を震源とする地震が一時的にやや多発した。最大地震は9月28日06時28分(期間外)と2日05時36分に発生したマグニチュード(M)2.2(暫定値)であった。また、11日16時09分に発生した地震(M1.7(暫定値))では、箱根町湯本で震度1を観測した。これらの地震を含め、震源に近い箱根町強羅や元箱根では身体に感じる揺れや地鳴りが何度かあったもようである。

19日に行った現地調査では、大涌谷や早雲山の噴気地帯にみられている噴気などの表面現象や熱活動に特段の変化はなかった。

神奈川県温泉地学研究所の傾斜計<sup>2)</sup>による地殻変動観測では、今回の地震活動に関連した変化は認められなかったが、国土地理院の広域のGPSによる地殻変動観測では、8月頃から箱根山を挟む基線で、深部での変動を示すと考えられるわずかな伸びが観測されている。

最近では、2001年6月から12月にかけて、駒ヶ岳付近を震源とする活発な地震活動(最大地震はM2.8)があり、箱根山を中心とした膨張を示す地殻変動も観測された。その後も一時的な地震の多発を時々繰り返している。

2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により、山体が膨張・収縮した場合に変化が観測されることがある。

### 伊豆東部火山群 <sup>いずとうぶかさんぐん</sup> [ 静穏な状況 ]

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

### 伊豆大島 <sup>いずおおしま</sup> [ 静穏な状況 (レベル1) ]

GPSによる地殻変動観測では、マグマの注入によると考えられる長期的な山体の膨張傾向が継続している。

25日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺では、弱い噴煙が認められる程度で、熱活動に特段の変化はなかった。地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

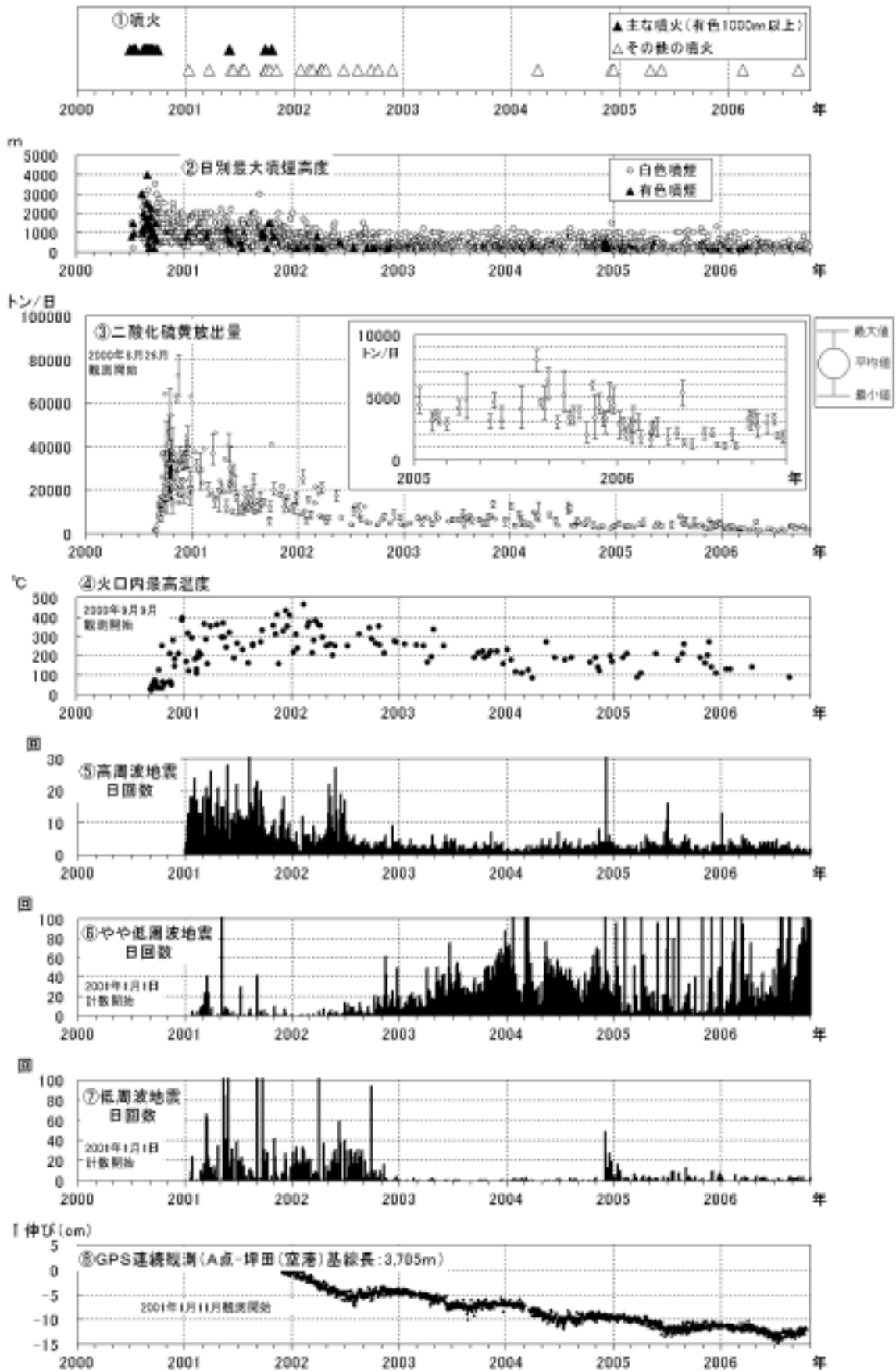


図2 三宅島 最近の火山活動の推移（2000年1月～2006年10月）

及び は、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成している。  
 は、火口底内の噴煙の状況により、実際よりも低い温度が観測される場合がある。  
 、及び は、地震の種類別に計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載している。



みやけしま

**三宅島** 【やや活発な状況】

噴煙活動は引き続き活発で、多量の火山ガス放出が続いている。

噴煙活動は引き続き活発で、噴煙高度は概ね火口縁上200～300mで推移した（最高は500m）。

火山性地震はやや多い状態が続いている。5日00時26分及び01時26分には空振を伴う低周波地震<sup>3)</sup>が発生した。00時26分に発生した振幅のやや大きな低周波地震では三宅村神着で震度1を観測した。これらの地震発生時の噴煙の状況は雲のため確認できなかったが、5日早朝に行った現地調査では降灰は確認されず、地殻変動など他の観測データにも特段の変化はなかった。火山性微動は観測されなかった。

11日、16日及び26日に実施した観測では、二酸化硫黄放出量は1日あたり1,400～3,700tで、依然として多量の火山ガスの放出が続いている。なお、三宅村の火山ガス濃度観測でも、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

地磁気全磁力連続観測では山体内部の熱の状

態には特に大きな変化はなかった。

GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、現在も継続している。

多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられ、引き続き火山ガスに対する警戒が必要である。

- 3) 三宅島では空振を伴う低周波地震が発生した場合には、火山灰噴出を伴うことがある。

はちじょうしま

**八丈島** 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

ふくとくあかのぼ

**福徳岡ノ場** 【やや活発な状況】

4日に第三管区海上保安本部が行った上空からの観測で、火山活動によるとみられる変色水が確認された。

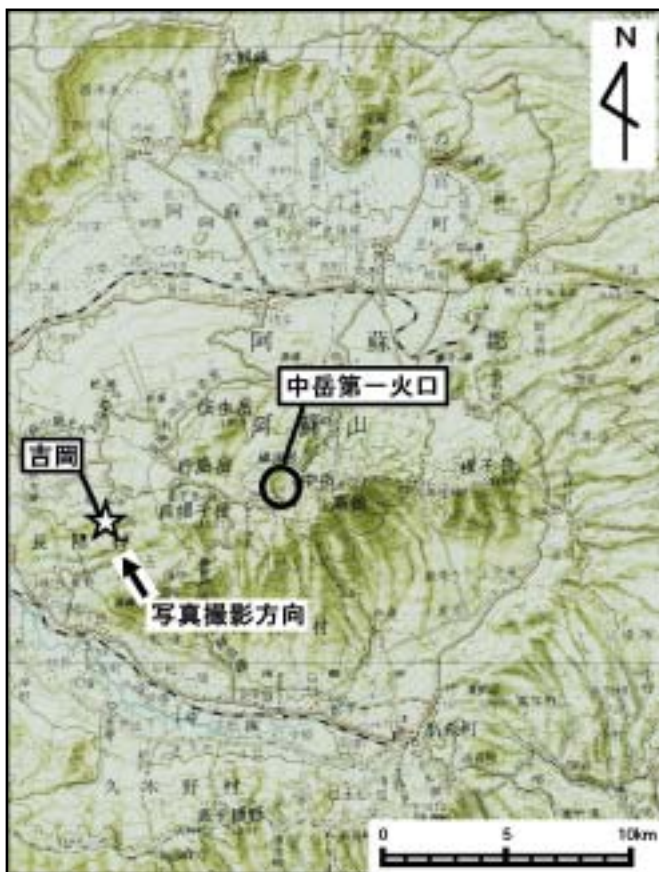


図3 阿蘇山 南阿蘇村吉岡の噴気地帯および噴気孔の状況  
 左上：阿蘇山の周辺図（星印が吉岡の位置）  
 右上：噴気地帯全体の状況（陸上自衛隊の協力で26日に南東側上空から撮影）  
 右下：泥などを噴出した噴気地帯Bの詳細な状況（23日に撮影）

【九州地方、南西諸島】

**九重山** [ 静穏な状況（レベル1） ]

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

**阿蘇山** [ 静穏な状況（レベル1） ]

中岳第一火口の熱活動、噴煙活動及び地震活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気全磁力観測結果にも特段の変化はなかった。

中岳第一火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要である。

なお、中岳第一火口から西南西約 6 km の南阿蘇村吉岡にある噴気地帯で、15 日深夜～16 日朝にかけてと 21 日に噴気が一時的に強まり少量の泥などを噴出した。この地域は従来から噴気活動がみられており、本年 3 月頃から噴気がやや強まる傾向が認められていた。23 日から 24 日にかけて行った現地調査でも、噴気のやや強い状態が続いていた。

一般的に噴気地帯では今回のような現象が時々起こることがある。また、くぼ地などに火山ガスが滞留することもある。今後も引き続き噴気活動に注意が必要である。

**雲仙岳** [ 静穏な状況（レベル1） ]

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

**霧島山（新燃岳）** [ 静穏な状況（レベル1） ]

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

**霧島山（御鉢）** [ 静穏な状況（レベル1） ]

地震活動は低調な状態で、噴煙は認められず、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

**桜島** [ 比較的静穏な噴火活動（レベル2） ]

南岳山頂火口では、7 日、8 日、21 日に爆発的噴火があったほか、小規模な噴火も時々発生した。21 日の爆発的噴火による噴煙の最高高度は火口縁上 2,000m で、噴石が 6 合目まで飛散した。昭和火口では、噴火は発生しなかった。

火山性地震や火山性微動はやや多い状態が続いており、最近規模がやや増大する傾向が認められている。地殻変動には特段の変化はなかった。

桜島では噴火活動が継続しており、南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

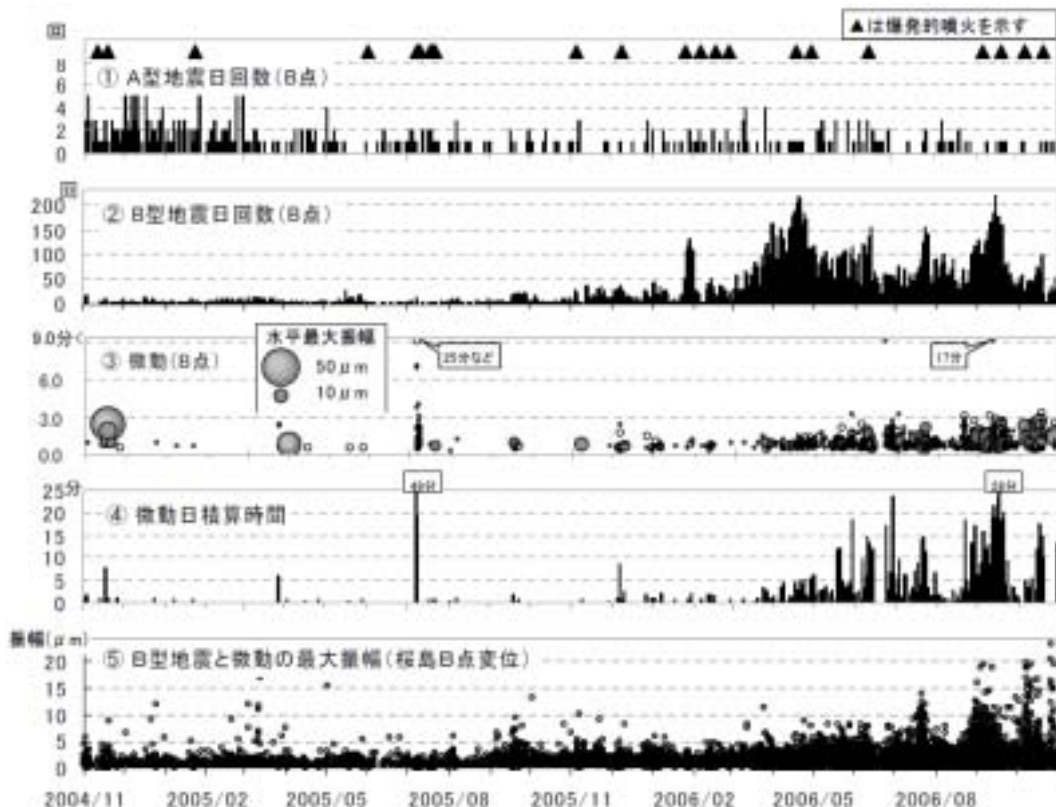


図4 桜島 火山性地震および微動の状況（2004年11月～2006年10月）

**薩摩硫黄島**

**【やや活発な状況（レベル2）】**

硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の最高高度は火口縁上 600mであった。

火山性地震はやや多く、継続時間の短い火山性微動が時々観測された。

火山活動はやや活発な状態であり、火口周辺では注意が必要である。

**口永良部島**

**【やや活発な状況（レベル2）】**

火山性地震および火山性微動はやや多い状態が続いている。監視カメラ（新岳の北西約 4 km に設置）による観測では、30日に弱い噴気が認められた。

京都大学防災研究所附属火山活動研究センター及び産業技術総合研究所のGPSによる地殻変動観測では、9月頃から新岳火口付近で膨張を示す変化が認められている。気象庁が30日～11月1日（期間外）に新岳火口付近で稠密に行ったGPSによる地殻変動観測でも、新岳火口付近の膨張を示

す変化を確認した。

19日に鹿児島県の協力により京都大学と気象庁が、30日に第十管区海上保安本部の協力により気象庁が行った上空からの観測によれば、2005年2月の観測に比べ、新岳火口周辺で熱活動の高まりを示す変化が認められた。

火山活動はやや活発な状態であり、火口周辺では注意が必要である。

**諏訪之瀬島**

**【活発な状況（レベル3）】**

6日と16日～18日に爆発的噴火があったほか、小規模な噴火も時々発生した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、2日、7日、11日に集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が認められた。

噴火活動に伴い火山性連続微動が発生した。火山性地震はやや多い状態で経過した。

火山活動は活発な状態が続いており、御岳火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

**資料1 2006年10月の火山情報発表状況**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報 第 274～304 号 (1日1回発表)	1日～31日 16:30	最近の火山活動評価、前日 16 時～当日 16 時の活動状況及び上空の風の予想。11日、16日、26日に行った火山ガスの観測結果。
阿蘇山	火山観測情報第 6 号	25日 11:50	南阿蘇村吉岡の噴気地帯で噴気が強まっており、15日深夜から 16日早朝にかけてと 21日朝、噴気が強まり少量の泥などを噴出する現象があった。
口永良部島	火山観測情報第 2 号	27日 15:00	火山性地震及び火山性微動がやや多くなっている。また、9月頃から新岳山頂部で膨張を示す地殻変動が認められているほか、2005年2月に比べ熱活動の高まりが認められた。

資料 2 過去 1 年間の火山活動の状況

火 山 名	平成17年		平成18年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
雌阿寒岳	活動												
十勝岳	活動												
樽前山	活動												
吾妻山	活動 レベル												
草津白根山	活動 レベル												
浅間山	活動 レベル												
伊豆大島	活動 レベル												
三宅島	活動												
福德岡ノ場	活動												
九重山	活動 レベル												
阿蘇山	活動 レベル												
雲仙岳	活動 レベル												
霧島山（新燃岳）	活動 レベル												
霧島山（御鉢）	活動 レベル												
桜島	活動 レベル												
薩摩硫黄島	活動 レベル												
口永良部島	活動 レベル												
諏訪之瀬島	活動 レベル												

活動状況(活動)

- : 噴火した火山
- : 活動が活発もしくはやや活発な状態であった火山

火山活動度レベル

- : 小規模な噴火が発生かその可能性  
(吾妻山、草津白根山、浅間山、雲仙岳では「小～中規模噴火が発生かその可能性」、桜島では「活発な火山活動」)
- : やや活発な火山活動  
(桜島では、「比較的静穏な噴火活動」)
- : 静穏な火山活動

## 世界の主な地震

10月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

2006年10月1日00時～10月31日24時(日本時間)

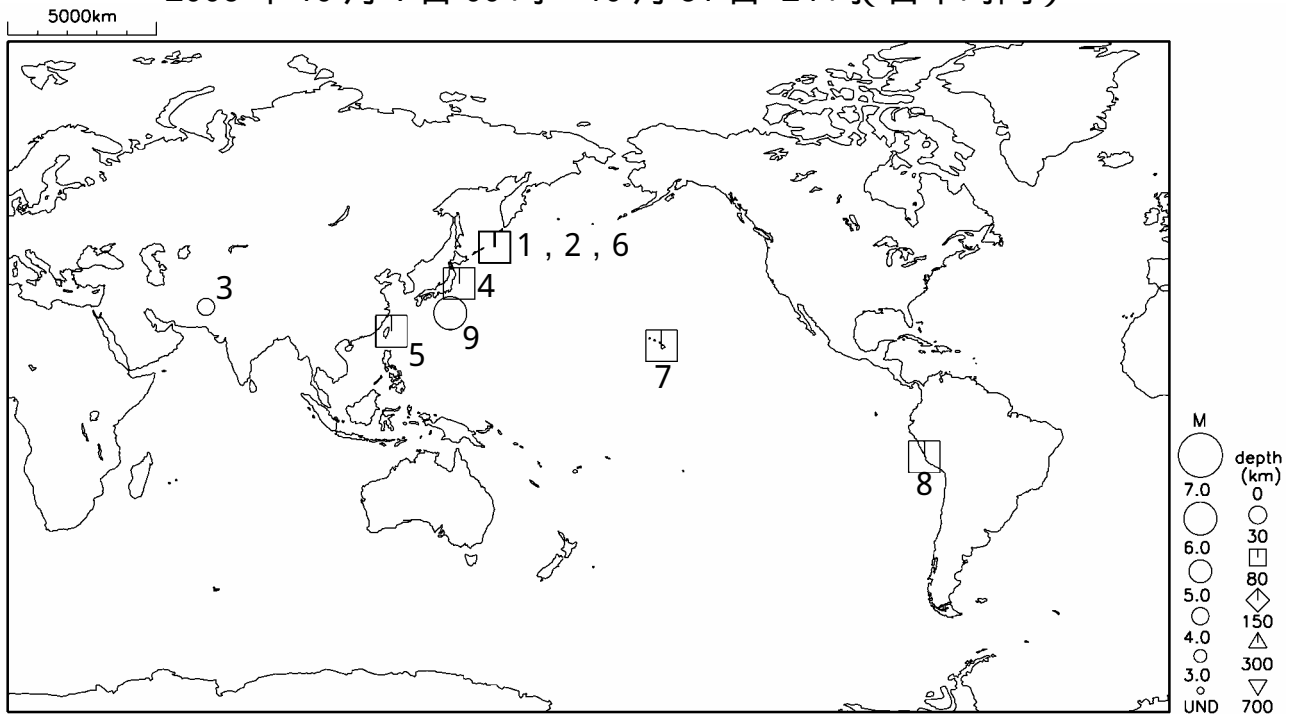


図1 2006年10月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布  
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

\* : 数字は、表1の番号に対応する。

\*\* : マグニチュードはmb(実体波マグニチュード)、Ms(表面波マグニチュード)のいずれか大きい値を用いて表示している。

表1 2006年10月に世界で発生したマグニチュード6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	月日時分	緯度	経度	深さ(km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考(被害状況など)
1	10月01日02時50分	N46° 18.5'	E153° 52.8'	30	6.1	(6.8)	6.6	千島列島東方	NWPTA発表
2	10月01日18時05分	N46° 26.2'	E153° 36.8'	30	6.0	(6.6)	6.5	千島列島東方	NWPTA発表
3	10月09日14時12分	N30° 55.0'E	66° 36.2'	10*	4.3			パキスタン	負傷者3名以上
4	10月11日08時58分	N37° 11.6'	E143° 01.8'	50	5.7	(6.0)	6.0	福島県沖	
5	10月12日23時46分	N24° 05.3'	E122° 34.6'	46	5.6	(6.2)	5.7	与那国島近海	
6	10月13日22時47分	N46° 18.9'	E153° 38.3'	30	6.0	(6.3)	6.5	千島列島東方	
7	10月16日02時07分	N19° 52.6'	W155° 56.1'	39	6.2	6.6	6.7	ハワイ	負傷者多数、建物被害1,173棟以上
8	10月20日19時48分	S13° 26.4'	W 76° 34.6'	32	6.0		6.6	ペルー沿岸付近	
9	10月24日06時17分	N29° 10.4'	E140° 21.0'	3	6.0	(6.8)	6.4	鳥島近海	NWPTA発表

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(2006年11月3日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード(Msの欄に括弧を付して記載)は気象庁、被害状況は総務省消防庁による。
- ・時分は震源時で日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・MwはUSGSのモーメントマグニチュードである。
- ・震源の深さに「\*」が付いているのは、USGSが推定した深さである。
- ・NWPTAは、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報である(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)。

## 世界の主な火山活動

平成 18 年（2006 年）10 月に噴火の報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。このうち、顕著な活動が見られた主な火山は以下のとおりである。

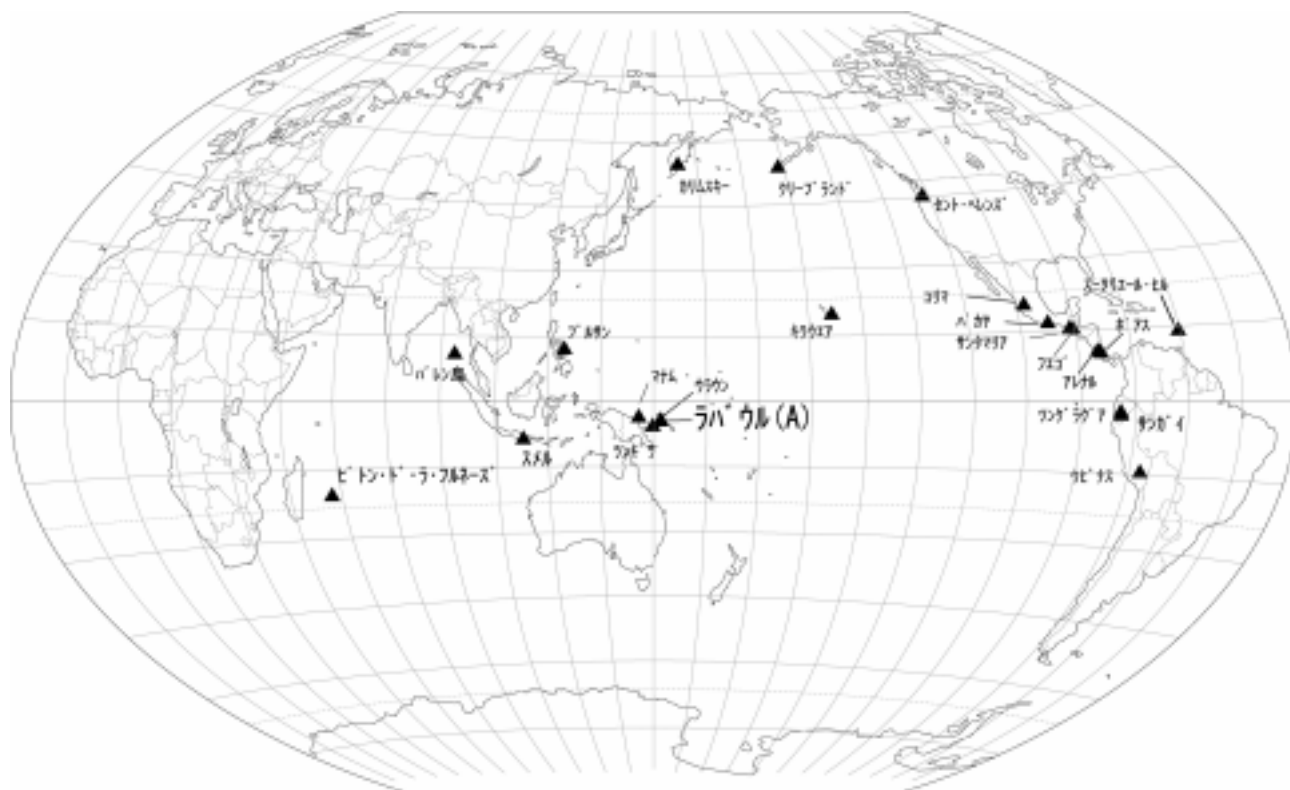
### ラバウル（ニューブリテン島、パプアニューギニア）（図中 A）

7 日朝、ラバウルカルデラの東縁にあるダブルブル火山で噴火が発生した。同日正午頃に規模の大きな噴火が発生し、噴煙は海拔 18km に達した。また、溶岩流が火口から斜面を 2 km 流下して海に達し、二次的な爆発も発生した。

ラバウル市近郊では空振が頻発し、南部ではかなりの降灰があったことから、自主避難をする住民もいた。

8 日以降は、小規模な噴火が発生する程度で、噴火活動は次第に低調な状態となった。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の G V P（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）





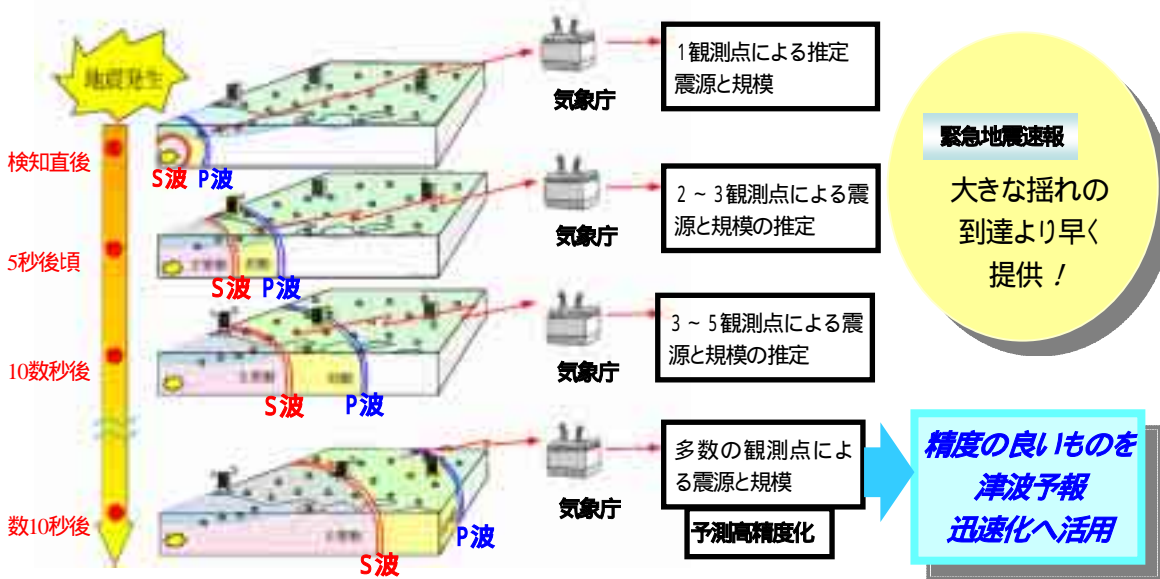
## 特集 1 . 緊急地震速報の技術を活用した津波警報・注意報の迅速化

### 1 . はじめに

気象庁は平成 18 年 10 月 2 日から緊急地震速報の技術で推定した震源と地震の規模（マグニチュード：M）を用いた津波警報・注意報（以下津波予報）の発表を開始した。この結果、条件を満足する一部の地震について、最速 2 分以内で津波予報を発表することが可能となった。

緊急地震速報は震源に近い観測点で得られた地震波を使って直ちに震源や地震の規模及び各地の震度などを推定して、迅速に提供する情報である。緊急地震速報の詳細については地震・火山月報（防災編）2006 年 8 月号（p40）を参照願いたい。

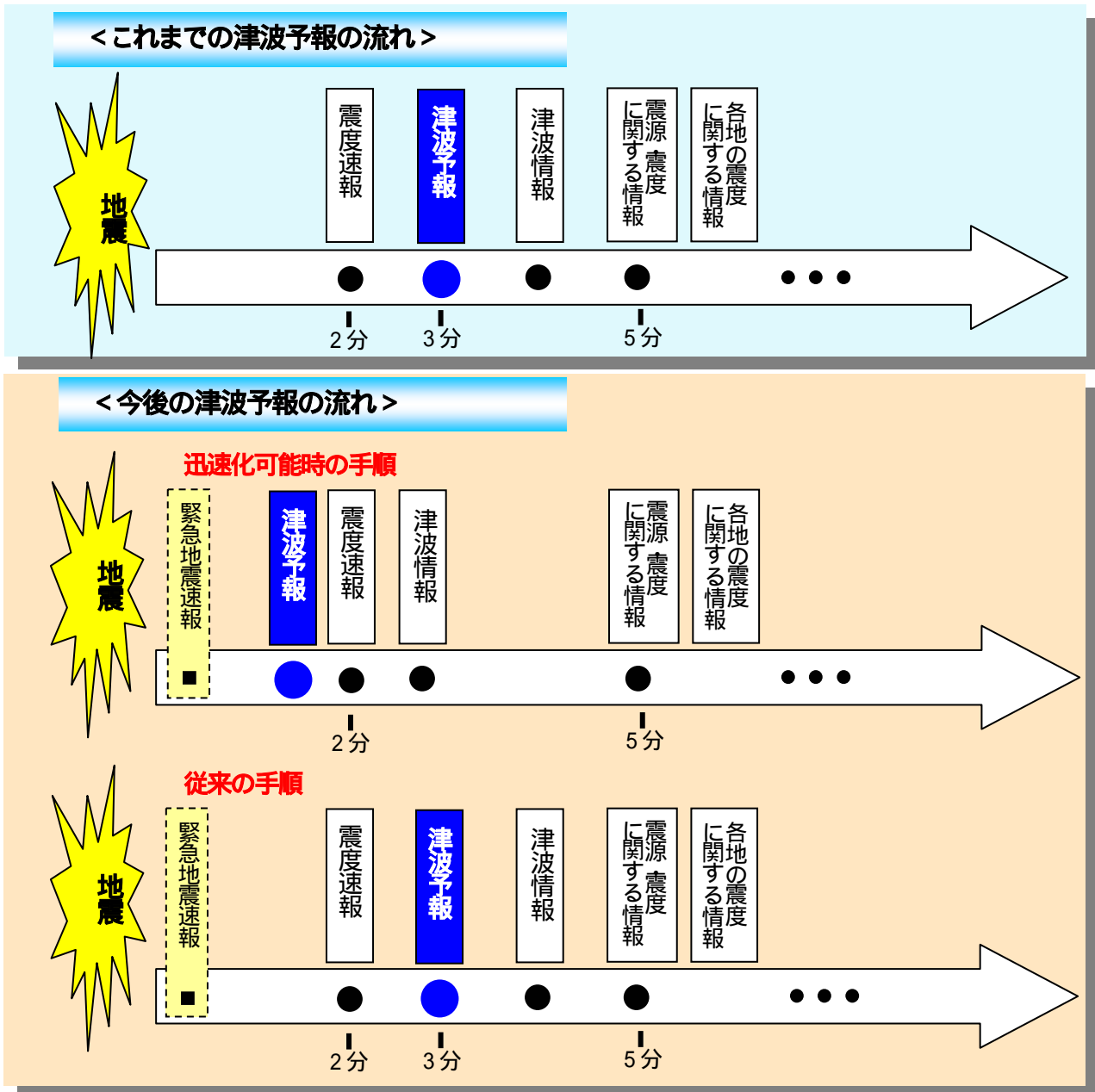
### 緊急地震速報の技術を活用した津波予報の迅速化



### 2 . 緊急地震速報の技術を活用した津波予報の迅速化のしくみ

気象庁では、津波予報を一秒でも早く発表して、一人でも多くの方が津波から避難し、被害を軽減することを目指して、緊急地震速報の技術を活用した津波予報の迅速化について検討を進めてきた。津波予報を行うためには、震源とMを精度良く求めることが不可欠である。従来の津波予報では、これらを決定するために多数の地震観測点の地震波形を用い、確認・修正を人間が行う手法を用いているため、理想的な場合でも地震が発生してから予報発表まで3分程度を目標としていた。緊急地震速報の技術では、震源近くの少数の観測点のデータを用いて震源とMを推定することが可能となることから、この技術を活用することにより、日本近海で発生する地震のうち、以下の条件を満たすものについては、最速 2 分以内に津波予報を発表することが可能となった。

条件：M6.5 以上であって、日本近海で発生した比較的浅い地震（深さ 100km 以浅）のうち、震源が精度良く決定された地震。なお、緊急地震速報の試験運用期間中に発生したある程度大きな地震（M5.0 以上）について、津波予報が可能な精度に達した地震の割合は、51 個中 14 個（約 27%）であった。



### 3. 津波避難に関する留意事項

震源が海岸に近い場合など、場所によっては地震発生とほぼ同時に津波に襲われることがあるので、海岸で強い揺れを感じたり、強くなくても周期の長い（ゆっくりとした）揺れが長く続いた場合はすぐに海岸から高台へ避難することが必要である。すべての地震が津波予報の迅速化の対象となるわけではないため、津波からの避難にあたっては以下のようなことに留意して頂きたい。

- 津波予報では震源やMの精度を一定以上確保することが必要なことから、これを満足しない場合は従来通りの手法で震源やMを求めることとなる。このため、迅速化の対象となる津波予報は限られたものとなる。
- 震度速報の発表前に津波予報が発表されるケースが生じるが、海岸付近で大きな揺れや、ゆっくりとした揺れを感じた場合には、震度速報で地震の発生を確認することなく、直ちに避難する必要がある。



## 特集 2 . 震度情報に用いる地域の一部見直しについて

気象庁では、2006 年 10 月 2 日から、震度情報に用いる地域の名称及びその区域の一部見直しを行なった。

今回の見直しの経緯と変更内容について解説する。

### 1 . 経緯等の説明

気象庁では、地震発生時に発表する「震度速報」や「震源・震度に関する情報」等の地震情報において、全国を約 190 に区分した地域における震度を発表している。

このたび、市町村合併や天気予報の一次細分区域等の状況を踏まえ、震度情報に用いる地域の一部見直しを行なった。

この変更は混乱が生じないように、震央地名の見直し（p43 参照）と同時に実施した。

なお、「震央地名」とは震源の直上（震央）の地名のことであり、「震度情報に用いる地域」とは地震情報において地域震度を発表するために区分した地域のことで、地域内の震度計が観測した震度のうち、最大の震度を地域震度としている。

したがって、震央地名は海域にも設定しているが、震度情報に用いる地域は陸域（島嶼部を含む）の設定のみである。

この 2 つは異なるものであるが、島嶼部を除いた陸域では防災対応上利用しやすいように、震央地名と震度情報に用いる地域の名称は、原則として同じにしている。

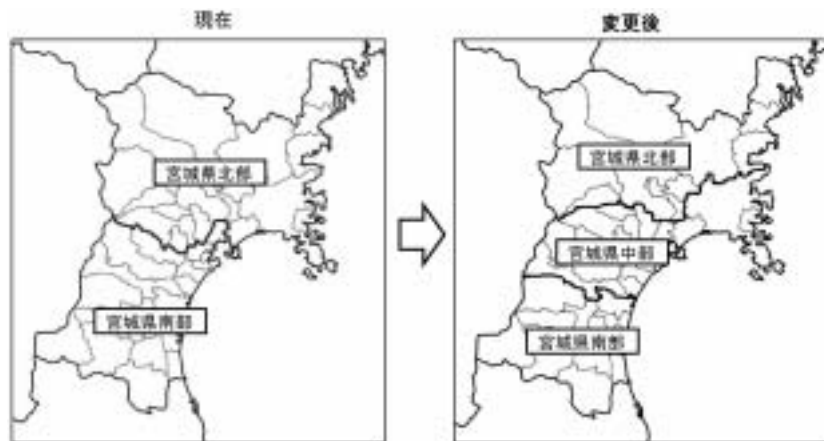
ただし震度情報に用いる地域名称では、できる限り情報を速やかに伝えるため、末尾に「地方」が付いている場合には、これを省略している（例：福岡県福岡）。

### 2 . 主な変更内容

#### ア. 宮城県〔名称・区域の変更〕

これまでの「宮城県北部」、「宮城県南部」に「宮城県中部」を加え、3 分割とする。

宮城県北部	気仙沼市、栗原市、登米市、大崎市、加美郡、遠田郡、本吉郡
宮城県中部	仙台市、石巻市、塩竈市、多賀城市、東松島市、宮城郡、黒川郡、牡鹿郡
宮城県南部	白石市、名取市、角田市、岩沼市、刈田郡、柴田郡、伊具郡、亶理郡



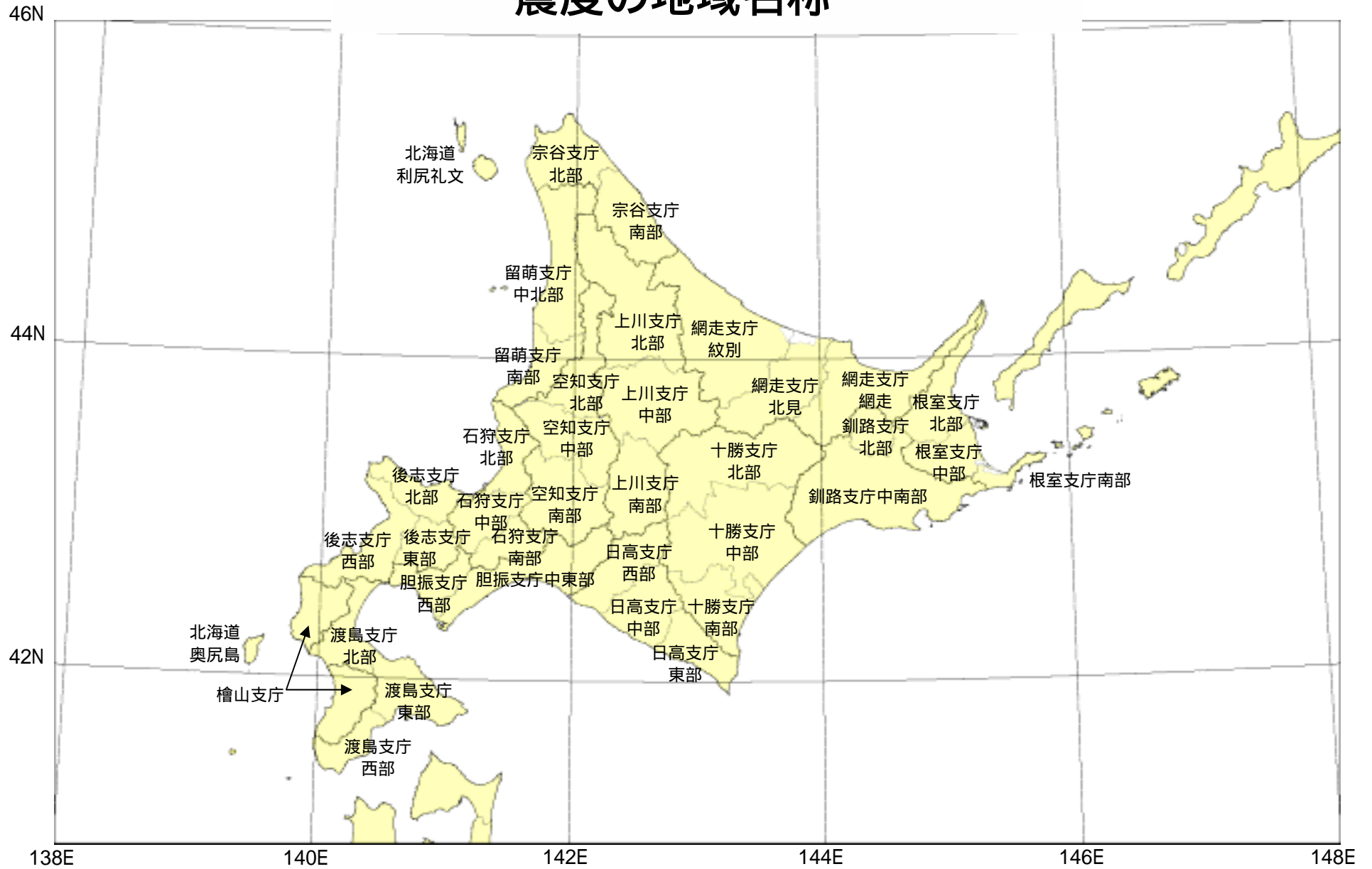
#### イ. 山梨県・熊本県の震央地名〔名称の変更〕

気象予報の地域細分と共通する区域については、気象予報で用いる名称に合わせることにする。

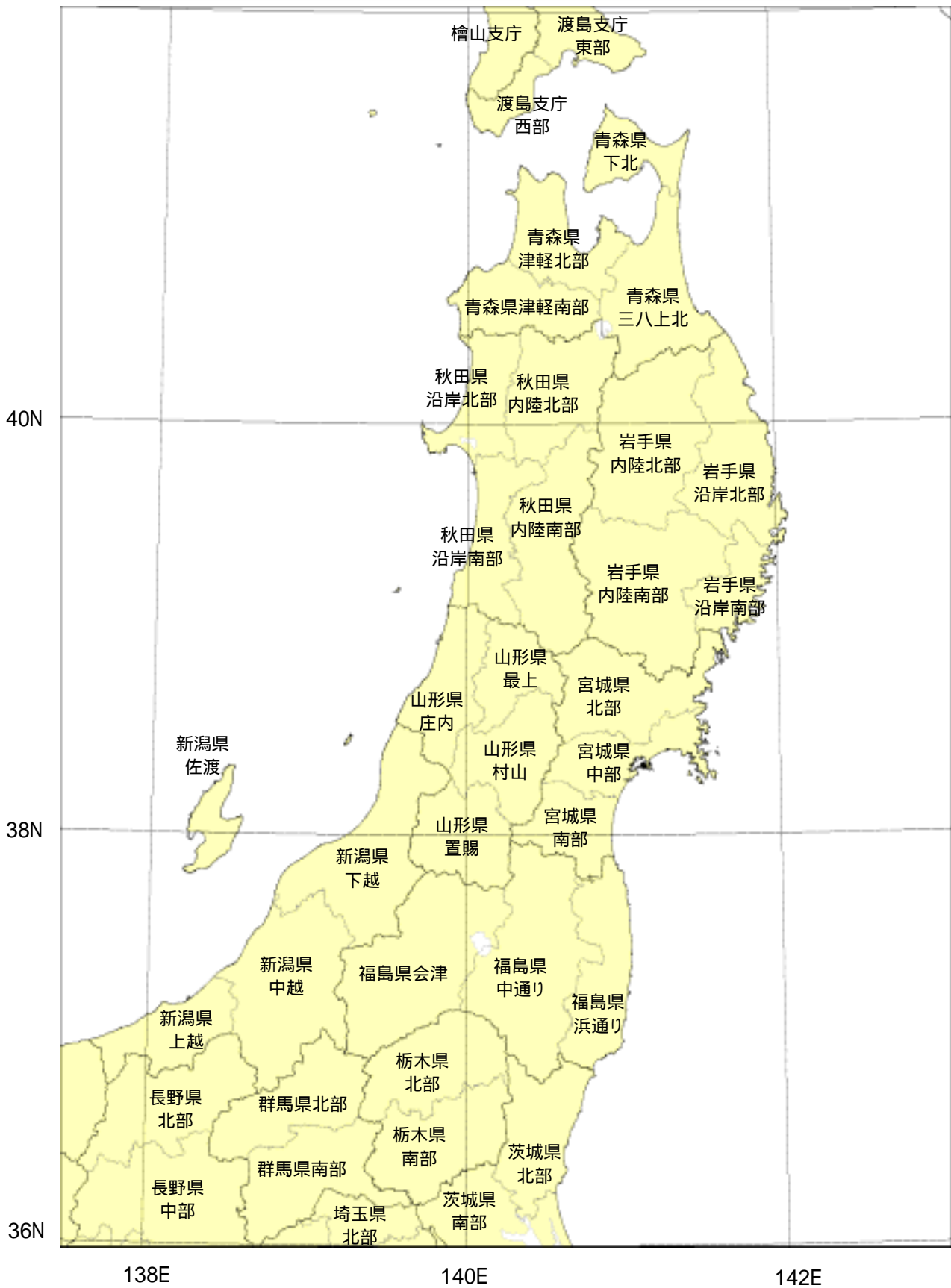
旧地域名称	新地域名称
山梨県東部	山梨県東部・富士五湖
山梨県中西部	山梨県中・西部
熊本県天草芦北	熊本県天草・芦北

変更後の地域については p36 ~ 42 参照。

# 震度の地域名称



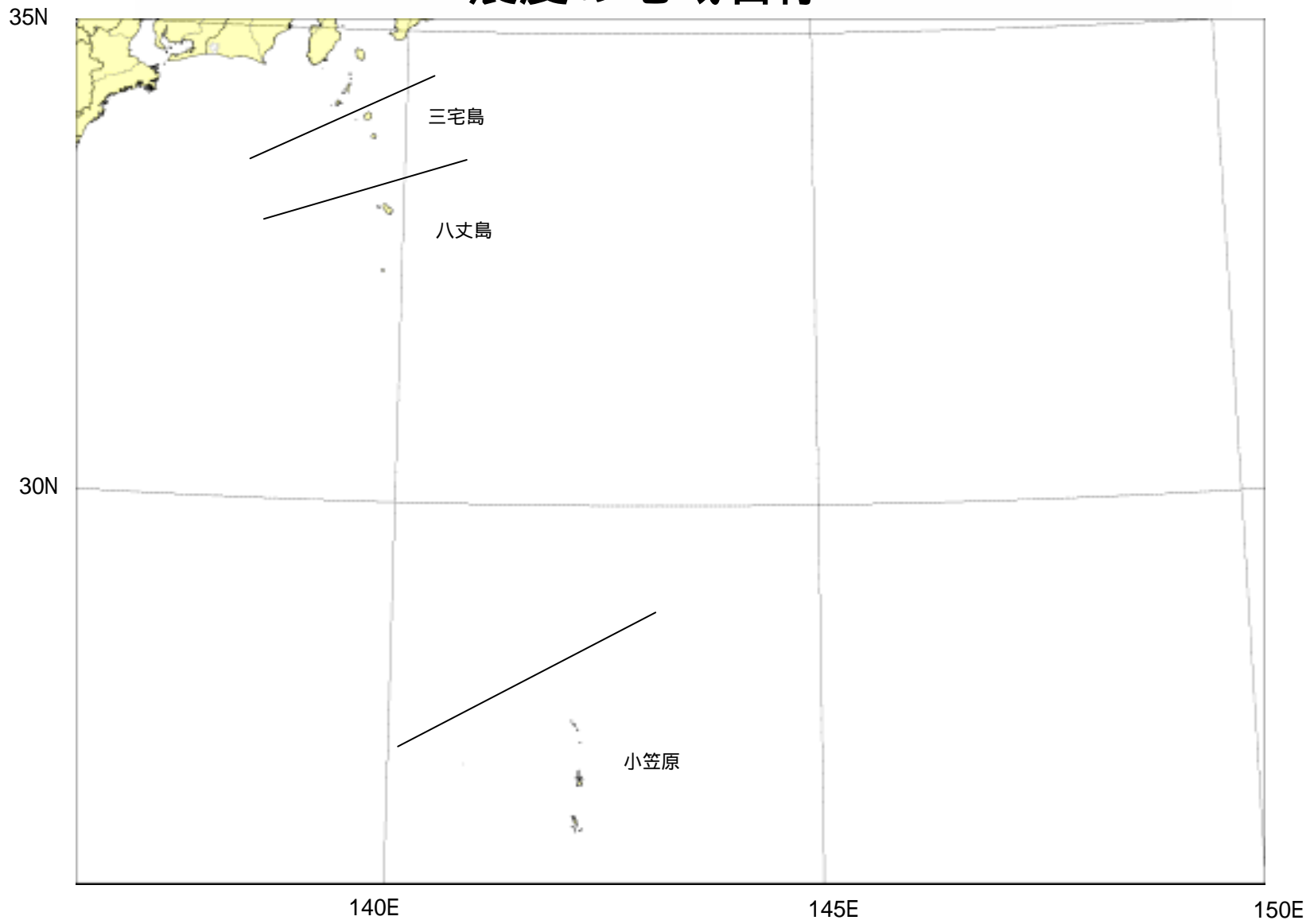
# 震度の地域名称



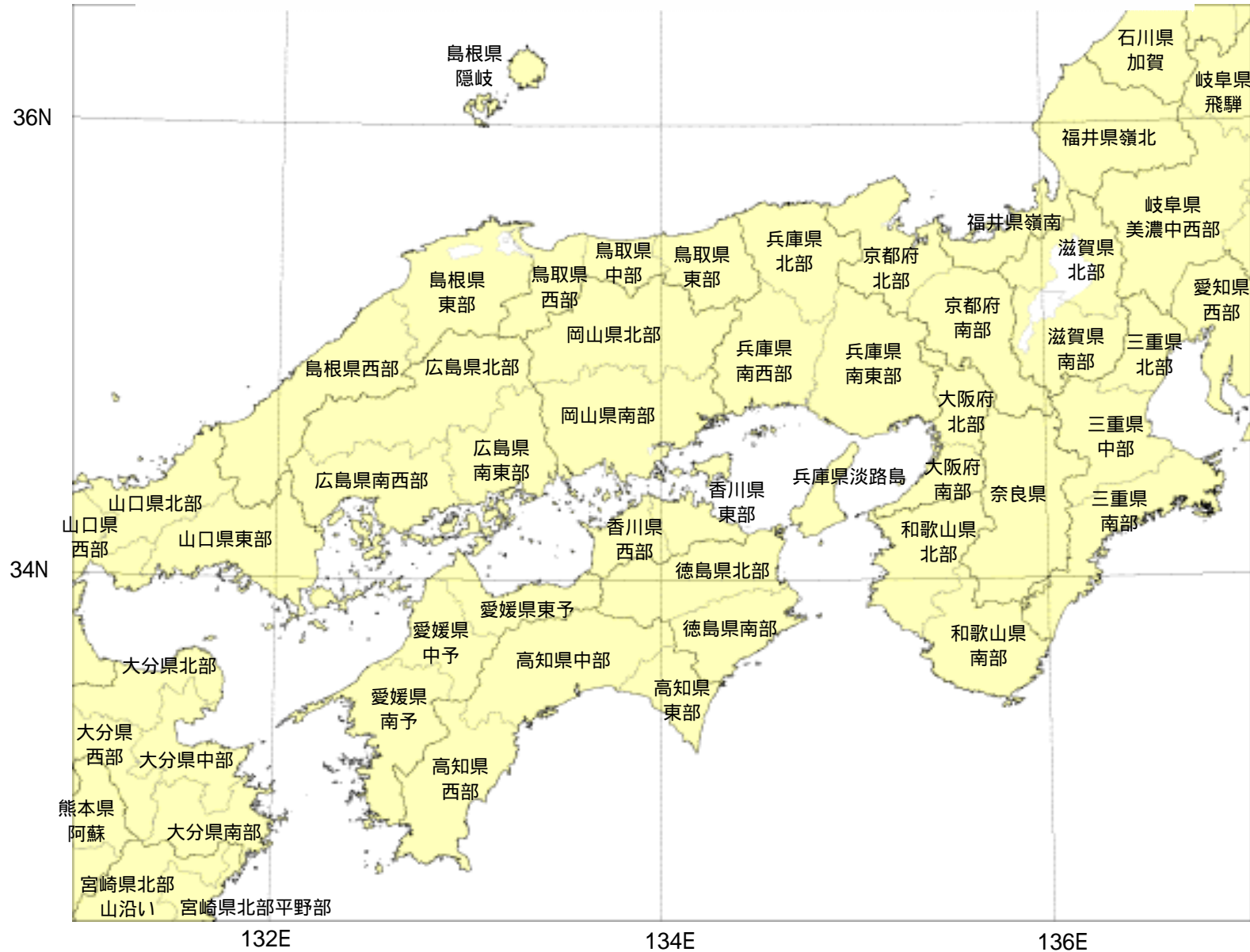
# 震度の地域名称



# 震度の地域名称



# 震度の地域名称

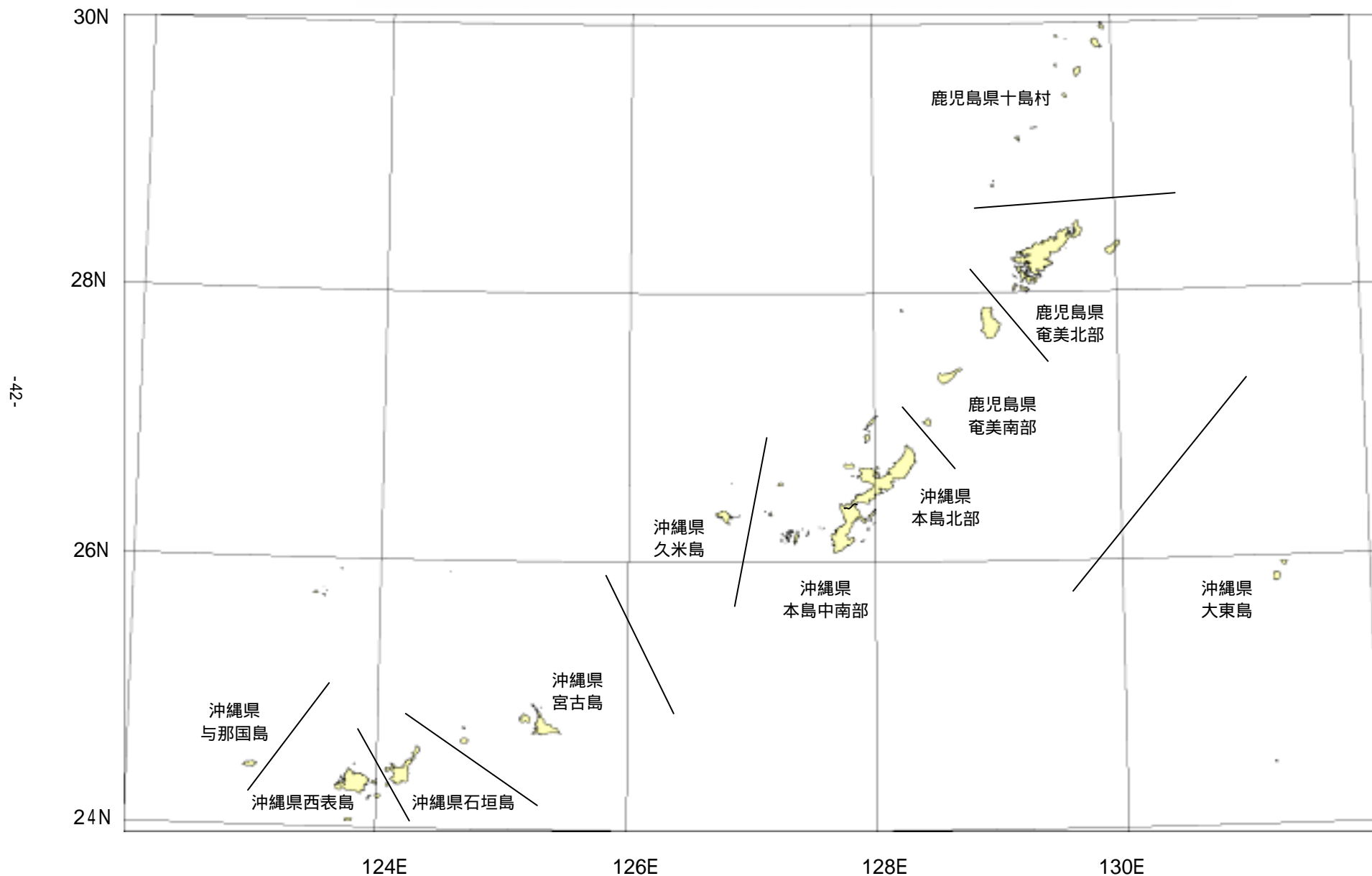


# 震度の地域名称





# 震度の地域名称



## 特集 3 . 震央地名の一部見直しについて

気象庁では、2006 年 10 月 2 日から震央地名及びその区域の一部見直しを行った。  
今回の見直しの経緯と変更内容について解説する。

### 1 . 経緯

気象庁では、震源の場所を示す名称（以下、震央地名）を地震情報等で発表している。内陸については、震度の地域名称と震央地名を共通の区域とし、海域の震央地名については、緯度・経度線に沿った区分としてきた。これらを定めるにあたっては、利用者にとって分かりやすいものとなるよう、適宜見直しを行っている。

前回の震央地名変更から 3 年を経たこと、近年の地震災害の経験を踏まえ、

内陸については、

- ・地域の防災活動に適したものとすること
- ・できる限り気象予報で用いる地域細分と合わせること

海域については、

- ・概ね沿岸線に沿った領域とし分かりやすいものとすること
- ・地震発生の地理的分布を考慮すること

を基本として見直しを行い、地元自治体等と調整を行った結果、震央地名の一部変更を行った。

### 2 . 主な変更内容

#### ア. 宮城県の震央地名〔名称・区域の変更〕

これまでの「宮城県北部」、「宮城県南部」に「宮城県中部」を加え、3 分割とする。  
( p 35 参照 )

#### イ. 山梨県・熊本県の震央地名〔名称の変更〕

気象予報の地域細分と共通する区域については、気象予報で用いる名称に合わせることにする。

旧震央地名	新震央地名
山梨県東部	山梨県東部・富士五湖
山梨県中西部	山梨県中・西部
熊本県天草芦北	熊本県天草・芦北

#### ウ. 震央地名からの「地方」の削除〔名称の変更〕

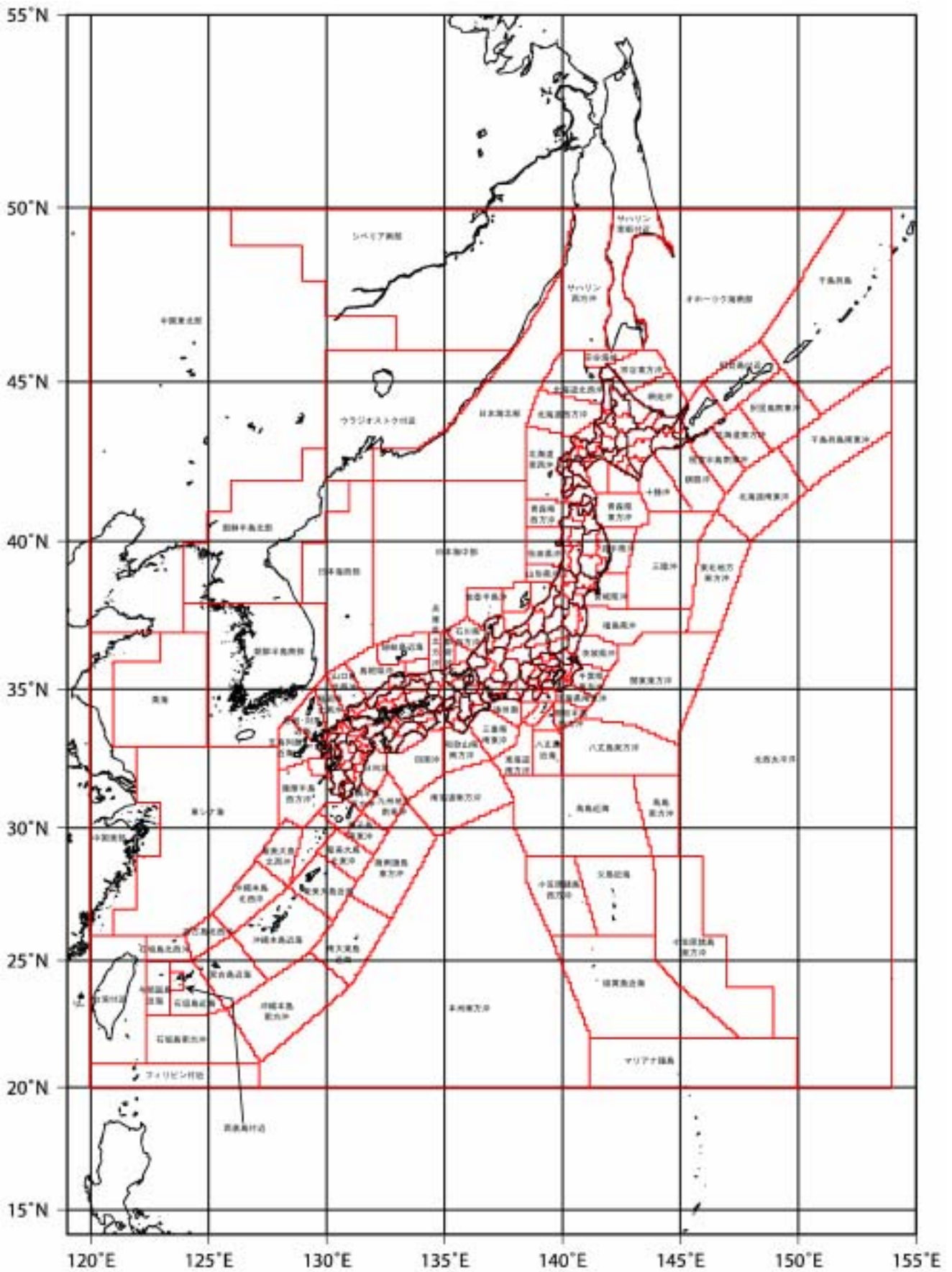
語尾に「地方」が付く震央地名のうち、名称と同名の市町村が存在しないなど、語尾の「地方」を削除しても地域としての名称であることが分かるものについては、「地方」を削除する。

旧震央地名	新震央地名	旧震央地名	新震央地名
檜山支庁地方	檜山支庁	愛媛県中予地方	愛媛県中予
福島県中通り地方	福島県中通り	愛媛県南予地方	愛媛県南予
福島県浜通り地方	福島県浜通り	長崎県島原半島地方	長崎県島原半島
福島県会津地方	福島県会津	宮城県北部平野部地方	宮城県北部平野部
福井県嶺北地方	福井県嶺北	宮城県北部山沿い地方	宮城県北部山沿い
福井県嶺南地方	福井県嶺南	宮城県南部平野部地方	宮城県南部平野部
奈良県地方	奈良県	宮城県南部山沿い地方	宮城県南部山沿い
愛媛県東予地方	愛媛県東予		

#### エ. 日本周辺の海域の震央地名〔名称・区域の変更〕

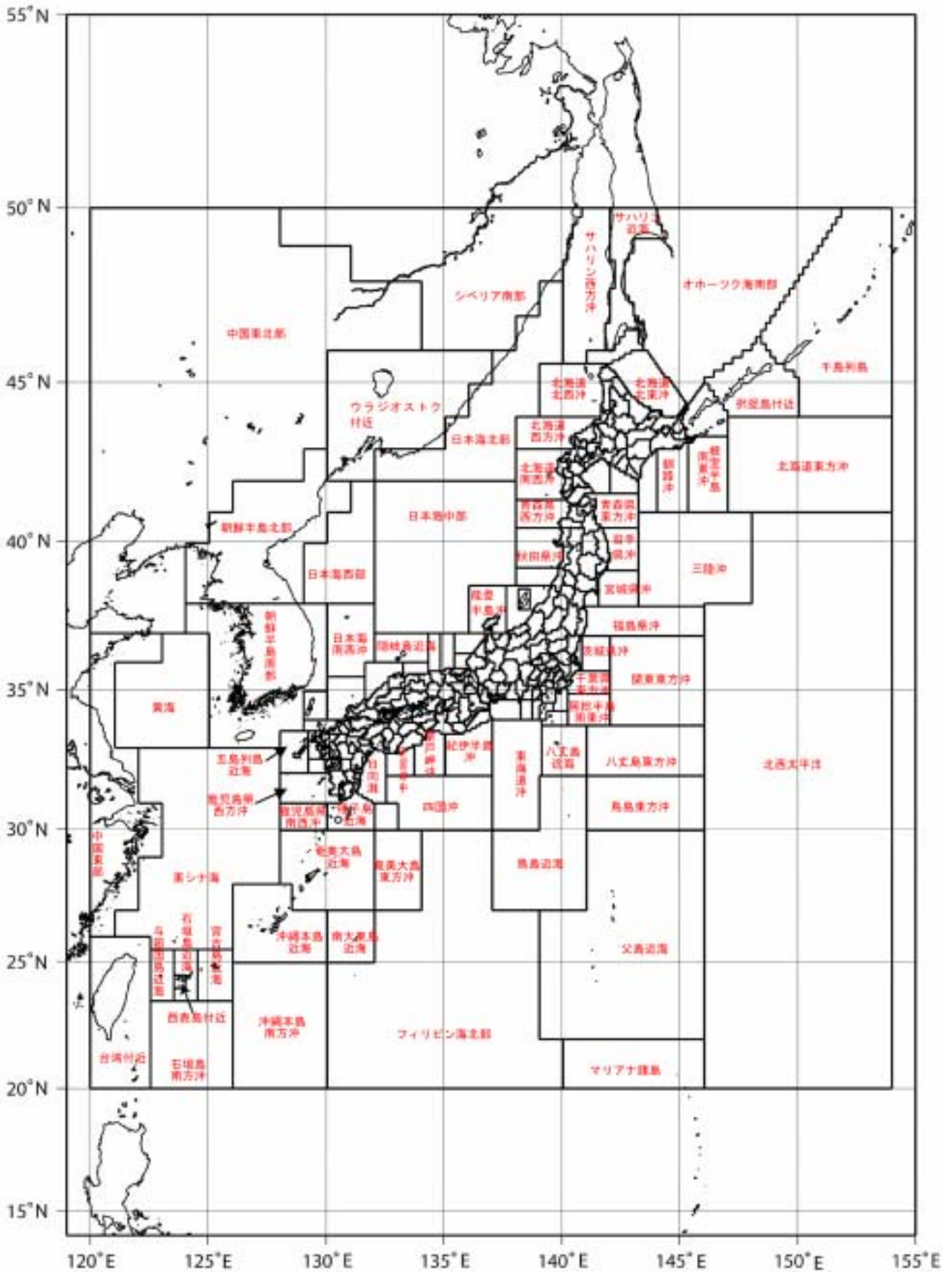
これまで主に緯線・経線を境界としていた海域の震央地名について、地震活動の特徴を考慮した上で、できる限り海溝の向きや府県ごとの海岸線に沿って境界を設定するとともに、名称を見直す。

変更後の震央地名、領域図（日本全体図）については p 44 参照。



震央地名領域図（変更後）

地域ごとの詳細図については、気象庁ホームページ  
(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/region/index.html>)を参照。



震央地名領域図（変更前）

# 付表

## 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、\*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 09 25	北海道南西沖 北海道 1 奥尻町青苗 *≒1.3	41° 57.6' N	139° 25.9' E	8km	M: 3.5
2	1 15 19	新潟県中越地方 新潟県 1 小千谷市土川 *≒1.0	37° 12.8' N	138° 49.4' E	8km	M: 2.4
3	1 19 07	青森県東方沖 青森県 2 東通村小田野沢 *≒1.8 1 東通村砂子又 *≒1.4 むつ市川内町 *≒1.0 平内町東田沢 *≒1.0 六ヶ所村尾駈=1.0 佐井村長後 *≒0.9 野辺地町田狭沢 *≒0.8 三沢市桜町 *≒0.8 横浜町林ノ脇 *≒0.6 野辺地町野辺地 *≒0.5 五戸町倉石中市 *≒0.5 平内町小湊=0.5 北海道 1 函館市泊町 *≒1.1 函館市日ノ浜町 *≒0.6 岩手県 1 岩手洋野町大野 *≒1.1	40° 59.4' N	141° 30.1' E	79km	M: 3.7
4	1 20 52	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原 *≒1.8	37° 03.8' N	139° 24.5' E	7km	M: 2.3
5	1 23 22	鳥根県東部 鳥取県 1 鳥取南部町天萬 *≒0.9 米子市東町 *≒0.6 鳥根県 1 安来市島田町 *≒1.0	35° 22.9' N	133° 19.0' E	11km	M: 2.5
6	2 02 07	<b>三陸沖</b> 岩手県 3 北上市二子町 *≒2.5 2 一関市千厩町 *≒2.4 奥州市前沢区 *≒2.3 盛岡市山王町=2.3 矢巾町南矢幅 *≒2.2 一関市室根町 *≒2.2 盛岡市玉山区藪川 *≒2.1 盛岡市玉山区洪民 *≒2.1 山田町大沢 *≒2.1 遠野市松崎町 *≒2.1 大船渡市大船渡町=2.0 陸前高田市高田町 *≒2.0 大槌町新町 *≒2.0 普代村銅屋 *≒2.0 一関市山目 *≒1.9 八幡平市野駄 *≒1.9 野田村野田 *≒1.9 平泉町平泉 *≒1.9 藤沢町藤沢 *≒1.9 滝沢村鶴飼 *≒1.9 奥州市胆沢区 *≒1.9 一関市花泉町 *≒1.8 岩手町五日市 *≒1.8 奥州市衣川区 *≒1.8 花巻市材木町 *≒1.8 金ヶ崎町西根 *≒1.8 大船渡市猪川町=1.8 二戸市福岡=1.8 釜石市中妻町 *≒1.7 岩手洋野町大野 *≒1.7 花巻市東和町 *≒1.7 八幡平市田頭 *≒1.6 花巻市大迫町=1.6 花巻市石鳥谷町 *≒1.6 遠野市宮守町 *≒1.6 奥州市水沢区佐倉河 *≒1.5 一関市舞川=1.5 住田町世田米 *≒1.5 1 宮古市五月町 *≒1.4 大船渡市盛町 *≒1.4 釜石市只越町=1.4 北上市柳原町=1.4 宮古市田老 *≒1.3 川井村川井 *≒1.3 川井村田代 *≒1.3 宮古市鎌ヶ崎=1.3 二戸市浄法寺町 *≒1.3 八幡平市大更=1.3 軽米町軽米 *≒1.3 紫波町日詰 *≒1.3 一関市大東町=1.3 奥州市水沢区大鐘町=1.3 一戸町高善寺 *≒1.2 花巻市大迫総合支所 *≒1.1 山田町八幡町=1.1 西和賀町沢内川舟 *≒1.1 盛岡市馬場町 *≒1.1 一関市川崎町 *≒1.0 西和賀町川尻 *≒1.0 一関市東山町 *≒0.9 葛巻町葛巻元木=0.9 宮古市茂市 *≒0.9 八幡平市吹田 *≒0.9 西和賀町沢内太田 *≒0.8 久慈市川崎町=0.8 久慈市長内町 *≒0.8 岩手洋野町種市=0.7 岩泉町岩泉 *≒0.7 二戸市石切所 *≒0.7 雫石町千刈田=0.7 宮城県 3 気仙沼市笹が陣 *≒2.5 2 南三陸町志津川=2.4 気仙沼市赤岩=2.2 石巻市桃生町 *≒2.2 気仙沼市唐桑町 *≒2.1 仙台宮城野区苦竹 *≒2.1 栗原市志波姫 *≒2.0 岩沼市桜 *≒2.0 栗原市栗駒=1.9 栗原市金成 *≒1.9 南三陸町歌津 *≒1.9 大崎市古川三日町=1.9 石巻市門脇 *≒1.9 名取市増田 *≒1.8 涌谷町新町=1.8 大崎市古川北町 *≒1.7 大崎市田尻 *≒1.7 登米市迫町 *≒1.7 宮城川崎町前川 *≒1.7 塩竈市旭町 *≒1.7 東松島市矢本 *≒1.7 登米市登米町 *≒1.6 登米市米山町 *≒1.6 仙台宮城野区五輪=1.6 石巻市泉町=1.6 栗原市築館 *≒1.6 石巻市北上町 *≒1.6 宮城美里町北浦 *≒1.6 登米市中田町=1.6 栗原市一迫 *≒1.5 栗原市瀬峰 *≒1.5 栗原市高清水 *≒1.5 登米市南方町 *≒1.5 1 栗原市篤沢 *≒1.4 登米市東和町 *≒1.4 大崎市鹿島台 *≒1.4 蔵王町円田 *≒1.4 大河原町新南 *≒1.4 仙台青葉区作並 *≒1.4 仙台青葉区雨宮 *≒1.4 石巻市前谷地 *≒1.4 宮城美里町木間塚 *≒1.3 大崎市松山 *≒1.3 角田市角田 *≒1.3 仙台青葉区大倉=1.3 仙台青葉区落合 *≒1.3 仙台若林区遠見塚 *≒1.3 東松島市小野 *≒1.3 大衡村大衡 *≒1.3 宮城加美町中新田 *≒1.3 大崎市鳴子 *≒1.2 仙台東区将監 *≒1.2 亶理町下小路 *≒1.2 栗原市花山 *≒1.2 色麻町四電 *≒1.2 本吉町津谷 *≒1.2 山元町浅生原 *≒1.1 女川町女川浜 *≒1.1 登米市豊里町 *≒1.1 石巻市雄勝町 *≒1.1 柴田町船岡=1.1 大崎市岩出山 *≒1.0 大和町吉岡 *≒1.0 大郷町粕川 *≒1.0 白石市亶理町 *≒1.0 宮城加美町小野田 *≒0.9 村田町村田 *≒0.9 仙台太白区山田 *≒0.9 丸森町鳥屋 *≒0.9 七ヶ浜町東宮浜 *≒0.9 利府町利府 *≒0.9 石巻市鮎川浜 *≒0.8 登米市石越町 *≒0.7 富谷町富谷 *≒0.7 宮城加美町宮崎 *≒0.7 石巻市大瓜=0.7 大崎市三本木 *≒0.7 松島町松島=0.7 石巻市相野谷 *≒0.6 丸森町上滝=0.5 青森県 2 青森南部町苦米地 *≒2.1 青森南部町平 *≒1.7 五戸町古館=1.5 階上町道仏 *≒1.5 1 おいらせ町中下田 *≒1.4 東通村小田野沢 *≒1.4 東北町上北南 *≒1.3 六戸町犬落瀬 *≒1.3 七戸町森ノ上 *≒1.1 八戸市内丸 *≒1.1 東通村砂子又 *≒0.9 おいらせ町上明堂 *≒0.9 五戸町倉石中市 *≒0.8 平内町小湊=0.8 八戸市湊町=0.8 野辺地町野辺地 *≒0.7 田子町田子 *≒0.7	38° 32.9' N	142° 49.7' E	56km	M: 5.2

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		三沢市桜町 * = 0.7 七戸町七戸 * = 0.6 十和田市西二番町 * = 0.6 青森南部町沖田面 * = 0.5 東北町塔ノ沢山 * = 0.5 秋田県 2 大仙市高梨 * = 1.7 井川町北川尻 * = 1.5 大仙市刈和野 * = 1.5 1 大仙市大曲花園町 * = 1.3 秋田市河辺和田 * = 1.2 横手市大雄 * = 1.2 大仙市北長野 * = 1.2 秋田美郷町土崎 * = 1.0 大仙市太田町太田 * = 1.0 五城目町西磯ノ目 = 1.0 八郎潟町大道 * = 1.0 三種町豊岡 * = 1.0 秋田市山王 = 1.0 秋田市雄和女米木 = 0.9 大仙市南外 * = 0.8 秋田市消防庁舎 * = 0.8 横手市大森町 * = 0.8 秋田美郷町六郷東根 = 0.8 羽後町西馬音内 * = 0.7 大仙市神宮寺 * = 0.7 大仙市協和境野田 * = 0.7 仙北市角館町東勝楽丁 = 0.7 仙北市西木町上桧木内 * = 0.7 仙北市角館町小勝田 * = 0.7 横手市平鹿町浅舞 * = 0.6 湯沢市沖鶴 = 0.6 横手市雄物川町今宿 = 0.6 由利本荘市岩谷町 * = 0.5 由利本荘市鳥海町伏見 * = 0.5 福島県 2 国見町藤田 * = 1.5 川俣町五百田 * = 1.5 葛尾村落合閣下 * = 1.5 南相馬市鹿島区 * = 1.5 1 二本松市郭内 * = 1.4 田村市滝根町 * = 1.4 田村市常葉町 * = 1.4 相馬市中村 * = 1.4 南相馬市小高区 * = 1.4 郡山市朝日 = 1.3 二本松市油井 * = 1.3 二本松市針道 * = 1.3 桑折町東大隅 * = 1.3 白沢村糠沢 * = 1.3 楢葉町北田 * = 1.3 田村市船弓町 = 1.2 田村市大越町 * = 1.2 田村市都路町 * = 1.2 福島伊達市梁川町 * = 1.2 新地町谷地小屋 * = 1.2 飯館村伊丹沢 * = 1.2 南相馬市原町区高見町 * = 1.2 福島伊達市月館町 * = 1.1 郡山市開成 * = 1.1 本宮町万世 * = 1.0 棚倉町棚倉中野野 = 1.0 小野町中通 * = 1.0 福島伊達市保原町 * = 1.0 福島市桜木町 * = 1.0 福島市五老内町 * = 1.0 富岡町本岡 * = 1.0 玉川村小高 * = 0.9 平田村永田 * = 0.9 浅川町浅川 * = 0.9 福島市松木町 = 0.9 郡山市湖南町 * = 0.9 白河市新白河 * = 0.9 須賀川市岩瀬支所 * = 0.9 福島広野町下北迫大谷地原 * = 0.9 大熊町下野上 * = 0.9 浪江町幾世橋 = 0.9 南相馬市原町区三島町 = 0.9 天栄村下松本 * = 0.9 小野町小野新町 * = 0.8 川内村上川内早渡 * = 0.8 川内村下川内 = 0.7 葛尾村落合落合 * = 0.7 二本松市金色 * = 0.6 三春町大町 * = 0.6 いわき市平四ツ波 * = 0.6 福島広野町下北迫苗代替 * = 0.5 白河市郭内 = 0.5 大玉村玉井 * = 0.5 山形県 1 尾花沢市若葉町 * = 1.1 大石田町緑町 * = 1.0 河北町谷地 = 0.7 舟形町舟形 * = 0.6 西川町大井沢 * = 0.6 大蔵村肘折 * = 0.5 茨城県 1 常陸大宮市上村田 * = 1.0 日立市助川小学校 * = 0.5 ひたちなか市南神敷台 * = 0.5 土浦市大岩田 = 0.5 石岡市柿岡 = 0.5 栃木県 1 茂木町小井戸 * = 1.0				
7	2 14 56	新潟県中越地方 新潟県 1 魚沼市今泉 * = 1.1	37° 18.2' N	138° 58.3' E	10km	M: 2.7
8	3 18 43	新潟県中越地方 新潟県 3 魚沼市今泉 * = 3.0 2 小千谷市土川 * = 2.4 魚沼市須原 * = 2.2 魚沼市米沢 = 2.0 魚沼市堀之内 * = 1.9 川口町川口 * = 1.9 小千谷市城内 = 1.7 魚沼市穴沢 * = 1.7 南魚沼市浦佐 * = 1.6 魚沼市大沢 * = 1.5 1 長岡市千手 * = 1.4 魚沼市小出島 * = 1.4 長岡市浦 * = 1.3 長岡市小国町法坂 * = 1.1 長岡市幸町 = 1.0 上越市安塚区安塚 * = 0.7 福島県 1 檜枝岐村上河原 * = 0.5	37° 18.1' N	138° 58.8' E	8km	M: 3.5
9	3 19 08	新潟県中越地方 新潟県 2 魚沼市今泉 * = 2.1 1 小千谷市土川 * = 0.9 魚沼市米沢 = 0.8	37° 18.3' N	138° 58.9' E	9km	M: 2.8
10	3 22 42	石川県西方沖 石川県 2 志賀町香能 * = 2.1 白山市美川浜町 * = 1.5 1 金沢市西念 = 1.4 小松市小馬出町 = 1.3 穴水町大町 * = 1.3 加賀市大聖寺南町 * = 1.2 羽咋市旭町 * = 1.1 輪島市鳳至町 = 1.0 七尾市本府中町 = 0.9 加賀市直下町 = 0.9 白山市鶴来本町 * = 0.9 能登町松波 * = 0.9 津幡町加賀爪 = 0.8 能美市寺井町 * = 0.8 金沢市弥生 * = 0.8 小松市向本折町 * = 0.8 輪島市舳倉島 = 0.7 輪島市門前町走出 * = 0.7 七尾市中島町中島 * = 0.7 白山市別宮町 * = 0.7 能美市来丸町 * = 0.6 野々市町三納 * = 0.6 内灘町鶴ヶ丘 * = 0.6 かほく市浜北 * = 0.6 志賀町富来領家町 = 0.6 志賀町末吉古 * = 0.6 能登町宇出津 = 0.5 富山県 1 射水市戸破 * = 1.0 高岡市広小路 * = 0.9 氷見市加納 * = 0.9 舟橋村仏生寺 * = 0.9 富山市新桜町 * = 0.8 射水市二口 * = 0.8 射水市加茂中部 * = 0.8 小矢部市泉町 = 0.8 南砺市城端 * = 0.8 射水市本町 * = 0.6 南砺市利賀村上百瀬 * = 0.6 立山町吉峰 = 0.5 福井県 1 福井市大手 * = 1.4 越前町西田中 * = 1.4 福井坂井市三国町中央 = 1.4 福井坂井市三国町錦 * = 1.3 福井市豊島 = 1.1 福井坂井市丸岡町西里丸岡 * = 1.1 あわら市市姫 * = 1.0 越前市粟田部 * = 1.0 越前町織田 * = 1.0 永平寺町松岡春日 * = 0.9 あわら市国影 * = 0.9 福井市板垣 * = 0.9 永平寺町粟住波 * = 0.8 敦賀市松栄町 = 0.5 岐阜県 1 飛騨市河合町元田郵便局 * = 1.0 白川村鳩谷 * = 0.5 京都府 1 京丹後市弥栄町溝谷 * = 0.7	37° 00.1' N	135° 39.0' E	31km	M: 4.6
11	4 12 50	北海道南西沖 北海道 1 せたな町北檜山区徳島 * = 0.7	42° 51.0' N	139° 17.3' E	33km	M: 3.3
12	4 23 37	釧路沖 北海道 1 根室市落石東 * = 0.5	42° 30.6' N	145° 01.3' E	44km	M: 3.3
13	5 00 26	三宅島近海 東京都 1 三宅村神着 = 0.6	34° 05.0' N	139° 30.8' E	3km	M: 1.9
14	5 07 01	山口県東部 山口県 1 防府市寿 = 0.6	34° 09.0' N	131° 33.9' E	7km	M: 2.5



地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
15	5 18 27	福岡県北西沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=1.0	33° 41.8' N	130° 15.3' E	3km	M: 1.8
16	5 21 32	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑁 *=0.6	42° 58.9' N	145° 36.6' E	44km	M: 2.9
17	5 22 43	千葉県北西部 神奈川県 1 横浜青葉区市が尾町 *=0.8 横浜神奈川区白幡上町 *=0.6 川崎川崎市宮前町 *=0.6	35° 41.4' N	140° 03.9' E	69km	M: 3.6
18	5 23 50	長野県南部 長野県 1 木曾町新開 *=0.7 岐阜県 1 高山市高根町 *=1.0	35° 56.3' N	137° 37.6' E	10km	M: 2.6
19	6 01 48	青森県東方沖 青森県 1 八戸市湊町=1.0 八戸市内丸 *=0.7 野辺地町野辺地 *=0.5 東通村砂子又 *=0.5 岩手県 1 岩手洋野町大野 *=0.5	40° 57.9' N	142° 00.8' E	55km	M: 3.6
20	7 03 37	鳥取県西部 鳥取県 1 鳥取南部町法勝寺 *=0.9 鳥取南部町天萬 *=0.7	35° 19.2' N	133° 19.2' E	9km	M: 2.2
21	7 12 02	福岡県北西沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=1.0	33° 42.2' N	130° 13.3' E	5km	M: 2.3
22	7 18 43	岩手県沖 岩手県 1 岩手洋野町大野 *=1.1 九戸村伊保内 *=0.7	40° 21.0' N	142° 04.3' E	49km	M: 3.5
23	8 07 40	宮城県北部 宮城県 1 宮城加美町宮崎 *=0.5	38° 41.4' N	140° 42.5' E	8km	M: 2.7
24	8 09 56	兵庫県南西部 兵庫県 1 加古川市志方町 *=1.4 加東市下滝野 *=1.4 加西市北条町 *=0.9 加古川市加古川町=0.9 多可町加美区 *=0.8 市川町西川辺 *=0.8 三木市細川町=0.7 芦屋市精道町 *=0.5 西脇市黒田庄町喜多 *=0.5 多可町八千代区 *=0.5 神戸西区神出町=0.5 加西市下万願寺町=0.5 兵庫太子町鶴 *=0.5	34° 54.1' N	134° 44.6' E	14km	M: 3.2
25	9 05 02	周防灘 福岡県 2 行橋市中央 *=1.9 苅田町若久=1.9 1 みやこ町豊津 *=1.3 みやこ町勝山上田 *=1.2 苅田町京町 *=1.2 北九州門司区大里 *=1.1 築上町椎田 *=1.1 福智町弁城 *=1.0 赤村内田 *=0.7 みやこ町犀川本庄 *=0.7 北九州戸畑区千防 *=0.6	33° 48.4' N	131° 01.5' E	12km	M: 3.2
26	10 01 15	新潟県中越地方 新潟県 2 魚沼市穴沢 *=1.9 魚沼市須原 *=1.5 1 魚沼市米沢=0.7 福島県 1 檜枝岐村上河原 *=1.0	37° 23.3' N	139° 02.6' E	1km	M: 3.0
27	10 05 11	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町 *=0.9 陸前高田市高田町 *=0.8 奥州市衣川区 *=0.8 大船渡市猪川町=0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町 *=0.7 南三陸町歌津 *=0.7	38° 47.5' N	141° 36.0' E	71km	M: 3.4
28	10 09 06	静岡県東部 静岡県 2 小山町藤曲 *=1.5	35° 23.7' N	138° 58.3' E	0km	M: 2.2
29	10 18 43	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 阿蘇市内牧 *=0.7	32° 57.7' N	131° 00.2' E	5km	M: 2.3
30	11 00 38	四国沖 高知県 1 東洋町生見 *=0.7	33° 22.3' N	134° 45.4' E	37km	M: 3.2
31	11 08 58	福島県沖 宮城県 3 登米市迫町 *=2.8 丸森町鳥屋 *=2.7 2 栗原市金成 *=2.4 石巻市前谷地 *=2.4 登米市米山町 *=2.3 宮城美里町木間塚 *=2.3 大崎市古川三日町=2.3 涌谷町新町=2.3 大崎市古川北町 *=2.2 石巻市門脇 *=2.2 登米市中田町=2.2 登米市登米町 *=2.1 石巻市桃生町 *=2.1 登米市南方町 *=2.1 大河原町新南 *=2.0 宮城加美町中新田 *=1.8 宮城川崎町前川 *=1.8 東松島市矢本 *=1.8 大崎市田尻 *=1.8 角田市角田 *=1.7 栗原市高清水 *=1.7 大崎市松山 *=1.7 岩沼市桜 *=1.6 利府町利府 *=1.6 宮城美里町北浦 *=1.6 大崎市鳴子 *=1.6 蔵王町円田 *=1.5 宮城加美町小野田 *=1.5 栗原市志波姫 *=1.5 色麻町四竈 *=1.5 1 宮城加美町宮崎 *=1.4 栗原市築館 *=1.4 栗原市一迫 *=1.4 大崎市三本木 *=1.4 大崎市鹿島台 *=1.4 名取市増田 *=1.4 栗原市花山 *=1.3 石巻市相野谷 *=1.3 大和町吉岡 *=1.3 大衛村大衛 *=1.3 大崎市岩出山 *=1.3 白石市亙理町 *=1.3 東松島市小野 *=1.2 仙台宮城野区五輪=1.2 山元町浅生原 *=1.2 栗原市瀬峰 *=1.1 仙台青葉区大倉=1.1 大郷町柏川 *=1.1 七ヶ宿町関 *=1.0 亙理町下小路 *=1.0 栗原市鶯沢 *=1.0 栗原市栗駒=0.9 石巻市泉町=0.9 富谷町富谷 *=0.9	37° 11.6' N	143° 01.8' E	50km	M: 6.0



地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		岩手県 1 村田町村田 * = 0.9 南三陸町志津川 = 0.8 登米市石越町 * = 0.6 七ヶ浜町東宮浜 * = 0.6 2 矢巾町南矢幅 * = 1.1 花巻市材木町 * = 1.5 盛岡市玉山区敷川 * = 1.5 1 奥州市水沢区佐倉河 * = 1.1 奥州市水沢区大鐘町 = 1.1 北上市柳原町 = 1.0 八幡平市田頭 * = 0.8 山形県 1 中山町長崎 * = 2.2 米沢市林泉寺 * = 1.8 高島町高島 * = 1.6 上山市河崎 * = 1.5 1 河北町谷地 = 1.4 米沢市駅前 = 1.3 遊佐町遊佐 = 1.2 酒田市亀ヶ崎 = 1.0 福島県 2 国見町藤田 * = 2.1 福島市松木町 = 2.0 郡山市湖南町 * = 2.0 猪苗代町千代田 * = 2.0 猪苗代町城南 = 1.9 福島市五老内町 * = 1.8 会津美里町新鶴庁舎 * = 1.8 桑折町東大隅 * = 1.7 双葉町新山 * = 1.7 南相馬市小高区 * = 1.7 会津坂下町市中三番甲 * = 1.7 会津若松市古川町 * = 1.6 福島伊達市前川原 * = 1.6 1 いわき市小名浜 = 1.3 浪江町幾世橋 = 1.3 福島市桜木町 * = 1.2 南相馬市鹿島区 * = 1.2 郡山市朝日 = 1.1 南相馬市原町区高見町 * = 1.1 会津美里町本郷庁舎 * = 1.1 玉川村小高 * = 1.0 いわき市錦町 * = 0.9 福島広野町下北迫苗代替 * = 0.9 南相馬市原町区三島町 = 0.9 大玉村曲藤 = 0.9 郡山市開成 * = 0.8 白河市郭内 = 0.8 白河市新白河 * = 0.7 二本松市針道 * = 0.5 青森県 1 おいらせ町中下田 * = 1.0 六戸町犬落瀬 * = 1.0 おいらせ町上明堂 * = 0.9 七戸町森ノ上 * = 0.8 平川市猿賀 * = 0.7 東北町上北南 * = 0.6 七戸町七戸 * = 0.5 秋田県 1 大仙市高梨 * = 1.4 由利本荘市西目町沼田 * = 1.3 三種町豊岡 * = 1.1 横手市大雄 * = 1.1 にかほ市平沢 * = 1.0 秋田市河辺和田 * = 1.0 秋田美郷町飯詰 * = 0.9 能代市上町 * = 0.9 秋田市消防庁舎 * = 0.8 大仙市刈和野 * = 0.8 仙北市田沢湖生保内宮ノ後 * = 0.6 湯沢市川連町 * = 0.6 秋田美郷町土崎 * = 0.6 大仙市神宮寺 * = 0.6 由利本荘市岩谷町 * = 0.6 大仙市協和境野田 * = 0.6 大仙市北長野 * = 0.5 横手市大森町 * = 0.5 大仙市南外 * = 0.5 秋田美郷町六郷 * = 0.5 横手市十文字町 * = 0.5 由利本荘市矢島町矢島町 * = 0.5 茨城県 1 石岡市柿岡 = 1.0 埼玉県 1 久喜市青葉 * = 1.3 春日部市谷原新田 * = 1.2 新潟県 1 見附市昭和町 * = 1.2 阿賀町鹿瀬中学校 * = 0.7 阿賀町津川 * = 0.5 長野県 1 長野南牧村海ノ口 * = 0.8				
32	11 16 09	神奈川県西部 神奈川県 1 箱根町湯本 * = 0.9	35° 14.3' N	139° 00.4' E	0km	M: 1.7
33	12 10 26	釧路支庁中南部 北海道 1 根室市牧の内 * = 1.1 標茶町塘路 * = 1.0 根室市厚床 * = 0.9 根室市落石東 * = 0.8 浜中町霧多布 * = 0.6 鶴居村鶴居東 * = 0.5 根室市瑛瑠瑠 * = 0.5	43° 10.5' N	145° 13.7' E	79km	M: 3.7
34	12 12 23	青森県東方向 青森県 2 八戸市内丸 * = 1.5 1 階上町道仏 * = 1.3 八戸市湊町 = 1.1 東北町塔ノ沢山 * = 0.7 東北町上北南 * = 0.7 東通村砂子又 * = 0.6 野辺地町田狭沢 * = 0.6 岩手県 1 岩手洋野町大野 * = 0.9	40° 58.3' N	142° 00.6' E	56km	M: 3.8
35	12 17 54	兵庫県南西部 兵庫県 1 市川町西川辺 * = 1.4 兵庫太子町鶴 * = 1.1 兵庫神戸町寺前 * = 1.0 朝来市生野町 * = 0.8 たつの市龍野町 * = 0.7 加古川市志方町 * = 0.7	34° 54.0' N	134° 44.5' E	14km	M: 3.3
36	12 23 46	与那国島近海 沖縄県 2 与那国町祖納 = 2.2 竹富町黒島 = 2.0 竹富町西表東祖納 * = 1.9 竹富町大原 = 1.8 竹富町波照間 = 1.7 石垣市美崎町 * = 1.7 石垣市登野城 = 1.5 1 多良間村塩川 = 1.1 石垣市新川 = 1.0	24° 05.3' N	122° 34.6' E	46km	M: 6.2
37	13 01 17	浦河沖 北海道 1 函館市泊町 * = 1.1 青森県 1 東通村小田野沢 * = 1.0 東通村砂子又 * = 0.6	41° 40.9' N	142° 02.4' E	74km	M: 3.8
38	13 06 26	秋田県沖 秋田県 1 由利本荘市岩谷町 * = 0.9	39° 29.0' N	140° 00.4' E	23km	M: 2.9
39	13 08 11	日高支庁東部 北海道 2 幕別町忠類錦町 * = 1.6 1 浦幌町桜町 * = 1.2 十勝大樹町生花 * = 1.2 えりも町目黒 * = 1.1 十勝大樹町東本通 * = 1.0 浦河町築地 * = 1.0 更別村更別 * = 0.9 浦河町潮見 = 0.8 豊頃町茂岩本町 * = 0.5 本別町向陽町 * = 0.5 広尾町並木通 = 0.5	42° 19.2' N	143° 03.6' E	50km	M: 3.9
40	13 10 18	福島県沖 宮城県 1 登米市迫町 * = 0.6	37° 18.8' N	143° 01.5' E	59km	M: 5.0
41	14 05 24	十勝沖 北海道 1 釧路市音別町直別 * = 1.0 豊頃町茂岩本町 * = 0.6 本別町向陽町 * = 0.5	42° 46.6' N	143° 52.8' E	107km	M: 3.5
42	14 06 38	千葉県南東沖 千葉県 4 館山市長須賀 = 3.9 館山市北条 * = 3.8 南房総市白浜町白浜 * = 3.7 南房総市谷向 * = 3.5 鴨川市八色 = 3.5 3 市原市姉崎 * = 3.4 鴨川市横渚 * = 3.4 いすみ市国府台 * = 3.3 大多喜町大多喜 * = 3.3 南房総市岩糸 * = 3.2 南房総市富浦町青木 * = 3.2 富津市下飯野 * = 3.1 勝浦市墨名 = 3.1 睦沢町下之郷 * = 3.0 南房総市千倉町瀬戸 * = 3.0 君津市久留里市場 * = 2.9 鴨川市天津 * = 2.8 勝浦市新宮 * = 2.8 長生村本郷 * = 2.8 多古町多古 = 2.7 いすみ市岬町長者 * = 2.7 千葉一宮町一宮 = 2.7 東金市日吉台 * = 2.6 長南町長南 * = 2.6 大網白里町大網 * = 2.6 鋸南町下佐久間 * = 2.6	34° 53.6' N	140° 18.2' E	64km	M: 5.1

地震番号	震源時日 時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		木更津市貝淵*2.6 山武市埴谷*2.5 白子町関*2.5 旭市南堀之内*2.5 2 茂原市道表*2.4 東金市東岩崎*2.4 袖ヶ浦市坂戸市場*2.4 南房総市和田町仁我浦*2.4 浦安市猫突*2.3 四街道市鹿渡*2.3 木更津市太田*2.3 君津市久保*2.3 九十九里町片貝*2.3 長柄町桜谷*2.3 山武市殿台*2.3 千葉中央区千葉市役所*2.3 横芝光町横芝*2.2 東金市東新宿*2.2 木更津市役所*2.2 山武市蓮沼八*2.2 千葉中央区中央港*2.2 いすみ市大原*2.2 芝山町小池*2.2 成田市花崎町*2.2 千葉佐倉市海隣寺町*2.2 香取市佐原下川岸*2.1 千葉美浜区稲毛海岸*2.1 御宿町須賀*2.1 香取市仁良*2.1 習志野市鷺沼*2.1 八街市八街*2.1 印西市大森*2.1 山武市松尾町松尾*2.1 横芝光町宮川*2.0 市原市国分寺台中央*2.0 匝瑳市八日市場八*2.0 旭市二*2.1 旭市萩園*1.9 長柄町大津倉*1.9 柏市旭町*1.9 香取市役所*1.9 香取市羽根川*1.9 本埜村笠神*1.9 白井市復*1.8 成田市役所*1.8 匝瑳市今泉*1.8 流山市平和台*1.8 香取市佐原諏訪台*1.7 印旛村瀬戸*1.7 香取市岩部*1.7 富里市七栄*1.7 成田市中台*1.7 南房総市久枝*1.6 千葉神崎町神崎本宿*1.6 野田市東宝珠花*1.6 千葉酒々井町中央*1.5 千葉栄町安食台*1.5 船橋市湊町*1.5 野田市鶴奉*1.5 成田市松子*1.5 八千代市大和田新田*1.5 1 東庄町笹川*1.4 市川市八幡*1.4 柏市大島田*1.4 我孫子市我孫子*1.4 鎌ヶ谷市初富*1.4 銚子市若宮町*1.3 松戸市根本*1.3 柏市柏*1.3 成田市猿山*1.2 銚子市川口町*1.1 3 東京世田谷区成城*2.8 東京杉並区高井戸*2.8 調布市つじヶ丘*2.7 三鷹市野崎*2.6 国分寺市本多*2.6 東京千代田区大手町*2.6 町田市中町*2.5 2 東京江東区枝川*2.4 東京世田谷区中町*2.4 伊豆大島町岡田*2.4 東京利島村*2.4 東京中央区勝どき*2.3 武蔵野市吉祥寺東町*2.3 伊豆大島町波浮港*2.3 東京大田区本羽田*2.2 東京世田谷区世田谷*2.2 東京杉並区桃井*2.2 東京大田区多摩川*2.2 小金井市本町*2.1 三宅村神着*2.1 東京品川区平塚*2.1 東京世田谷区三軒茶屋*2.1 東京練馬区東大泉*2.1 町田市忠生*2.0 国分寺市戸倉*2.0 東京江東区東陽*2.0 八王子市堀之内*2.0 東京足立区千住*1.9 東京江戸川区船堀*1.9 町田市役所*1.9 多摩市関戸*1.9 伊豆大島町差木地*1.9 東京中央区築地*1.9 東京港区白金*1.9 東京江東区森下*1.9 東京渋谷区宇田川町*1.9 東京荒川区東尾久*1.9 東京品川区北品川*1.8 新島村式根島*1.8 三宅村坪田*1.8 東京北区赤羽南*1.8 東京足立区神明南*1.8 東京練馬区東大泉*2.1 東京新宿区上落合*1.8 東京台東区千束*1.8 東京墨田区東向島*1.8 狛江市和泉本町*1.8 新島村本村*1.7 東京大田区大森東*1.7 東京杉並区阿佐谷*1.7 東京足立区伊興*1.7 東京葛飾区立石*1.7 東京中央区日本橋兜町*1.7 八王子市石川町*1.7 東京港区南青山*1.7 日野市神明*1.7 東京文京区本郷*1.7 東大和市中央*1.7 東京千代田区九段南*1.6 東京千代田区麹町*1.6 東京中野区中央*1.6 東京荒川区荒川*1.6 東京板橋区高島平*1.6 東京板橋区相生町*1.6 東京墨田区吾妻橋*1.6 東京葛飾区金町*1.6 東京江東区亀戸*1.6 東京目黒区中央町*1.5 東京北区西ヶ原*1.5 東京足立区中央本町*1.5 東京新宿区歌舞伎町*1.5 東京江戸川区鹿骨*1.5 東京新宿区百人町*1.5 立川市錦町*1.5 昭島市田中町*1.5 東京品川区広町*1.5 清瀬市中清戸*1.5 青梅市日向和田*1.5 1 東京文京区大塚*1.4 東京中野区江古田*1.4 東京板橋区板橋*1.4 東京練馬区光が丘*1.4 八王子市大横町*1.4 調布市小島町*1.4 小平市小川町*1.4 東村山市美住町*1.4 神津島村役場*1.4 東京大田区蒲田*1.3 東京練馬区豊玉北*1.3 西東京市中町*1.3 東久留米市本町*1.3 あきる野市伊奈*1.3 神津島村金長*1.3 伊豆大島町元町*1.3 八丈町三根*1.3 武蔵村山市本町*1.2 青梅市東青梅*1.2 東京台東区東上野*1.2 立川市泉町*1.2 東京府中市宮西町*1.2 国立市富士見台*1.1 多摩市鶴牧*1.1 武蔵野市緑町*1.1 福生市福生*1.0 瑞穂町箱根ヶ崎*1.0 東京豊島区東池袋*1.0 八丈町大賀郷土川*0.9 御蔵島村*0.9 檜原村本宿*0.7 八丈町大賀郷西見*0.6 3 横浜中区山手町*3.4 横浜神奈川区神大寺*3.2 横浜中区山田町*3.2 横浜港北区日吉本町*3.1 横浜緑区白山町*3.1 厚木市中町*3.1 横浜中区山下町*3.0 横浜南区別所*3.0 横浜西区浜松町*3.0 横浜中区山吹町*2.9 横浜港南区丸山台東部*2.9 横浜金沢区白帆*2.9 横浜神奈川区白幡上町*2.8 横浜磯子区洋光台*2.8 横須賀市光の丘*2.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町*2.7 川崎中原区小杉町*2.7 平塚市浅間町*2.7 三浦市城山町*2.7 厚木市飯山*2.7 横浜緑区十日市場*2.6 横浜都筑区茅ヶ崎*2.6 川崎川崎区千鳥町*2.5 川崎幸区戸手本町*2.5 川崎中原区小杉陣屋*2.5 横浜鶴見区鶴見*2.5 川崎宮前区宮前平*2.5 横浜金沢区寺前*2.5 横浜西区みなとみらい*2.5 厚木市寿町*2.5 横浜栄区小菅が谷*2.5 2 横浜鶴見区馬場*2.4 横浜戸塚区戸塚町*2.4 横浜港南区丸山台北部*2.4 横浜旭区大池町*2.4 横浜旭区上白根町*2.4 横浜瀬谷区三ツ境*2.4 横浜泉区和泉町*2.4 川崎宮前区野川*2.4 厚木市山際*2.4 厚木市三田*2.4 清川村煤ヶ谷*2.4 横浜保土ヶ谷区神戸町*2.3 横浜磯子区磯子*2.3 横浜旭区今宿東町*2.3 横浜青葉区榎が丘*2.3 川崎川崎区宮前町*2.3 海老名市大谷*2.3 綾瀬市深谷*2.3 厚木市酒井*2.3 中井町比奈窪*2.3 横浜瀬谷区中屋敷*2.2 横浜都筑区池辺町*2.2 藤沢市朝日町*2.2 逗子市桜山*2.2 座間市緑が丘*2.2 相模原市相模大野*2.2 厚木市長谷*2.2 厚木市七沢*2.2 川崎麻生区片平*2.1 横須賀市坂本町*2.1 鎌倉市由比ヶ浜*2.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎*2.1 神奈川二宮町中里*2.1 小田原市荻窪*2.1 相模原市津久井町中野*2.1 相模原市田名*2.1 相模原市上溝*2.1 愛川町角田*2.1 秦野市曽屋*2.0 横浜泉区岡津町*2.0 横浜青葉区市が尾町*2.0 真鶴町真鶴*2.0 寒川町宮山*2.0 横浜南区六ツ川*1.9 相模原市磯部*1.9 横浜港北区太尾町*1.9 横浜戸塚区平戸町*1.9 松田町松田惣領*1.9 箱根町湯本*1.9 葉山町堀内*1.8 相模原市中央*1.8 相模原市相原*1.8 横浜栄区公田町*1.8 川崎川崎区中島*1.8 川崎高津区下作延*1.8 相模原市相模湖町と瀬*1.7 城山町久保沢*1.7 鎌倉市御成町*1.7 秦野市平沢*1.6 神奈川大井町金子*1.6 神奈川山北町山北*1.6 藤野町小淵*1.6 大和市下鶴間*1.6 南足柄市関本*1.5 川崎多摩区登戸*1.5 1 伊勢原市伊勢原*1.3 大磯町東小磯*1.2 開成町延沢*1.2 小田原市久野*1.0 湯河原町宮上*0.6 3 東伊豆町奈良本*2.6 熱海市網代*2.5 2 河津町田中*1.9 伊豆の国市長岡*1.8 富士宮市弓沢町*1.8 下田市東本郷*1.7 南伊豆町下賀茂*1.7 熱海市泉*1.5 東伊豆町稲取*1.5				
		東京都				
		神奈川県				
		静岡県				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>1 伊東市大原=1.4 下田市中*=1.4 函南町平井*=1.4 伊豆市小立野*=1.4 伊豆の国市四日町*=1.4 三島市東本町=1.3 御殿場市萩原=1.3 御殿場市役所*=1.3 熱海市中央町*=1.2 西伊豆町宇久須*=1.2 伊豆の国市田京*=1.2 下田市加増野=1.1 沼津市戸田*=1.1 小山町藤曲*=1.1 松崎町宮内*=1.0 伊豆市八幡*=1.0 南伊豆町入間*=0.9 西伊豆町仁科*=0.9 静岡清水区蒲原新田*=0.9 長泉町中土狩*=0.8 静岡清水区蒲原新栄*=0.8 南伊豆町石廊崎=0.7 松崎町江奈*=0.7 三島市大社町*=0.7 富士市永田町*=0.7 芝川町長貴*=0.7 岡部町岡部*=0.7 裾野市佐野*=0.6 静岡清水町堂庭*=0.6 牧之原市相良*=0.6 富士市本市場*=0.5 伊豆市市山*=0.5 牧之原市静波*=0.5</p>				
		<p>宮城県 2 岩沼市桜*=1.5</p>				
		<p>福島県 1 角田市角田*=1.1 名取市増田*=0.9 石巻市桃生町*=0.9 山元町浅生原*=0.8 蔵王町円田*=0.8 亘理町下小路*=0.7 南三陸町志津川=0.7 大崎市田尻*=0.6 東松島市矢本*=0.6 丸森町鳥屋*=0.5 大河原町新南*=0.5 2 平田村永田*=1.6</p>				
		<p>茨城県 1 葛尾村落合閣下*=1.4 田村市都路町*=1.3 二本松市針道*=1.2 玉川村小高*=1.2 白河市東*=1.1 田村市大越町*=1.1 郡山市湖南町*=1.0 川俣町五百田*=1.0 二本松市油井*=1.0 南相馬市鹿島区*=1.0 会津若松市古川町*=1.0 田村市滝根町*=1.0 棚倉町棚倉中居野=0.9 二本松市郭内*=0.9 白河市新白河*=0.9 相馬市中村*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 鏡石町鏡田*=0.9 泉崎村泉崎*=0.9 田村市常葉町*=0.8 浅川町浅川*=0.8 白沢村糠沢*=0.8 新地町谷地小屋*=0.8 南相馬市小高区*=0.8 田村市船引町=0.7 いわき市錦町*=0.7 檜葉町北田*=0.7 川内村上川内早渡*=0.7 郡山市朝日=0.6 小野町中通*=0.5 いわき市小名浜=0.5 小野町小野新町*=0.5 福島市松木町=0.5 猪苗代町千代田*=0.5 南会津町田島=0.5 郡山市開成*=0.5 2 取手市井野*=2.3 稲敷市結佐*=2.2 つくば市谷田部*=2.1 茨城鹿嶋市鉢形=2.1 坂東市岩井=2.1 筑西市舟生=2.0 つくばみらい市加藤*=1.9 小美玉市上玉里*=1.9 笠間市中央*=1.9 潮来市辻*=1.9 稲敷市柴崎*=1.8 石岡市石岡*=1.8 茨城河内町源清田*=1.8 神栖市溝口*=1.8 取手市藤代*=1.8 坂東市馬立*=1.8 稲敷市役所*=1.8 常総市水海道諏訪町*=1.7 つくばみらい市福田*=1.7 小美玉市小川*=1.7 阿見町中央*=1.7 取手市寺田*=1.7 つくば市小笠*=1.7 石岡市柿岡=1.7 小美玉市堅倉*=1.6 利根町布川=1.6 桜川市真壁*=1.6 鉾田市当間*=1.6 土浦市下高津*=1.6 茨城町小堤*=1.6 常陸大宮市野口*=1.6 笠間市石井*=1.6 稲敷市江戸崎甲*=1.5 常総市新石下*=1.5 美浦村受領*=1.5 土浦市藤沢*=1.5 稲敷市須賀津*=1.5 水戸市中央*=1.5 水戸市内原町*=1.5 筑西市門井*=1.5 常陸大宮市上村田*=1.5 行方市麻生*=1.5 桜川市岩瀬*=1.5 坂東市役所*=1.5 1 日立市役所*=1.4 土浦市大岩田=1.4 石岡市八郷*=1.4 下妻市鬼怒*=1.4 牛久市中央*=1.4 茨城鹿嶋市宮中*=1.4 境町旭町*=1.4 守谷市大柏*=1.4 かすみがうら市大和田*=1.4 かすみがうら市上土田*=1.4 行方市甲*=1.4 鉾田市鉾田=1.4 龍ヶ崎寺後*=1.3 鉾田市汲上*=1.3 水戸市金町=1.3 坂東市山*=1.3 茨城古河市仁連*=1.3 五霞町小福田*=1.3 つくば市天王台*=1.2 那珂市福田*=1.2 神栖市波崎*=1.2 行方市山田*=1.2 茨城古河市長谷町*=1.1 茨城古河市下大野*=1.1 鉾田市造谷*=1.1 常陸太田市高柿町*=1.1 ひたちなか市南敷台*=1.1 筑西市下中山*=1.1 下妻市本城町*=1.1 城里町阿波山*=1.1 桜川市羽田*=1.0 結城市結城*=1.0 筑西市海老ヶ島*=1.0 水戸市千波町*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 日立市十王町友部*=0.9 高萩市安良川*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 常陸大宮市中富町=0.6 2 栃木二宮町石島*=2.0 茂木町小井戸*=1.8 益子町益子=1.7 市貝町市塙*=1.7 高根沢町石末*=1.7 岩舟町静*=1.6 日光市中宮祠=1.6 佐野市高砂町*=1.6 鹿沼市晃望台*=1.5 1 宇都宮市明保野町=1.4 足利市大正町*=1.4 真岡市市田*=1.4 大田原市湯津上*=1.3 真岡市荒町*=1.3 下野市田中*=1.3 鹿沼市今宮町*=1.2 小山市神鳥谷*=1.2 栃木藤岡町藤岡*=1.2 下野市小金井*=1.2 日光市鬼怒川温泉大原*=1.1 佐野市葛生東*=1.1 壬生町通町*=1.1 大平町富田*=1.1 日光市今市本町*=1.0 下野市石橋*=1.0 栃木市旭町=1.0 佐野市田沼町*=1.0 那須烏山市中央=0.9 鹿沼市口栗野*=0.9 日光市湯元*=0.9 上河内町中里*=0.9 日光市瀬川=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 茂木町茂木*=0.7 足利市名草上町=0.7 日光市中鉢石町*=0.6 佐野市中町*=0.6 宇都宮市塙田*=0.5 2 沼田市白沢町*=1.6 1 太田市西本町*=1.4 前橋市粕川町*=1.3 桐生市元宿町*=1.3 邑楽町中野*=1.3 群馬明和町新里*=1.2 片品村東小川=1.2 桐生市新里町*=1.2 館林市美園町*=1.0 板倉町板倉=1.0 前橋市堀越町*=0.9 桐生市織姫町=0.9 太田市粕川町*=0.9 富士見村田島*=0.9 安中市安中*=0.8 沼田市下久屋町*=0.8 沼田市利根町*=0.8 みどり市東町*=0.7 片品村鎌田*=0.6 富岡市七日市=0.6 伊勢崎市東町*=0.5 2 所沢市北有楽町*=2.1 川口市青木分室*=2.0 富士見市鶴馬*=1.9 宮代町笠原*=1.9 久喜市下早見=1.9 大利根町北下新井*=1.9 春日部市中央*=1.9 春日部市谷原新田*=1.9 狭山市入間川*=1.9 さいたま大宮区天沼町*=1.8 春日部市金崎*=1.8 草加市高砂*=1.8 越谷市越ヶ谷*=1.8 入間市豊岡*=1.8 杉戸町清地*=1.8 幸手市東*=1.7 吉川市吉川*=1.7 埼玉三芳町藤久保*=1.7 川口市青木*=1.7 さいたま中央区下落合*=1.7 さいたま浦和区高砂=1.7 志木市中宗岡*=1.7 和光市広沢*=1.7 三郷市幸房*=1.7 白岡町千駄野*=1.3 松伏町松伏*=1.6 上尾市本町*=1.6 鴻巣市吹上富士見*=1.5 鴻巣市川里*=1.5 鶴ヶ島市三ツ木*=1.5 久喜市青葉*=1.5 菖蒲町新堀*=1.5 栗橋町間鎌*=1.5 川越市旭町=1.5 川越市新宿町*=1.5 さいたま岩槻区本町*=1.5 熊谷市大里*=1.5 新座市野火止*=1.5 八潮市中央*=1.5 1 鴻巣市中央*=1.4 蕨市中央*=1.4 戸田市上戸田*=1.4 鳩ヶ谷市三ツ和*=1.4 朝霞市本町*=1.4 桶川市泉*=1.4 川島町平沼*=1.4 ふじみ野市福岡*=1.4 吉見町下細谷*=1.3 行田市南河原*=1.2 加須市下三俣*=1.2 埼玉美里町木部*=1.2 毛呂山町岩井*=1.2 所沢市並木*=1.1 さいたま浦和区常盤*=1.1 ふじみ野市大井中央*=1.1 熊谷市妻沼*=1.1 行田市本丸*=1.1 羽生市東*=1.1 東松山市松葉町*=1.0 北本市本町*=1.0 坂戸市千代田*=1.0 本庄市児玉町=0.9 飯能市前ヶ貫*=0.9 日高市南平沢*=0.9 飯能市名栗*=0.8 熊谷市桜町=0.7 東松山市市ノ川*=0.7 深谷市花園*=0.7 滑川町福田*=0.7 越生町越生*=0.7 熊谷市宮町*=0.6 秩父市近戸町*=0.6 嵐山町杉山*=0.6 秩父市上町=0.5 秩父市中津川*=0.5 長瀬町野上下郷*=0.5 2 大月市御太刀*=2.0 忍野村忍草*=2.0 鯉沢町鯉沢小学校*=1.9 西桂町小沼*=1.9</p>				
		<p>山梨県 2 大月市御太刀*=2.0 忍野村忍草*=2.0 鯉沢町鯉沢小学校*=1.9 西桂町小沼*=1.9</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		上野原市上野原=1.8 上野原市役所*=1.8 富士河口湖町長浜*=1.8 小菅村役場*=1.8 山中湖村山中*=1.6 富士河口湖町船津=1.6 都留市上谷*=1.5 1 市川三郷町岩間*=1.4 中央市大鳥居*=1.4 増穂町天神中条*=1.3 富士吉田市下吉田*=1.3 甲府市古閑町*=1.2 南アルプス市寺部*=1.2 笛吹市役所*=1.2 北杜市高根町村山北割*=1.2 甲府市飯田=1.1 甲府市役所*=1.0 山梨市牧丘町窪平*=1.0 身延町大磯小磯=1.0 身延町役場*=1.0 山梨昭和町押越*=1.0 甲斐市下今井*=1.0 笛吹市八代町南*=1.0 笛吹市境川町藤壘*=1.0 甲州市塩山上於曾*=1.0 甲州市役所*=1.0 中央市成島*=1.0 中央市白井阿原*=1.0 富士吉田市上吉田*=1.0 鳴沢村役場*=1.0 甲府市相生*=1.0 甲州市勝沼町勝沼*=0.9 上野原市秋山*=0.9 富士河口湖町勝山*=0.9 南アルプス市鮎沢*=0.9 北杜市明野町上手*=0.9 市川三郷町役場*=0.9 甲州市大和町初鹿野*=0.8 山梨南部町福土*=0.7 丹波山村丹波*=0.7 北杜市健康ランド須玉*=0.7 甲州市塩山下於曾=0.7 富士河口湖町本栖*=0.6 北杜市小淵沢町*=0.6 市川三郷町上野*=0.6 身延町常葉*=0.6 山梨南部町茶小小学校*=0.6 南アルプス市小笠原*=0.6 長野県 2 佐久市白田*=1.7 茅野市葛井公園*=1.5 1 佐久市中込*=1.4 長野南牧村海ノ口*=1.4 諏訪市湖岸通り=1.2 小海町豊里*=1.1 木曾町日義*=1.0 諏訪市高島*=0.9 立科町芦田*=0.9 佐久市下小田切=0.8 軽井沢町追分=0.6 原村役場*=0.6 軽井沢町長倉*=0.5 御代田町御代田*=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.9 南魚沼市塩沢小学校*=0.5				
43	14 16 05	沖繩本島近海 沖繩県 1 宜野湾市野嵩*=0.6 豊見城市上田*=0.5	26° 07.2' N	127° 52.9' E	46km	M: 3.5
44	14 20 37	福島県沖 福島県 3 会津若松市古川町*=2.5 2 郡山市湖南町*=1.8 白河市新白河*=1.8 田村市大越町*=1.6 川内村上川内早渡*=1.6 田村市滝根町*=1.5 葛尾村落合閣下*=1.5 1 白河市郭内=1.4 白河市表郷*=1.4 須賀川市岩瀬支所*=1.4 二本松市針道*=1.4 玉川村小高*=1.4 南相馬市鹿島区*=1.3 磐梯町磐梯*=1.3 西郷村熊倉*=1.2 須賀川市八幡山*=1.2 猪苗代町千代田*=1.2 葛尾村落合落合*=1.2 平田村永田*=1.1 田村市常葉町*=1.1 川内村上川内小山平*=1.1 浪江町幾世橋=1.1 国見町藤田*=1.1 飯館村伊丹沢*=1.1 川俣町五百田*=1.1 南相馬市小高区*=1.1 喜多方市塩川町*=1.1 本宮町万世*=1.1 白沢村糠沢*=1.1 天栄村下松本*=1.1 郡山市開成*=1.1 三春町大町*=1.0 会津若松市材木町=1.0 田村市都路町*=1.0 鏡石町鏡田*=1.0 いわき市平四ツ波*=1.0 白河市東*=1.0 二本松市郭内*=1.0 二本松市油井*=1.0 須賀川市八幡町*=1.0 浅川町浅川*=1.0 小野町小野新町*=0.9 いわき市小名浜=0.9 田村市船引町=0.9 榎葉町北田*=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 郡山市朝日=0.8 いわき市錦町*=0.8 二本松市金色*=0.8 猪苗代町城南=0.8 大熊町下野上*=0.8 福島伊達市月宿町*=0.7 小野町中通*=0.7 白河市大信*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 福島広野町北迫大谷地原*=0.7 下郷町高崎*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 大熊町野上*=0.6 大玉村玉井*=0.5 福島伊達市梁川町*=0.5 川内村下川内=0.5 福島市桜木町*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=1.4 石巻市桃生町*=1.1 山元町浅生原*=0.7 角田市角田*=0.7 蔵王町円田*=0.7 登米市迫町*=0.6 大河原町新南*=0.6 宮城川崎町前川*=0.6 名取市増田*=0.6 石巻市門脇*=0.5 大崎市松山*=0.5 宮城美里町木間塚*=0.5 山形県 1 米沢市林泉寺*=0.8 茨城県 1 常陸太田市高柿町*=1.1 高萩市安良川*=1.1 水戸市内原町*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 日立市役所*=1.0 日立市十王町友部*=1.0 笠間市石井*=1.0 常陸大宮市上村田*=1.0 桜川市岩瀬*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.8 大子町池田*=0.8 常陸大宮市野口*=0.8 高萩市本町*=0.8 小美玉市堅倉*=0.7 筑西市門井*=0.7 北茨城市磯原町*=0.7 水戸市金町=0.6 石岡市柿岡=0.5 筑西市舟生=0.5 栃木県 1 茂木町小井戸*=1.3 大田原市湯津上*=1.2 那須町寺子*=1.1 栃木二宮町石島*=0.9 那須烏山市中央=0.9 栃木那珂川町馬頭*=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 真岡市田町*=0.6 上河内町中里*=0.5 益子町益子=0.5	36° 52.8' N	141° 39.6' E	51km	M: 4.7
45	15 05 35	釧路沖 北海道 1 釧路市黒金町*=1.2 別海町西春別*=1.2 厚岸町尾幌=0.9 標茶町塘路*=0.8 釧路町別保*=0.7 釧路市幸町=0.7 浜中町霧多布*=0.6 別海町常盤=0.5 中標津町養老牛=0.5	42° 43.3' N	144° 52.8' E	51km	M: 3.9
46	15 13 41	福井県嶺北 岐阜県 福井県 2 揖斐川町東杉原*=1.5 1 越前市村国*=0.5	35° 41.2' N	136° 17.0' E	11km	M: 3.1
47	15 19 58	茨城県南部 茨城県 2 つくば市小笠*=1.5 1 筑西市門井*=1.3 筑西市舟生=1.0 取手市寺田*=0.9 常陸大宮市上村田*=0.9 下妻市本城町*=0.9 つくばみらい市福田*=0.8 土浦市下高津*=0.8 小美玉市上玉里*=0.7 石岡市柿岡=0.7 つくば市谷田部*=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.6 小美玉市小川*=0.5 土浦市大岩田=0.5 かすみがうら市土上田*=0.5 桜川市真壁*=0.5 栃木県 1 栃木市旭町=0.9 栃木二宮町石島*=0.9 茂木町小井戸*=0.9 益子町益子=0.5	35° 59.2' N	140° 04.8' E	63km	M: 3.5
48	16 07 05	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=0.9	34° 02.4' N	135° 16.4' E	5km	M: 2.3
49	16 11 51	青森県東方沖 北海道 2 函館市泊町*=1.6 1 函館市新浜町*=1.2 様似町栄町*=1.1 新ひだか町静内ときわ町=0.8 新冠町北星町*=0.7	41° 01.2' N	142° 24.6' E	35km	M: 4.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		千歳市若草 * =0.7 福島町福島 * =0.6 函館市日ノ浜町 * =0.6 浦河町潮見=0.5 青森県 2 野辺地町野辺地 * =2.0 青森南部町平 * =2.0 東通村小田野沢 * =2.0 東北町塔ノ沢山 * =1.9 五戸町古館=1.9 東通村砂子又 * =1.9 野辺地町田狭沢 * =1.8 平内町小湊=1.8 八戸市内丸 * =1.8 八戸市南郷区 * =1.8 七戸町森ノ上 * =1.6 横浜町林ノ脇 * =1.5 むつ市金谷 * =1.5 むつ市川内町 * =1.5 1 五戸町倉石中市 * =1.4 青森南部町苦米地 * =1.4 東北町上北南 * =1.3 階上町道仏 * =1.3 むつ市金曲=1.3 八戸市湊町=1.3 むつ市大畑町中島 * =1.2 横浜町寺下 * =1.2 青森南部町沖田面 * =1.2 おいらせ町中下田 * =1.1 七戸町七戸 * =1.1 三沢市桜町 * =1.0 六ヶ所村尾駮=1.0 外ヶ浜町蟹田 * =1.0 平内町東田沢 * =1.0 佐井村長後 * =0.9 むつ市大畑町=0.8 おいらせ町上明堂 * =0.7 六戸町犬落瀬 * =0.7 十和田市奥瀬 * =0.7 東通村尻屋 * =0.7 大間町大間 * =0.5 八戸市島守=0.5 青森市中央 * =0.5 岩手県 2 岩手洋野町大野 * =1.9 二戸市福岡=1.5 軽米町軽米 * =1.5 1 一戸町高善寺 * =1.4 二戸市石切所 * =1.3 二戸市浄法寺町 * =1.3 八幡平市田頭 * =0.9 盛岡市玉山区薮川 * =0.8				
50	18 04 19	福島県沖 宮城県 1 登米市迫町 * =0.8 石巻市桃生町 * =0.5	37° 31.7' N	143° 00.9' E	44km	M: 5.0
51	18 06 08	十勝支庁中部 北海道 1 釧路市音別町直別 * =0.6	42° 46.9' N	143° 33.1' E	110km	M: 3.2
52	18 07 53	東京都 2 3 区 茨城県 2 常陸大宮市上村田 * =1.5 坂東市岩井=1.5 1 坂東市馬立 * =1.4 筑西市舟生=1.3 つくば市谷田部 * =1.1 取手市寺田 * =1.0 水戸市内原町 * =0.9 筑西市門井 * =0.9 つくばみらい市福田 * =0.9 笠間市石井 * =0.9 つくば市小笠 * =0.9 守谷市大柏 * =0.9 利根町布川=0.9 石岡市柿岡=0.9 常総市水海道諏訪町 * =0.8 稲敷市江戸崎甲 * =0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 小美玉市上玉里 * =0.7 牛久市中央 * =0.7 土浦市下高津 * =0.7 小美玉市堅倉 * =0.7 坂東市役所 * =0.6 桜川市真壁 * =0.6 笠間市下郷 * =0.6 小美玉市小川 * =0.6 かすみがうら市上土田 * =0.5 常陸大宮市小瀬 * =0.5 桜川市羽田 * =0.5 筑西市海老ヶ島 * =0.5 土浦市大岩田=0.5 栃木県 2 茂木町小井戸 * =1.5 1 栃木二宮町石島 * =1.4 宇都宮市明保野町=0.9 佐野市高砂町 * =0.9 鹿沼市晃望台 * =0.8 栃木市旭町=0.7 真岡市田町 * =0.6 上河内町中里 * =0.6 日光市中宮祠=0.6 茂木町茂木 * =0.6 足利市名草上町=0.5 埼玉県 2 草加市高砂 * =1.5 さいたま大宮区天沼町 * =1.5 1 狭山市入間川 * =1.4 川口市中青木分室 * =1.2 鴻巣市中央 * =1.2 久喜市下早見=1.2 久喜市青葉 * =1.2 富士見市鶴馬 * =1.1 吉川市吉川 * =1.1 さいたま浦和区高砂=1.1 さいたま岩槻区本町 * =1.1 熊谷市大里 * =1.1 春日部市金崎 * =1.1 桶川市泉 * =1.1 蕨市中央 * =1.0 鳩ヶ谷市三ツ和 * =1.0 春日部市谷原新田 * =1.0 上尾市本町 * =1.0 埼玉美里町木部 * =0.9 川越市旭町=0.9 越谷市越ヶ谷 * =0.9 入間市豊岡 * =0.9 朝霞市本町 * =0.9 埼玉三芳町藤久保 * =0.9 吉見町下細谷 * =0.9 東松山市松葉町 * =0.8 川越市新宿町 * =0.8 所沢市北有楽町 * =0.8 滑川町福田 * =0.7 さいたま浦和区常盤 * =0.6 戸田市上戸田 * =0.6 本庄市児玉町=0.6 千葉県 2 木更津市貝淵 * =2.4 木更津市役所 * =2.3 千葉中央区千葉市役所 * =1.9 浦安市猫実 * =1.9 富津市下飯野 * =1.9 四街道市鹿渡 * =1.7 千葉美浜区稲毛海岸 * =1.7 千葉佐倉市海隣寺町 * =1.7 千葉中央区中央港=1.7 東金市日吉台 * =1.6 東金市東岩崎 * =1.6 市原市姉崎 * =1.6 鎌ヶ谷市初富 * =1.5 習志野市鷺沼 * =1.5 1 東金市東新宿=1.4 市川市八幡 * =1.4 柏市旭町=1.4 木更津市太田=1.4 白井市復 * =1.3 八千代市大和田新田 * =1.3 松戸市根本 * =1.2 成田市花崎町=1.2 流山市平和台 * =1.2 印西市大森 * =1.2 袖ヶ浦市坂戸市場 * =1.2 南房総市富浦町青木 * =1.2 南房総市谷向 * =1.2 船橋市湊町 * =1.2 鋸南町下佐久間 * =1.1 印旛村瀬戸 * =1.1 君津市久留里市場 * =1.1 君津市久保 * =1.1 大網白里町大網 * =1.0 柏市大島田 * =0.9 大多喜町大多喜 * =0.9 多古町多古=0.8 我孫子市我孫子 * =0.8 千葉栄町安食台 * =0.8 成田市中台 * =0.8 千葉酒々井町中央台 * =0.7 館山市長須賀=0.7 長柄町大津倉=0.6 館山市北条 * =0.6 東京都 2 東京江戸川区中央=2.4 東京江戸川区船堀 * =2.1 東京江戸川区鹿骨 * =2.0 東京品川区北品川 * =1.9 東京品川区平塚 * =1.9 東京新宿区百人町 * =1.7 東京江東区枝川 * =1.7 東京千代田区大手町=1.7 東京中央区勝どき * =1.6 東京目黒区中央町 * =1.6 東京葛飾区立石 * =1.6 東京葛飾区金町 * =1.6 東京新宿区上落合 * =1.6 町田市中町 * =1.5 伊豆大島町岡田 * =1.5 東京足立区神明南 * =1.5 1 東京大田区本羽田 * =1.4 東京渋谷区宇田川町 * =1.4 東京杉並区桃井 * =1.3 東京北区西ヶ原 * =1.3 東京板橋区相生町 * =1.3 狛江市和泉本町 * =1.3 東京千代田区九段南 * =1.3 東京港区南青山 * =1.3 東京文京区本郷 * =1.3 東京台東区千束 * =1.3 東京品川区広町 * =1.3 東京世田谷区三軒茶屋 * =1.3 東京世田谷区成城 * =1.3 東大和市中央 * =1.2 東京墨田区東向島 * =1.2 町田市役所 * =1.2 東京荒川区東尾久 * =1.1 東京足立区千住 * =1.1 東京足立区伊興 * =1.1 東京千代田区麹町 * =1.1 東京港区白金 * =1.1 東京文京区大塚 * =1.1 東京大田区多摩川 * =1.0 東京練馬区東大泉 * =1.0 八王子市堀之内 * =1.0 町田市忠生 * =1.0 あきる野市伊奈 * =1.0 東京江東区東陽 * =1.0 東京北区赤羽南 * =0.9 東京練馬区光が丘 * =0.9 東京足立区中央本町 * =0.9 武蔵野市吉祥寺東町 * =0.9 三鷹市野崎 * =0.9 小金井市本町 * =0.9 国分寺市戸倉=0.9 東京江東区森下 * =0.9 東京江東区亀戸 * =0.9 東京墨田区吾妻橋 * =0.8 東京荒川区荒川 * =0.8 東京大田区大森東 * =0.8 東京世田谷区世田谷 * =0.8 東京世田谷区中町 * =0.7 東京府中市宮西町 * =0.7 調布市小島町 * =0.7 東京台東区東上野 * =0.7 東京杉並区阿佐谷=0.7 日野市神明 * =0.7 武蔵村山市本町 * =0.7 青梅市日向和田 * =0.7 東京中央区日本橋兜町 * =0.7 東京新宿区歌舞伎町 * =0.7 東京中野区江古田 * =0.6 国分寺市本多 * =0.6 立川市錦町 * =0.6 檜原村本宿 * =0.5 東京大田区蒲田 * =0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区白幡上町 * =2.2 横浜神奈川区神大寺 * =2.1 横浜港南区丸山台東部 * =1.9 川崎川崎区千鳥町 * =1.9 川崎中原区小杉町 * =1.9 横浜港北区日吉本町 * =1.8 川崎川崎区宮前町 * =1.8				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜鶴見区馬場 * =1.7 横浜緑区白山町 * =1.7 横浜磯子区洋光台 * =1.6 横浜緑区十日市場 * =1.6 横浜青葉区市が尾町 * =1.6 横浜都筑区茅ヶ崎 * =1.6 三浦市城山町 * =1.6 横浜南区別所 * =1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町 * =1.5 横浜中区山田町 * =1.5 1 横浜西区浜松町 * =1.4 横浜中区山手町 * =1.4 横浜磯子区磯子 * =1.4 横浜戸塚区平戸町 * =1.4 横浜旭区今宿東町 * =1.4 横浜都筑区池辺町 * =1.4 川崎幸区戸手本町 * =1.4 相模原市上溝 * =1.4 厚木市飯山 * =1.4 横浜鶴見区鶴見 * =1.3 横浜栄区小菅が谷 * =1.3 川崎川崎区中島 * =1.3 川崎中原区小杉陣屋 =1.3 厚木市酒井 * =1.3 横浜中区山下町 * =1.2 横浜中区山吹町 * =1.2 横浜保土ヶ谷区神戸町 * =1.2 横浜金沢区白帆 * =1.2 横浜旭区上白根町 * =1.2 横浜瀬谷区中屋敷 * =1.2 横浜瀬谷区三ツ境 * =1.2 川崎高津区下作延 * =1.2 川崎宮前区野川 * =1.2 横須賀市坂本町 * =1.2 厚木市長谷 * =1.2 横浜港南区丸山台北部 * =1.1 横浜青葉区榎が丘 * =1.1 横須賀市光の丘 =1.1 厚木市中町 * =1.1 横浜旭区大池町 * =1.0 座間市緑が丘 * =1.0 相模原市相模大野 * =1.0 横浜西区みなとみらい * =1.0 横浜栄区公田町 * =1.0 箱根町湯本 * =1.0 横浜港北区太尾町 * =0.9 大和市下鶴間 * =0.9 綾瀬市深谷 * =0.9 相模原市中央 =0.9 清川村煤ヶ谷 * =0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎 =0.8 相模原市津久井町中野 * =0.8 相模原市相原 * =0.8 横浜泉区和泉町 * =0.8 横浜金沢区寺前 * =0.8 川崎多摩区登戸 * =0.8 海老名市大谷 * =0.7 神奈川山北町山北 * =0.6 城山町久保沢 * =0.6 鎌倉市御成町 * =0.6 鎌倉市由比ヶ浜 * =0.6 逗子市桜山 * =0.6 中井町比奈窪 * =0.5 静岡県 2 熱海市網代 =1.5 東伊豆町奈良本 * =1.5 1 熱海市泉 * =1.0 群馬県 1 沼田市利根町 * =0.8 桐生市元宿町 * =0.7 邑楽町中野 * =0.7 片品村鎌田 * =0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津 =1.2 大月市御太刀 * =0.9 富士河口湖町長浜 * =0.9 笛吹市境川町藤袋 * =0.7				
53	18 20 56	福岡県北西沖 福岡県 1 福岡西区玄界島 =0.6	33° 41.8' N	130° 15.1' E	9km	M: 2.7
54	19 05 25	茨城県南部 茨城県 1 常陸大宮市上村田 * =0.6 日立市助川小学校 * =0.5 栃木県 1 茂木町小井戸 * =0.8 上河内町中里 * =0.7 大田原市湯津上 * =0.7 下野市石橋 * =0.7 宇都宮市明保野町 =0.6 茂木町茂木 * =0.6	36° 20.2' N	140° 05.0' E	72km	M: 3.2
55	19 18 29	愛知県西部 愛知県 1 一宮市緑 * =1.0	35° 16.1' N	136° 52.5' E	10km	M: 2.6
56	19 22 47	釧路沖 北海道 1 根室市厚床 * =0.9 浜中町霧多布 * =0.5	42° 56.0' N	145° 28.6' E	45km	M: 3.3
57	20 12 42	岩手県沖 岩手県 1 岩手洋野町大野 * =1.1 軽米町軽米 * =0.5	40° 20.7' N	142° 10.8' E	44km	M: 3.4
58	20 18 07	新島・神津島近海 東京都 1 東京利島村 =0.7	34° 30.1' N	139° 13.2' E	9km	M: 2.1
59	20 23 36	新島・神津島近海 東京都 2 新島村本村 * =2.3 新島村式根島 =1.6 1 東京利島村 =0.7	34° 23.6' N	139° 15.6' E	8km	M: 2.7
60	21 07 37	和歌山県南部 奈良県 1 十津川村平谷 * =0.5 和歌山県 1 田辺市本宮町本宮 * =0.8 新宮市新宮 =0.5	33° 50.1' N	135° 44.8' E	17km	M: 3.2
61	21 17 35	岩手県沖 岩手県 1 岩手洋野町大野 * =0.9	40° 22.2' N	142° 15.4' E	40km	M: 3.2
62	21 21 05	新潟県上中越沖 新潟県 2 上越市安塚区安塚 * =1.5 1 上越市清里区荒牧 * =0.7 上越市中ノ俣 =0.6	37° 12.0' N	138° 11.1' E	27km	M: 3.2
63	21 22 36	根室半島南東沖 北海道 2 根室市瑠瑠瑠 * =2.0 1 羅臼町岬町 * =1.2 根室市牧の内 * =1.2 根室市厚床 * =0.9 根室市落石東 * =0.9 別海町本別海 * =0.8 別海町常盤 =0.7 標茶町塘路 * =0.6 根室市弥栄 =0.5	43° 29.1' N	146° 24.6' E	57km	M: 4.6
64	22 14 45	大阪府北部 大阪府 1 能勢町今西 * =0.7	34° 57.5' N	135° 28.1' E	9km	M: 1.9
65	23 03 06	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町 * =0.6	36° 06.1' N	137° 26.4' E	8km	M: 2.2
66	23 04 37	和歌山県北部 和歌山県 1 日高川町土生 * =0.5	34° 01.4' N	135° 18.6' E	6km	M: 2.5
67	23 09 58	岩手県沖 青森県 1 八戸市内丸 * =0.5	40° 09.4' N	142° 28.0' E	34km	M: 4.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
68	23 21 24	岩手県 茨城県南部 茨城県 栃木県 埼玉県	36° 11.4' N	140° 01.1' E	52km	M: 3.7
69	24 06 17	鳥島近海 東京都 宮城県 千葉県	29° 10.4' N	140° 21.0' E	3km	M: 6.8
70	24 06 43	宮古島近海 沖縄県	24° 37.1' N	125° 28.9' E	10km	M: 3.7
71	24 07 54	宮古島近海 沖縄県	24° 36.3' N	125° 28.8' E	11km	M: 3.3
72	24 08 51	北海道南西沖 北海道	41° 59.9' N	139° 26.2' E	9km	M: 2.4
73	24 11 27	岩手県沖 岩手県	39° 41.8' N	142° 04.6' E	44km	M: 3.4
74	24 17 33	長野県南部 長野県	35° 55.2' N	137° 36.9' E	8km	M: 2.2
75	24 20 13	宮古島近海 沖縄県	24° 37.1' N	125° 28.8' E	9km	M: 3.5
76	24 22 42	茨城県南部 栃木県	36° 04.1' N	139° 54.8' E	46km	M: 3.0
77	25 01 20	兵庫県南東部 大阪府	34° 56.6' N	135° 21.0' E	5km	M: 2.0
78	25 08 08	茨城県沖 茨城県	36° 36.6' N	140° 59.4' E	46km	M: 2.9
79	26 04 11	和歌山県北部 和歌山県	34° 07.9' N	135° 09.0' E	8km	M: 2.4
80	26 07 57	福島県沖 宮城県 福島県 茨城県	37° 02.9' N	141° 29.1' E	47km	M: 4.1
81	26 17 20	奈良県 和歌山県	34° 08.8' N	135° 48.4' E	51km	M: 3.2
82	26 22 59	宮古島近海 沖縄県	24° 48.6' N	125° 24.3' E	50km	M: 4.5
83	26 23 29	群馬県北部 群馬県	36° 31.4' N	138° 55.2' E	11km	M: 2.7



地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
84	27 05 20	群馬県南部 群馬県 1 沼田市利根町*=0.7	36°34.6' N	139°22.1' E	9km	M: 2.5
85	27 17 37	千葉県南東沖 千葉県 2 勝浦市新官*=2.1 勝浦市墨名=1.9 大多喜町大多喜*=1.7 富津市下飯野*=1.5 1 鴨川市横渚*=1.4 鴨川市天津*=1.4 館山市長須賀=1.3 鴨川市八色=1.1 いすみ市国府台*=1.1 南房総市岩糸*=1.0 いすみ市岬町長者*=0.9 市原市姉崎*=0.9 君津市久留里市場*=0.9 千葉一宮町一宮=0.9 南房総市谷向*=0.8 睦沢町下之郷*=0.8 御宿町須賀*=0.7 館山市北条*=0.6 南房総市富浦町青木*=0.6 木更津市役所*=0.6 南房総市白浜町白浜*=0.6 いすみ市大原*=0.5 大網白里町大網*=0.5 東京都 2 三鷹市野崎*=1.5 1 伊豆大島町岡田*=1.4 東京千代田区大手町=1.2 国分寺市本多*=1.0 東京世田谷区成城*=0.9 狛江市和泉本町*=0.8 東京新宿区上落合*=0.7 東京杉並区桃井*=0.6 東京江戸川区中央=0.6 東京江戸川区船堀*=0.6 武蔵野市吉祥寺東町*=0.6 伊豆大島町波浮港*=0.6 東京世田谷区三軒茶屋*=0.6 東京渋谷区宇田川町*=0.6 町田市忠生*=0.5 東京文京区本郷*=0.5 神奈川県 2 横浜港南区丸山台東部*=1.5 横浜緑区十日市場*=1.5 1 厚木市中町*=1.4 横浜中区山田町*=1.3 横浜金沢区白帆*=1.3 横浜旭区大池町*=1.3 横浜緑区白山町*=1.3 川崎中原区小杉町*=1.3 横浜南区別所*=1.2 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.2 川崎川崎区宮前町*=1.2 横浜磯子区磯子*=1.2 三浦市城山町*=1.2 横浜神奈川区白幡上町*=1.1 横浜中区山手町=1.1 横浜金沢区寺前*=1.1 横浜港北区日吉本町*=1.0 横浜磯子区洋光台*=1.0 横浜西区浜松町*=1.0 横浜戸塚区平戸町*=0.9 横浜旭区今宿東町*=0.9 横浜鶴見区鶴見*=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=0.9 川崎宮前区野川*=0.9 横須賀市光の丘=0.9 箱根町湯本*=0.9 真鶴町真鶴*=0.9 清川村煤ヶ谷*=0.9 横浜中区山下町*=0.9 横浜旭区上白根町*=0.8 相模原市上溝*=0.8 横浜港南区丸山台北部*=0.8 川崎中原区小杉陣屋=0.7 平塚市浅間町*=0.7 鎌倉市御成町*=0.7 海老名市大谷*=0.7 秦野市首屋=0.7 綾瀬市深谷*=0.6 横浜南区六ツ川*=0.6 中井町比奈窪*=0.6 松田町松田惣領*=0.6 横須賀市坂本町*=0.5 秦野市平沢*=0.5 藤沢市朝日町*=0.5 南足柄市関本*=0.5 静岡県 2 東伊豆町奈良本*=1.6 1 熱海市網代=1.1 熱海市泉*=0.9 函南町平井*=0.6 伊豆市小立野*=0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=1.1 大月市御太刀*=0.6	35°05.0' N	140°12.6' E	61km	M: 4.1
86	27 19 32	父島近海 東京都 1 小笠原村三日月山=1.3 小笠原村父島=0.9	26°49.5' N	142°17.7' E	16km	M: 4.4
87	28 00 07	浦河沖 北海道 1 新ひだか町静内ときわ町=0.8 新ひだか町三石旭町*=0.6	42°02.0' N	142°35.1' E	64km	M: 3.5
88	28 07 20	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市城辺福里=1.6 1 宮古島市平良西仲宗根=1.2	24°36.5' N	125°27.9' E	6km	M: 3.8
89	28 15 47	青森県東方沖 青森県 岩手県 1 八戸市内丸*=0.9 五戸町古館=0.5 1 岩手洋野町大野*=1.2	40°54.4' N	142°07.8' E	50km	M: 3.7
90	28 16 07	千葉県北東部 千葉県 1 東金市日吉台*=0.5	35°42.2' N	140°45.3' E	48km	M: 3.1
91	28 22 15	福島県沖 福島県 1 田村市都路町*=1.2 浪江町幾世橋=0.7	37°31.1' N	141°27.7' E	48km	M: 3.6
92	29 01 51	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福里=1.1	24°37.4' N	125°28.9' E	8km	M: 3.1
93	30 12 10	神奈川県西部 東京都 神奈川県 山梨県 1 町田市忠生*=0.5 1 清川村煤ヶ谷*=1.2 相模原市田名*=0.9 厚木市中町*=0.9 海老名市大谷*=0.9 相模原市上溝*=0.8 相模原市相原*=0.7 横浜都筑区茅ヶ崎*=0.7 1 富士河口湖町船津=0.6 笛吹市境川町藤袋*=0.5	35°35.9' N	139°19.9' E	47km	M: 3.3
94	30 14 13	天草灘 熊本県 1 天草市河浦町*=0.5	32°06.3' N	129°48.0' E	11km	M: 3.5
95	30 14 56	伊予灘 大分県 1 国東市田深*=0.6	33°26.0' N	131°53.4' E	72km	M: 3.4
96	31 04 51	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福里=0.5	24°36.6' N	125°28.8' E	7km	M: 3.2

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
97	31 05 05	新潟県中越地方 新潟県 2 小千谷市土川 *≒2.1 小千谷市城内=1.9 1 長岡市小国町法坂 *≒1.0 長岡市千手 *≒0.7 魚沼市今泉 *≒0.7	37° 19.4' N	138° 50.6' E	14km	M: 3.0
98	31 08 55	和歌山県北部 和歌山県 1 日高川町土生 *≒0.8	33° 50.7' N	135° 20.6' E	11km	M: 2.5
99	31 11 18	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁 *≒0.6	34° 12.2' N	135° 11.4' E	3km	M: 1.9
100	31 14 08	青森県三八上北地方 岩手県 1 岩手洋野町大野 *≒0.5	40° 33.1' N	140° 53.9' E	122km	M: 3.5
101	31 15 02	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本 *≒0.5	34° 50.9' N	139° 15.8' E	11km	M: 2.0
102	31 18 57	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本 *≒0.7	34° 50.5' N	139° 16.1' E	15km	M: 2.2

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 <平成 17 年（2005 年）10 月～平成 18 年（2006 年）10 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2006年10月	73	23	5	1						102	
2006年 9 月	64	21	11	1						97	
2006年 8 月	63	22	8	1						94	
2006年 7 月	82	24	12	3						121	新島・神津島近海（震度 4：2 回、 震度 3：2 回、震度 2：5 回、 震度 1：15 回）
2006年 6 月	59	34	6	2	1					102	12日 大分県西部（震度 5 弱）
2006年 5 月	81	20	6	2						109	
2006年 4 月	89	47	22	3	1					162	30日 伊豆半島東方沖（震度 5 弱：1 回、 震度 4：1 回、震度 3：4 回、 震度 2：6 回、震度 1：33 回）
2006年 3 月	66	31	11		1					109	27日 日向灘（震度 5 弱）
2006年 2 月	44	30	3	4						81	
2006年 1 月	61	20	4	1						86	
2005年12月	58	28	10	3						99	
2005年11月	47	23	8	2						80	
2005年10月	57	24	7	2	1					91	19日 茨城県沖（震度 5 弱）
2006年計	682	272	88	18	3					1063	（平成 18 年 1 月～平成 18 年 10 月）
過去 1 年計	787	323	106	23	3					1242	（平成 17 年 11 月～平成 18 年 10 月）

注) 「記事」欄の「\*」は関連の地震で震度 1 以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成 9 (1997) 年 11 月 10 日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成 10 (1998) 年 6 月 15 日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10 月 15 日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成 11 (1999) 年 7 月 21 日 東京都、長野県

平成 12 (2000) 年 1 月 12 日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3 月 28 日 滋賀県

7 月 18 日 富山県、香川県、大分県

平成 13 (2001) 年 3 月 22 日 佐賀県 5 月 10 日 山梨県、川崎市（神奈川県）

7 月 19 日 高知県 12 月 12 日 福島県

平成 14 (2002) 年 3 月 20 日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7 月 29 日 北海道、長崎県

平成 15 (2003) 年 3 月 10 日 沖縄県

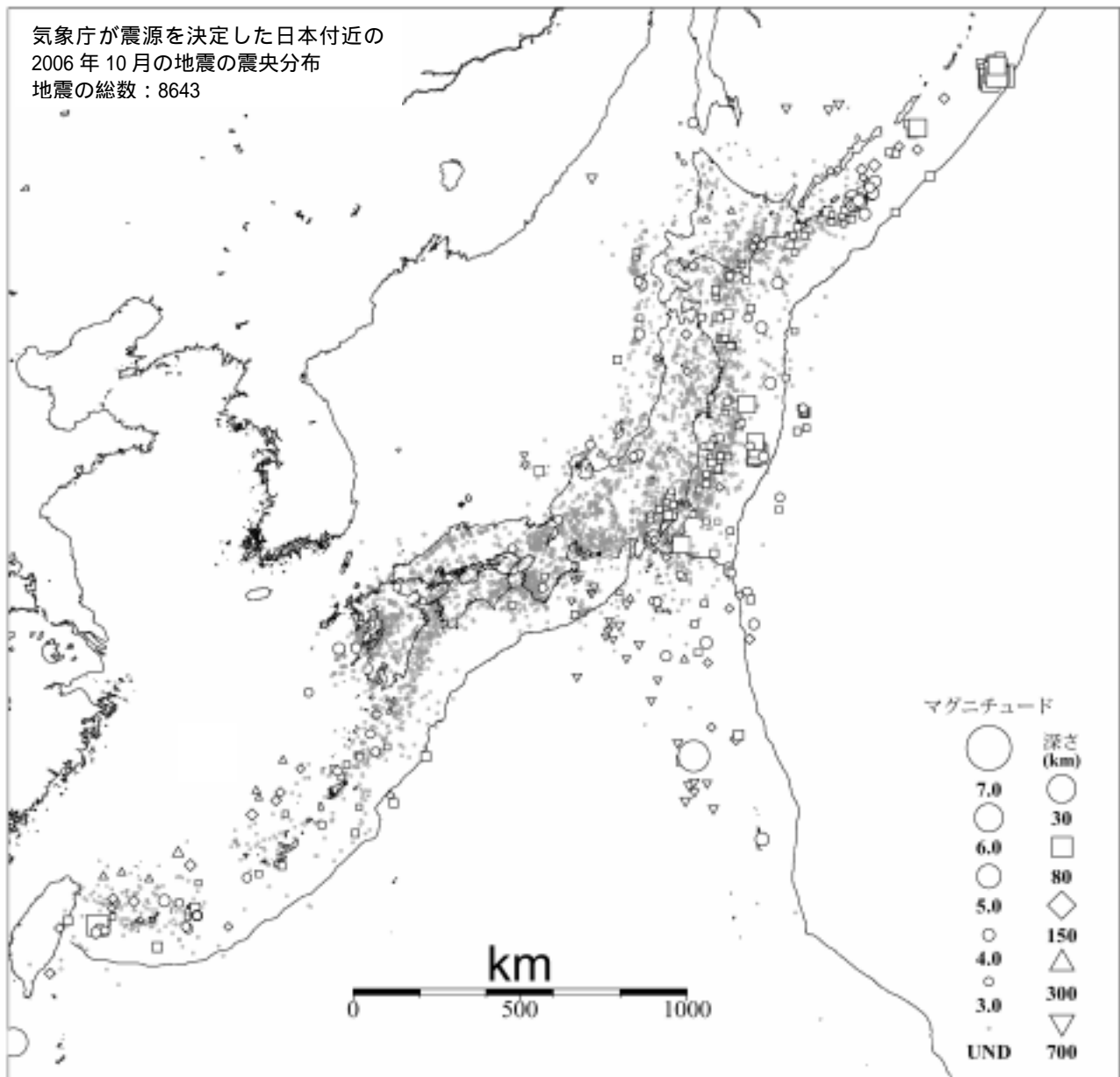
平成 16 (2004) 年 5 月 26 日 独立行政法人防災科学技術研究所

付表 3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数  
 < 平成 17 年 (2005 年) 10 月 ~ 平成 18 年 (2006 年) 10 月 >

	M3.0 ~ M3.9	M4.0 ~ M4.9	M5.0 ~ M5.9	M6.0 ~ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2006年10月	254	75	19	7		355	101	1日：千島列島東方(M6.8、M6.6) 9日：台湾南方沖(M6.1) 11日：福島県沖(M6.0) 12日：与那国島近海(M6.2) 13日：千島列島東方(M6.3) 24日：島島近海(M6.8)
2006年9月	268	62	10	1		341	73	28日：千島列島東方(M6.0)
2006年8月	264	57	10	1		332	68	7日：父島近海(M6.2)
2006年7月	235	40	3	1		279	44	28日：台湾付近(M6.2)
2006年6月	270	60	10	1		341	71	12日：大分県西部(M6.2)
2006年5月	239	53	4			296	57	
2006年4月	270	90	13	2		375	105	1日：台湾付近(M6.4) 16日：台湾付近(M6.0)
2006年3月	287	66	9	1		363	76	28日：東海道沖(M6.0)
2006年2月	254	66	6	2		328	74	15日：マリアナ諸島近海(M6.6) 17日：父島近海(M6.0)
2006年1月	265	52	5			322	57	
2005年12月	363	81	11	3		458	95	2日：宮城県沖(M6.6) 4日：奄美大島近海(M6.1) 奄美大島近海の地震の余震 (M3.0~3.9:45回、M4.0~4.9:7回、 M5.0~5.9:3回) 17日：宮城県沖(M6.1) 三陸沖の地震の余震 (M3.0~3.9:64回、M4.0~4.9:4回)
2005年11月	534	94	8	1	1	638	104	15日：三陸沖(M7.2) 三陸沖の地震の余震 (M3.0~3.9:277回、M4.0~4.9:27回) 22日：種子島近海(M6.0)
2005年10月	310	67	8	4		389	79	15日：千島列島東方(M6.4) 16日：与那国島近海(M6.5) 19日：茨城県沖(M6.3) 23日：日本海中部(M6.1)
2006年計	2606	621	89	16		3332	726	(平成18年1月~平成18年10月)
過去1年計	3503	796	108	20	1	4428	925	(平成17年11月~平成18年10月)

注)日本及びその周辺：原則、北緯20~49度、東経120~153度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

気象庁が震源を決定した日本付近の  
2006年10月の地震の震央分布  
地震の総数：8643



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。